

文化表現学科

2025 年 4 月 1 日 更新

2025 年 4 月 15 日 更新

科 目 名	文学に親しむ		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	CUL3111		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	日本の文学作品や作家について、古代から近代まで順を追って取り上げ、文学の魅力と意義について実感する。実際に丁寧に読むことで、それぞれの作品のもつ価値と時代や社会との関わりについて詳しく解説する。								
到 達 目 標	1. 文学の魅力と価値について理解している。 2. 自身から読みたいと思う文学作品と出会うことができる。 3. 文学を通じて社会と歴史についての考察力を身に付けている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1. 2 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の始まりにあたって～文学とどう関わるのか	予習	これまでの読書体験を書き出す				
				復習	印象に残った作品を振り返る				
	第 2 回	内容	古事記神話～神話はなぜ必要とされたのか	予習	古事記の成立、時代背景について調べる				
				復習	授業で学んだ神話についてノートにまとめる				
	第 3 回	内容	古事記神話～神話の影響力	予習	第 2 回で指示した課題について調べる				
				復習	登場した神々についてノートにまとめる				
	第 4 回	内容	万葉集～うたと文学との出会い	予習	万葉集の特色について調べる				
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる				
	第 5 回	内容	万葉集～様々なうたの魅力	予習	歌が当初どう表記されていたのか調べる				
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる				
	第 6 回	内容	竹取物語～かぐや姫の真実	予習	竹取物語について調べる				
				復習	物語の特色についてノートにまとめる				
	第 7 回	内容	竹取物語の本当の面白さ	予習	全体のあらすじを調べる				
				復習	結末の意味することをよく考えてまとめる				
	第 8 回	内容	源氏物語～なぜ名作と評価されるのか	予習	源氏物語の特色、内容、作者について調べる				
				復習	物語の展開をノートにまとめる				
	第 9 回	内容	源氏物語～作者が伝えたかったこと	予習	第 3 部「宇治十帖」について調べる				
				復習	作者が伝えようとしたことに思いを馳せる				
	第 10 回	内容	宇治拾遺物語～お話し「瘤取りじいさん」の原像	予習	自分が知っている昔話を書き出す				
				復習	「瘤取りじいさん」の原話をノートにまとめる				
	第 11 回	内容	宇治拾遺物語～お話し「藁しべ長者」の原像	予習	昔ばなし「藁しべ長者」について調べる				
				復習	「藁しべ長者」の原話をノートにまとめる				
	第 12 回	内容	百人一首～どのように作られたか、うたの歴史の中で	予習	知っている「百人一首」の和歌を書き出す。				
				復習	成立と学んだ歌の背景を整理してまとめる				
	第 13 回	内容	つれづれ草～兼好法師の人生観と人間性	予習	つれづれ草について調べる				
				復習	授業で読んだ章段をノートにまとめる				
	第 14 回	内容	閑吟集と柳多留～流行歌謡と江戸川柳	予習	「小歌」と「川柳」について調べる				
				復習	授業で学んだ小歌と川柳をノートにまとめる				
	第 15 回	内容	宮澤賢治～何を伝えようとしたのか	予習	宮沢賢治の経歴と作品について調べる				
				復習	賢治は詩や童話で何を伝えたかったのか考える				
	予習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 1 2 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 7 0 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【自主性】（ 3 0 ）							
教科書	適宜資料を配布。								
参考文献	必要に応じて指示。								
補足事項									

科 目 名	情報と社会		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひ だ あつこ 樋 田 敦子
ナンバリングコード	GEE3111		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	私たちが生きているこの社会に渦巻く情報。大学生として、社会人として適切な判断、合理的な推論、自発的な発信等ができるための力を育成することを目指します。情報はどのように発生し、どのように伝わっていくのかを、具体的な社会問題を例にして解説していきます。メディアと情報の観点から、民主主義における法理論的側面を踏まえて考察する授業です。							
到 達 目 標	1. 現実の社会問題を法的根拠に基づいて合理的な判断ができる力を身につけている。 2. 社会問題を分析し、自分の意見を持つことができる。 3. その意見を発表、表明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス、あなたが関心を持っている社会問題は？	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業予定、内容を理解しておく			
	第 2 回	内容	民主主義と表現の自由との関係は？	予習	表現の自由とは何かを調べておく			
				復習	授業のキーワードを書き出す			
	第 3 回	内容	報道と人権	予習	報道の自由について調べておく			
				復習	報道による人権侵害は何かを振り返る			
	第 4 回	内容	人権侵害、誹謗中傷 グループディスカッションを行う	予習	誹謗中傷について自分の意見をまとめる			
				復習	誹謗中傷を振り返っておく			
	第 5 回	内容	子どもをめぐる問題～いじめ、虐待、貧困 グループディスカッションを行う	予習	子どもの権利について調べておく			
				復習	いじめの問題を振り返る			
	第 6 回	内容	持続可能な社会とは	予習	SDG s とは何かを調べておく			
				復習	どう実現したらいいのかを考える			
	第 7 回	内容	ジェンダーから読む社会①	予習	ジェンダーとは何かを調べる			
				復習	自分にとってのジェンダーを考える			
	第 8 回	内容	ジェンダーから読む社会② グループディスカッションを行う	予習	ジェンダーが社会に及ぼす影響を調べる			
				復習	社会で起こるジェンダー問題について振り返る			
	第 9 回	内容	振り返りと小テスト	予習	学んできた内容を振り返っておく			
				復習	テストの確認			
	第 10 回	内容	世界史の中の日本国憲法	予習	日本国憲法の条文を読んでみる			
				復習	憲法の歴史を振り返る			
	第 11 回	内容	民法をめぐる問題	予習	民法をめぐる裁判例を調べてみる			
				復習	1つの判例を自分なりにまとめてみる			
	第 12 回	内容	新聞を使って情報分析、自分の考えをまとめて発表	予習	新聞からテーマを抽出、調べておく			
				復習	他の学生のテーマを振り返ってみる			
	第 13 回	内容	「労働する」をたずける労働法 グループディスカッションを行う	予習	労働法とは何かを調べておく			
				復習	労働 3 法の内容を振り返る			
	第 14 回	内容	政治と社会の担い手になる グループディスカッションを行う	予習	選挙に対して自分の考えをまとめておく			
				復習	投票率を上げるにはどうしたらいいかを振り返る			
	第 15 回	内容	まとめと小テスト	予習	これまでのノートを確認しておく			
				復習	テスト内容を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	提出した課題にコメントをつけて返却するほか、さらに次回の授業で解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（5 0％）、作品・発表（3 0％）、実技（ ）％、授業態度【積極的参加】（2 0％）							
教科書	特になし、授業の前日にクラスルームにレジュメをアップするので、プリントアウトして持参する。ICT の活用を進める。							
参考文献	特になし							
補足事項	本授業は対面の良さを取り入れ、ほぼ毎回ディスカッションを行い、発表する。							

科 目 名	現代社会入門		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子	
ナンバリングコード	GEE3112		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	授業を通して、今まで常識的に知っている事柄が意外に違っていることや、知らないことを知ることの重要性を再確認していただけるような内容をお伝えしていきたいと思います。本当にそうなのか！？という視点でいろいろと考える練習をしてみてください。社会がより良くなっているにはどうしたらよいかということについて、積極的に考えていくための事柄も提供していきます。								
到 達 目 標	1. オリンピックについて詳しく説明できる 2. 政治や選挙制度のあり方について、自分なりの見解を述べるができる 3. 戦争や女性について、自分なりの意見を詳しく述べるができる								
学位授与方針	文化表現学科（ 1・3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：諸注意と必要事項	予習	自分なりに社会的な問題を列挙しまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 2 回	内容	オリンピックについて（１）	予習	発症や意味などについて調べてまとめておく				
				復習	理解したことをさらに調べまとめる				
	第 3 回	内容	オリンピックについて（２）	予習	問題点やテロについて調べまとめておく				
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる				
	第 4 回	内容	日本の政治について考える	予習	政治について知っていることをまとめておく				
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる				
	第 5 回	内容	国会の仕組みと内閣について考える	予習	国会や内閣について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 6 回	内容	選挙制度と政党について考える	予習	選挙制度や政党について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 7 回	内容	世界の子どもたちについて知る：アフリカ・ロシア等	予習	アフリカやロシアについて詳しく調べておく				
				復習	理解したことをさらに調べまとめる				
	第 8 回	内容	世界の子どもたちについて知る：アメリカ・ブラジル等	予習	アメリカやブラジルについて詳しく調べておく				
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる				
	第 9 回	内容	日本国憲法と基本的人権について考える	予習	日本国憲法について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 10 回	内容	憲法改正問題について考える	予習	憲法改正について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 11 回	内容	戦争について考える（１）	予習	第二次世界大戦について調べまとめておく				
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる				
	第 12 回	内容	戦争について考える（２）	予習	市街戦や内戦について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 13 回	内容	原爆と原発について考える（１）	予習	原爆について詳しく調べてまとめておく				
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる				
	第 14 回	内容	原爆と原発について考える（２）	予習	原発の利点や問題点について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 15 回	内容	まとめ	予習	これまでに学んだことについてまとめておく				
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	数回にわたって小エッセイを課したりし、小テストを実施するなどして理解度を把握していきます。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 50 ％）、レポート・課題（ 30 ％）、授業態度【発言の頻度等】（ 20 ％）							
教科書	特に指定はしません。								
参考文献	授業中に必要に応じて適宜、紹介していきます。								
補足事項	ニュースを聞いたり新聞などに目を通し、主体的に気になることや興味のあることについて調べていってほしいと思います。								

科 目 名	心理学入門		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	PSY3111		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本講義では、発達を中心に心理学の領域全般を概観し、心理学の基礎的知識の習得と将来の社会生活や職場で活かせる基本的な心理学の考え方の育成を図ることを目的とする。								
到 達 目 標	1. 心理学の基礎的知識を正確に習得している。 2. 心理学的に社会の事象を考えられる。 3. 学んだ知識を自己の社会生活に活かすことができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1, 2, 3）								
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読んでおく。				
				復習	講義の過程と内容を理解する。				
	第2回	内容	心理学とは何か	予習	心理学について調べる。				
				復習	心理学の概要を整理する。				
	第3回	内容	生理心理学	予習	生理心理学について調べる。				
				復習	特に脳と心の関係を整理する。				
	第4回	内容	人格心理学	予習	人格心理学について調べる。				
				復習	パーソナリティの成り立ちを整理する。				
	第5回	内容	認知心理学	予習	認知心理学について調べる。				
				復習	心的過程を整理する。				
	第6回	内容	ディスカッション1(心の機能)	予習	各自の発表の観点を整理しておく。				
				復習	新たに得た知見をまとめる。				
	第7回	内容	発達心理学①(親子関係)	予習	親子の絆を考える。				
				復習	親子関係の理論を整理・理解する。				
	第8回	内容	発達心理学②(ライフサイクル)	予習	発達心理学について調べる。				
				復習	発達段階と発達課題について整理する。				
	第9回	内容	学習心理学	予習	学習心理学について調べる。				
				復習	学習の形態を整理する。				
	第10回	内容	ディスカッション2(心の発達)	予習	ディスカッション2(心の発達)				
				復習	新たに得た知見をまとめる。				
	第11回	内容	臨床心理学①(心の基礎理論)	予習	臨床心理学について調べる。				
				復習	臨床心理学の考え方を整理する。				
	第12回	内容	臨床心理学②(心理療法の考え方とその過程)	予習	心理療法について調べる。				
				復習	各心理療法の特徴を整理する。				
	第13回	内容	社会心理学	予習	社会心理学について調べる。				
				復習	代表的な社会心理学の考え方を整理する。				
	第14回	内容	ディスカッション③(心の理解と対応)	予習	各自の発表の観点を整理しておく。				
				復習	新たに得た知見をまとめる。				
	第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。				
				復習	学んだことを今後活かせるように心がける。				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	講義の中で発表やレポートについての講評をおこなっていく。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（40%）、レポート・課題（60%）							
教科書	特に指定しない。								
参考文献	講義の中で必要に応じて適宜紹介する								
注意事項	講義とディスカッションを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。								

科 目 名	コミュニケーション論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひ だ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード*	CAE3111		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	私たちは、ひとりでは生きていけません。社会はコミュニケーションで成り立っているからです。 日常生活の中での情報は、他人を通して受容し、合理的な推論をしたうえで、アウトプットする人が多いと思います。 そこで必要となるのは、相手の意図を読み取る力と自分の考えを伝える力です。その力を構築できるように授業を進めていきます。							
到 達 目 標	1. 受容した情報はどのようなことを意味するのか。それを他者に説明できている。 2. メディアから得た情報の真偽はどうか。それを判断する力を身につけている。 3. ネット社会の中で大学生として、社会人として、どう対処すべきかを理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス、コミュニケーションとは何か？	予習	シラバスに目を通しておく			
				復習	コミュニケーションは何だったのかを考える			
	第2回	内容	自己表現のコミュニケーション	予習	自己表現とは何かについて考えておく			
				復習	どうしたら自己表現ができるかを考える			
	第3回	内容	人間はどのように情報を受け取るか	予習	新聞、雑誌を読んでおく			
				復習	どのように受け取っていたかをか振り返る			
	第4回	内容	メディアのコミュニケーション能力	予習	ニュースを調べてみる			
				復習	メディアについて改めて考える			
	第5回	内容	メディアと社会はどのようにつながっているか	予習	新聞、雑誌を読む			
				復習	メディアと社会を考えてみる			
	第6回	内容	言葉とイメージ	予習	新聞、雑誌を読む			
				復習	言葉の力とは何かを考える			
	第7回	内容	伝える力とスマホ脳	予習	伝える力について考える			
				復習	スマホの使い方について考える			
	第8回	内容	振り返りと小テスト	予習	レジュメに目を通しておく			
				復習	テストを振り返る			
	第9回	内容	うわさのコミュニケーション	予習	うわさとは何かを考えておく			
				復習	うわさの伝播の仕方を振り返る			
	第10回	内容	家族のコミュニケーション、組織のコミュニケーション	予習	自分の家族について考えてみる			
				復習	家族のコミュニケーションを振り返る			
	第11回	内容	ストレスコミュニケーション	予習	レジュメを読んでおく			
				復習	ストレスコミュニケーションの例を再読する			
	第12回	内容	ジェンダーコミュニケーション	予習	ジェンダーを考えておく			
				復習	戦時下での性暴力について考えてみる			
	第13回	内容	異文化コミュニケーション	予習	身近にある異文化を考えておく			
				復習	あらためて異文化とどう付き合うかを考える			
	第14回	内容	アイデンティティとは何か	予習	新聞を読む			
				復習	自分のアイデンティティを考えてみる			
	第15回	内容	まとめと小テスト	予習	レジュメを読んでおく			
				復習	テスト尾mン台を振り返る			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出課題に対し、コメントをつけて返却し、次の授業でさらに開設を加える。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 60 %）、作品・発表（ 20 %）、実技（ %）、授業態度【 積極的参加】（ 20 %）							
教科書	特になし、適宜参考資料を配布							
参考文献	『スマホ脳』（ハンセン）、							
補足事項	前日、クラスルームにレジュメをアップするのでプリントアウトし授業に参加する。ほぼ毎回の授業でグループディスカッションを行い、話す力、書く力を重視した授業。ICT も利用する。							

科 目 名	データサイエンス		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ほしの おさむ 星野 治	
ナンバリングコード	INS3121		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本授業では、教科書を通してデータサイエンスの基本を学習するとともに、パソコンの表計算ソフトウェアを使用して実在データ（学外事業体が公開提供している集計データなど）の数値処理業務の一端を模擬的に体験し、情報リテラシー（情報倫理や情報セキュリティなどを前提とする、業務上の判断能力）の在りかたを具体的に考察する。 この授業は各年度一年生（学科不問）向けの科目として開講されるが、在学生（二年生以上／学科不問）も履修することができる。								
到 達 目 標	1. テキスト読解やデータ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解している。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解している。 3. 今後の社会に必要な数理的思考の重要性を理解し、データの分析・活用することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3,4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス：ようこそデータサイエンスへ	予習	シラバスを読み、授業全体の流れを把握する。				
				復習	教科書第 1 章の内容を再度精読して理解し、授業全体の学習に向けた心構えを行う。				
	第 2 回	内容	A I にサポートされる社会	予習	教科書第 2 章を通読する。				
				復習	教科書第 2 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 3 回	内容	情報をめぐる世の中の潮流	予習	教科書第 3 章を通読する。				
				復習	教科書第 3 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 4 回	内容	広がるデータ活用の幅	予習	教科書第 4 章を通読する。				
				復習	教科書第 4 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 5 回	内容	A I 開発の歴史といま	予習	教科書第 5 章を通読する。				
				復習	教科書第 5 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 6 回	内容	情報倫理とセキュリティ	予習	教科書第 6 章を通読する。				
				復習	教科書第 6 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 7 回	内容	データの種類とその活用	予習	教科書第 7 章を通読する。				
				復習	教科書第 7 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 8 回	内容	データリテラシー （パソコンを用いた数値処理演習①）	予習	教科書第 8 章を通読する。				
				復習	教科書第 8 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 9 回	内容	データの収集と視覚化 （パソコンを用いた数値処理演習②）	予習	教科書第 9 章を通読する。				
				復習	教科書第 9 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 10 回	内容	データの解析方法 （パソコンを用いた数値処理演習③）	予習	教科書第 10 章を通読する。				
				復習	教科書第 10 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 11 回	内容	情報の利活用と方法	予習	教科書第 11 章を通読する。				
				復習	教科書第 11 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 12 回	内容	A I による生活のアップデート	予習	教科書第 12 章を通読する。				
				復習	教科書第 12 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 13 回	内容	A I による社会のアップデート	予習	教科書第 13 章を通読する。				
				復習	教科書第 13 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 14 回	内容	秩序あるデータの重要性	予習	教科書第 14 章を通読する。				
				復習	教科書第 14 章の内容を再度精読し理解する。				
	第 15 回	内容	全体のまとめ：これからの学びに向けて	予習	教科書第 15 章を通読する。				
				復習	教科書第 15 章の内容を再度精読して理解し、情報リテラシーに関する今後の学びに備える。				
	予習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業開講期間中、授業内容に関するリアクションペーパーを作成し提出する。 授業開講期間中、実在の集計データに対する統計処理を行い、その処理結果から得られる解釈・考察の内容をレポート化する。 授業開講期間中、履修者全員に対して面談（スクーリング）を実施し、学修状況の確認などを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（75%）、授業態度【積極的参加】（25%）							
教科書	『大学基礎 データサイエンス』（伊藤 大河ほか、実教出版株式会社）								
参考文献	必要に応じて紹介する。								
補足事項	1. この授業は、学修計画に余裕のある在学生も履修できる（実習期間中の授業の開講については別途指示する）。 2. 数値処理演習では、Microsoft Excel を利用する。 3. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 4. 担当教員の業務都合などの理由により授業の開講日時が変更される場合、教務課掲示板等にて通知する。								

科 目 名	SDG s 入門		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ほしの おさむ 星野 治 他	
ナンバリングコード	GEE3121		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	この授業は、所属学科を問わず、誰でも履修することができる。 SDGs（Sustainable Development Goals／日本語訳「持続可能な開発目標」）の具体的な内容の学習を通して、日本および世界の現状を知るとともに、社会の一員としての自己啓発意識を育てる。この授業では全17個ある目標のうち、特に本学の学生に必要な14個の目標について学ぶ。								
到 達 目 標	1．SDGsの提唱意義および内容を理解している。 2．SDGsへの理解を通して、日本および世界の現状を見抜く洞察力を習得している。 3．SDGsの学習を通して、社会人としての自覚を持ち、社会への貢献に係る考察力を身に付けている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3,4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	総論（授業の進め方、MDGsからSDGへ、SDGs制定の歴史的背景、MDGsとSDGsの相違、その他）【北野・星野】	予習	シラバスに目を通しておく。				
				復習	授業の目的を理解する。				
	第2回	内容	目標6：すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する【北野】	予習	SDGsの「目標6」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第3回	内容	目標2：飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する【橋本】	予習	SDGsの「目標2」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第4回	内容	目標3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する【関】	予習	SDGsの「目標3」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第5回	内容	目標4：すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する【伊澤】	予習	SDGsの「目標4」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第6回	内容	目標5：ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る【信田】	予習	SDGsの「目標5」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第7回	内容	目標7：すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する【北野】	予習	SDGsの「目標7」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第8回	内容	目標1：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる【加賀谷】	予習	SDGsの「目標1」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第9回	内容	目標8：すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する【信田】	予習	SDGsの「目標8」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第10回	内容	目標11：都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする【(未定)】	予習	SDGsの「目標11」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第11回	内容	目標14：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する【中村】	予習	SDGsの「目標14」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第12回	内容	目標15：陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物の多様性損失の阻止を図る【中村】	予習	SDGsの「目標15」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第13回	内容	目標12：持続可能な消費と生産のパターンを確保する【北野】	予習	SDGsの「目標12」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第14回	内容	目標13：気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る【北野】	予習	SDGsの「目標13」について概要を把握する。				
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
	第15回	内容	目標16：持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある法制的な制度を構築する【渡辺】 総括（全体のまとめ、その他）【北野・星野】	予習	SDGsの「目標16」について概要を把握する。				
				復習	これまでの全配布資料などを通して授業全体を理解するとともに、今後の履修者自身のSDGsへの貢献について考察する。				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	毎回の授業におけるリアクションペーパー等の記述および提出（詳細は各回の担当教員が指示する）を通して、SDGs全般への理解を深める。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50％）、授業態度【積極的参加】（50％）							
教科書	必要に応じて紹介する。								
参考文献	必要に応じて紹介する。								
注意事項	この授業は、複数の教員が共同担当するオムニバス形式の対面授業である。取り扱うテーマごとに、担当教員は異なる。 2025（令和7）年度開講分の担当教員[授業担当コマ数]は、次のとおりである（担当順。各教員の担当授業回は「授業計画」欄を参照）。 北野大[6]、橋本洋子[1]、関雛子[1]、伊澤永修[1]、信田理奈[2]、加賀谷崇文[1]、(未定)[1]、中村陽一[2]、渡辺演久[1]、星野治[2] 教員によっては、リアクションペーパーとは別に、追加の課題を出題することがある（詳細は、各授業の担当教員の指示に従うこと）。								

科 目 名	海外研修（外国の文化を知る）		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	し の は ら 志濃原 他
ナンバリングコード	CUL3112		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	海外において異文化に触れ、体験をすることにより、グローバルな視点を養い、異文化の理解を深める。また、ライフステージにおいて将来経験するであろう保育・教育・福祉等の分野の施設に訪問し、異文化・多文化の人達とのコミュニケーションをとる力を高めることを目的とする。 日本とは異なる環境、制度を理解し、自分自身の目標達成のために必要な手続きや対処（海外への渡航時や滞在時において、自分自身の安全や健康を守るための知識や対処法を身につける）ができるようになる。							
到 達 目 標	1. 異文化に触れ、日本との違いを理解している。 2. コミュニケーション能力を高め、グローバルな視点で社会をみることができる 3. 研修先施設の人々との交流を通じて、異文化を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（2,3,5）地域保育学科（2,5）文化表現学科（1,2）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを確認する			
				復習	渡航場所、日程、パスポート等の確認をする			
	第2回	内容	事前学習1（語学基礎・簡単な挨拶）	予習	渡航先の語学について調べる			
				復習	学んだ単語等を覚える			
	第3回	内容	事前学習2（文化施設の学習）	予習	渡航先の文化について調べる			
				復習	訪問先の文化施設の概要をまとめる			
	第4回	内容	事前学習3（訪問施設の学習）	予習	訪問先について確認する			
				復習	施設の制度等についてまとめる			
	第5回	内容	最終確認等（渡航手続き、現地情報、必要な書類等の確認）	予習	手続きの確認			
				復習	現地の情報や気候、持ち物等の確認をする			
	第6回	内容	渡航先にてプログラムに基づいた研修	予習	集合時間・持ち物等の確認			
				復習	次のプログラムの準備			
	第7回	内容	渡航先にてプログラムに基づいた研修	予習	集合時間・持ち物等の確認			
				復習	次のプログラムの準備			
	第9回	内容	渡航先にてプログラムに基づいた研修	予習	集合時間・持ち物等の確認			
				復習	次のプログラムの準備			
	第10回	内容	渡航先にてプログラムに基づいた研修	予習	集合時間・持ち物等の確認			
				復習	次のプログラムの準備			
	第11回	内容	渡航先にてプログラムに基づいた研修	予習	集合時間・持ち物等の確認			
				復習	翌日の準備			
	第12回	内容	渡航先にてプログラムに基づいた研修	予習	集合時間・持ち物等の確認			
				復習	研修のまとめをする			
	第13回	内容	事後学習1（まとめ）	予習	レポートや動画をもとに研修を振り返る			
				復習	グループ発表に向けた準備			
	第14回	内容	事後学習2（グループ発表）	予習	グループ発表の準備			
				復習	グループ発表をもとに動画や口頭で発表できるようまとめる			
	第15回	内容	成果報告1（口頭発表・動画発表）	予習	作成した動画の確認			
復習				発表および研修全体のふりかえり				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポートや動画作成について授業内、その他の時間においてフィードバックを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％、授業態度【研修先での積極的な学び】（10％）							
教科書	なし							
参考文献	適宜紹介する							
補足事項	・ 渡航前の授業の日程および教室に関しては、掲示等により告知するので、常に注意すること。 ・ プログラムで予定される最小催行人数に満たない場合、その他の事情により研修が実施されない場合がある。 ・ 研修先は韓国の文化施設、森の幼稚園、韓国環境教育館を予定している。研修先によって渡航時期ならびに学習内容が異なるため、各学科の担							

	当教員から情報を得ること。 ・研修費用を徴収するが、渡航費・訪問先のプログラム等により異なる。初回の授業で連絡するため、必ず参加すること。なお履修生には本学から渡航のための補助がある。
--	--

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	心理学、コミュニケーション、アサーション等に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、ゼミ担当教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じて社会人として必要な専門的知識を深化させる。							
到 達 目 標	1．卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得している。 2．学生個々が選んだテーマに関する見識を深めている。 3．問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1,2,3）							
授 業 計 画	第1回	内容	本ゼミの方針と年間計画等	予習	シラバスやゼミ案内書を読む。			
				復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。			
	第2回	内容	論文作成についての概説①	予習	論文とは何か、その概要を調べる。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第3回	内容	論文作成についての概説②	予習	前回の講義内容を理解する。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第4回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習	テーマについて考える。			
				復習	テーマの選定方法について理解する。			
	第5回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習	自己の卒論テーマを考える。			
				復習	テーマの選定を実際に試みる。			
	第6回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習	自己の卒論テーマをしぼる。			
				復習	テーマの選定を実際に試みる。			
	第7回	内容	文献・資料収集①	予習	テーマに関連する文献を探す。			
				復習	文献を読む。			
	第8回	内容	文献・資料収集②	予習	文献研究の概要を調べる。			
				復習	文献研究の意義と方法について理解する。			
	第9回	内容	中間発表会	予習	レジュメ作成。			
				復習	レジュメの修正。			
	第10回	内容	論文執筆の関する説明	予習	論文に関して、これまでの学びの展開。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第11回	内容	論文執筆①	予習	論文を書く。			
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。			
	第12回	内容	論文執筆②	予習	論文を書く。			
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。			
	第13回	内容	論文執筆③	予習	論文を書く。			
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。			
	第14回	内容	論文執筆④	予習	論文を書く。			
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。			
	第15回	内容	卒論発表会	予習	レジュメの完成、配布。			
				復習	論文作成を今後に生かすことを考える。			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論発表会を通して必要なフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（80%）、作品・発表（20%）							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	特に指定しない。							
注意事項								

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本ゼミナールではコンピュータに関することを学びます。デザイン制作、3DCG モデル制作、金融リテラシー、動画作成などを学習します。また、コミュニケーション能力向上のためのグループワークなどや、ICTを活用し、スマートフォンやタブレットを用い、コメント・投票など双方向型授業も行ないます。本授業はある程度コンピュータが使いこなせる人がさらにコンピュータスキル向上を目指すものです。							
到 達 目 標	1. コンピュータに関する知識を身につけている。 2. デジタル作品を制作するための知識やスキルを身につけている。 3. ゼミナールⅡに向けて、必要な基本的なコンピュータ技術を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	Adobe Express の使い方	予習	Adobe Express について調べる			
				復習	Adobe Express の使い方を復習する			
	第3回	内容	T シャツデザイン制作①	予習	ペイント系ソフトについて調べる			
				復習	ペイント系ソフトの使い方を復習する			
	第4回	内容	T シャツデザイン制作②	予習	T シャツデザインについて考える			
				復習	作成物の作成を振り返る			
	第5回	内容	Blender による 3DCG モデル制作①	予習	Blender について調べる			
				復習	図形の操作を復習する			
	第6回	内容	Blender による 3DCG モデル制作②	予習	作る 3D モデルについて考える			
				復習	図形の加工の操作について復習する			
	第7回	内容	Blender による 3DCG モデル制作③	予習	作る 3D モデルについて考える			
				復習	図形の加工の操作について復習する			
	第8回	内容	金融リテラシー① FX 体験	予習	FX について調べる			
				復習	FX の分析について復習する			
	第9回	内容	金融リテラシー② 企業分析	予習	興味のある企業をリストアップする			
				復習	分析方法について復習する			
	第10回	内容	動画コンテストに向けた作品制作①（グループワーク）	予習	動画制作の条件を確認する			
				復習	制作の計画を振り返る			
	第11回	内容	動画コンテストに向けた作品制作②（グループワーク）	予習	動画の構想を考える			
				復習	動画制作手法について復習する			
	第12回	内容	動画コンテストに向けた作品制作③（グループワーク）	予習	制作計画を確認する			
				復習	動画作品を振り返る			
	第13回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク①	予習	グループワークの計画を確認する			
				復習	グループワークの内容を整理する			
	第14回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク②	予習	グループワークの計画を確認する			
				復習	グループワークで行なったことをまとめる			
	第15回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する			
				復習	これまで作成した課題を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品への講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHr0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	2年次の卒業論文・卒業制作にむけて必要な知識と技能を身に着けるための授業です。文献探索の方法、探索した文献の読みかた、レポート・論文の書き方等について学び、最終的に授業での成果をまとめて発表します。また、授業を通してゼミナールⅡで扱うテーマ（図書館、公共サービス、生涯学習等について）や卒業制作の内容を決定します。							
到 達 目 標	1．文献を探索・収集し、整理する能力を身に着けている 2．文献調査の結果を文章としてまとめ、発表することができる 3．卒業研究、卒業制作のテーマを自主的に設定することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2、3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスをよく読んでおく			
				復習	自分が研究したいテーマについて考える			
	第2回	内容	文章の書き方①（縮約と要約）	予習	要約と縮約の違いを調べる			
				復習	授業内で出された課題に取り組み、提出する			
	第3回	内容	文章の書き方②（レポート・論文の構造）	予習	レポートと作文の違いを調べる			
				復習	返却された課題を修正する			
	第4回	内容	文章の書き方③（アカデミックな文章作成）	予習	指定されたテーマで文章を作成する			
				復習	返却された課題を修正する			
	第5回	内容	論文の読み方（構造、数値の読み方）	予習	新聞に載っている統計情報を読んでみる			
				復習	授業の内容を踏まえて、統計情報を見直す			
	第6回	内容	文献購読①	予習	読みたい論文のテーマを決めておく			
				復習	指定された文献購読の課題に取り組む			
	第7回	内容	文献探索と文献購読②	予習	CiNii Research にアクセスして使ってみる			
				復習	自身のテーマに合わせて論文を探して読む			
	第8回	内容	グループワーク（帯作成）	予習	帯をつけたい図書を探す			
				復習	帯を完成させる			
	第9回	内容	グループワーク（装丁案作成）	予習	好きな物語を選び、装丁案を考える			
				復習	案にそって制作を進める			
	第10回	内容	グループワーク（装丁作成）	予習	装丁の制作を進めておく			
				復習	装丁を完成させ、自己評価を行う			
	第11回	内容	テーマの設定方法（ブレインストーミング、マインドマップ）	予習	ブレインストーミングについて調べる			
				復習	マインドマップを完成させる			
	第12回	内容	テーマの決定	予習	研究したいテーマの候補をいくつか考えておく			
				復習	教員と相談し、テーマを決定する			
	第13回	内容	発表会準備①（下調べ）	予習	研究テーマに即した文献を入手しておく			
				復習	調べた内容を文書にまとめておく			
	第14回	内容	発表会準備②（資料作成）	予習	発表資料の作成を進める			
				復習	発表資料を完成させる			
	第15回	内容	成果発表会	予習	発表の練習をしておく			
				復習	自身の発表の振り返りをする			
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出物について、適宜フィードバックを行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（50％）、作品・発表（50％）、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％							
教科書	指定しません。必要に応じて資料を配布します							
参考文献	『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』（井下千似子、慶應義塾大学出版会） 『日本語練習帳』（大野晋、岩波書店）							
補足事項	評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1jPPdCcicACIHtRMGLWCrwjaPvVCQAEg1/view?usp=sharing							

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	くわはら　　ななみ 桑 原　　七海
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面　・　遠隔　・　その他（							

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之
ナンバリングコード*	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	卒業研究・論文・制作を作成する２年時のゼミナールⅡに向けた準備のための授業。日本文学について学ぶことが中心であるが、歴史や文化に興味のある人も対象とする。こうした分野への関心の立て方や問題意識をどのように掘り起すのか、宇治拾遺物語と小泉八雲の『怪談』を読み進める中で指導する。							
到 達 目 標	１．ゼミナールⅡのテーマを決定できる。 ２．日本の文学・文化・歴史についての基礎知識を身に付けている。 ３．資料の収集と整理の方法を習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ １．２ ）							
授 業 計 画	第１回	内容	ゼミナールの意義と今後の方針について	予習	関心のある作者作品を書き出す			
				復習	自身のテーマを幾つかに限定する			
	第２回	内容	印象に残る読書と残らない読書の違い	予習	これまでの読書歴を書き出す			
				復習	読書に関して留意すべき事柄をまとめる			
	第３回	内容	宇治拾遺物語をよむ①昔話を含むこと	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	昔話の歴史的社会的背景について整理する			
	第４回	内容	宇治拾遺物語をよむ②原話が伝えること	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	昔話「こぶとり爺さん」との違いをまとめる			
	第５回	内容	宇治拾遺物語をよむ③原話が伝えること	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	昔話「わらしべ長者」との違いをまとめる			
	第６回	内容	宇治拾遺物語をよむ④昔話と社会通念	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	現代との社会通念の違いをノートにまとめる			
	第７回	内容	怪談をよむ①源平の争乱と「耳なし芳一」	予習	小泉八雲について調べる			
				復習	平家物語の壇ノ浦の戦いと安德天皇についてノートにまとめる			
	第８回	内容	怪談をよむ②「耳なし芳一」から亡霊について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	亡霊のイメージを整理してノートにまとめる			
	第９回	内容	怪談をよむ③「お貞の話」から転生について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	転生についてノートにまとめる			
	第１０回	内容	怪談をよむ④「勝五郎の転生記」から転生について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	転生についてノートにまとめる			
	第１１回	内容	銀河鉄道の夜をよむ①作者宮沢賢治の生涯	予習	宮沢賢治について調べる			
				復習	宮沢賢治の生涯をノートにまとめる			
	第１２回	内容	銀河鉄道の夜をよむ②午後の授業と星まつりの夜	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	「よむ」際の留意事項についてノートにまとめる			
	第１３回	内容	銀河鉄道の夜をよむ③鳥を取る人	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	「よむ」際の留意事項についてノートにまとめる			
	第１４回	内容	銀河鉄道の夜をよむ④宮沢賢治が伝えようとしたこと	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す			
				復習	「よむ」際の留意事項について過去の分と合わせて整理してまとめる			
	第１５回	内容	「よむ」という行為についてまとめる	予習	これまでのノートを見直して疑問点を書き出す			
				復習	読書の作法についてノートを整理してまとめる			
予習に要する学習時間：概ね ２０ 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね ２５ 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ ７０ ）％、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【 主体性 】（３０ ）％							
教科書	その都度指示する							
参考文献	適宜支持する							
補足事項								

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子	
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	卒業・卒業制作をすることを最終目的にそのための調査をし、自らのテーマに基づく作品を仕上げるアクティブプランニングの授業である。舞台衣装を中心にファッション・アパレルに関係するアイテムはじめ想像力を磨き、衣装を学び、自ら製作することにする。								
到 達 目 標	1．想像力を育ために各種ファッション・アパレル製品を調査できる。 2．自然を学ぶためのフィールドワークを実施できる。 3．自らファッション・アパレルアイテムを制作できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2、3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	授業内容についての説明	予習	何を研究したいのかを考えておく。				
				復習	何を研究したいのかを考えておく。				
	第2回	内容	日本のファッション全般を知りモチベーション向上時間	予習	自分の好きなものを考えてみよう。				
				復習	何を取り入れたいか分析してみる。				
	第3回	内容	フィールドワーク(自然の色を見る)	予習	自然研究の論文をみておくこと。				
				復習	自然の色について考えてみよう。				
	第4回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作の予習をすること。				
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。				
	第5回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作。				
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。				
	第6回	内容	コラージュ制作発表	予習	発表の準備をする。				
				復習	発表の内容について再度、考えてみよう。				
	第7回	内容	ファッションと SDGs	予習	SDGs について調べておく。				
				復習	ファッションと SDGs の関連を理解する。				
	第8回	内容	ファッション雑誌の比較研究	予習	気になるファッション雑誌に目を通しておく。				
				復習	自分のファッションの選択が変わったか考えてみよう。				
	第9回	内容	シニアのファッションの国際比較	予習	シニアで気になるファッションを調べておく。				
				復習	国により異なる点、共通することを理解する。				
	第10回	内容	ファストファッション(ユニクロ、Zara など)の広がりについて	予習	ファストファッションについて調べておく。				
				復習	ファストファッション普及の背景を理解する。				
	第11回	内容	ハイブランドファッションについて	予習	ハイブランドについて調べておく。				
				復習	ハイブランドが与えた影響を理解する。				
	第12回	内容	気候風土とファッション	予習	気候風土とファッションの関係を調べておく。				
				復習	気候風土と関りがあることを理解する。				
	第13回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分の発表作品の準備をする。				
				復習	発表作品の改善点を考える。				
	第14回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分の発表作品の準備をする。				
				復習	発表作品の改善点を考える。				
	第15回	内容	提出レポートと質疑応答	予習	発表に備えた準備をしておく。				
				復習	振り返って授業で得たものを確認すること。				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	調査・資料収集、作品作りにあたっては教員が個別指導します。必ず教員の個別指導を受けてください。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（40%）、実技（ ）、授業態度【積極参加】（30%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） なし								
補足事項	なし								

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美	
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	Web デザインの知識とスキルを学習する。前半は「利用者にとって魅力的な Web デザインとは何か」をテーマに、自分の好きな Web サイトを通じて、構成内容や使い勝手、画像、文章に着目して考察する。後半は、ゼミナールⅡに向けて、Web サイトの制作方法を習得していく。								
到 達 目 標	1. テーマを理解して、調査し、まとめることができる。 2. 自らの考えを伝える表現の工夫ができる。 3. Web サイト制作の基礎的な技術を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	画像編集① ソフトの基本操作	予習	グラフィックソフトを調べる				
				復習	グラフィックソフトを使ってみる				
	第3回	内容	画像編集② サイズ変更とトリミング	予習	画像の保存形式を調べる				
				復習	保存方法を理解する				
	第4回	内容	画像編集③ 色の修正とグラデーション	予習	複数サイトからトップ画像の色使いを見ておく				
				復習	グラデーションやぼかし方をマスターする				
	第5回	内容	画像編集④ 文字入れと背景	予習	画像と文字のバランスを考える				
				復習	余白の重要性を理解する				
	第6回	内容	Web ライティング① 情報収集の重要性	予習	サイトのターゲットを考える				
				復習	サイトの目的や特徴、ターゲットをまとめる				
	第7回	内容	Web ライティング② タイトルとキャッチフレーズ	予習	ユーザを想定してタイトルを考える				
				復習	短く印象に残るキャッチフレーズを作ってみる				
	第8回	内容	Web ライティング③ 文章のレイアウトと言葉の選び方	予習	ユーザを想定して文章を考える				
				復習	レイアウトの違いとわかりやすさを意識する				
	第9回	内容	サイトの制作① HTML ファイル作成	予習	フォルダとファイルを理解する				
				復習	HTML ファイルを作成する				
	第10回	内容	サイトの制作② CSS ファイル作成	予習	CSS ファイルの作り方を理解する				
				復習	デザインが反映しているか確認をする				
	第11回	内容	サイトの制作③ レイアウト指定	予習	div タグを理解する				
				復習	レイアウトが反映しているか確認をする				
	第12回	内容	サイトの制作④ フォームの作成	予習	フォームとは何か調べる				
				復習	フォームが作成できているか確認する				
	第13回	内容	サイトの制作⑤ id と class	予習	id と class の違いを調べる				
				復習	id と class の違いを理解する				
	第14回	内容	サイトの制作⑥ 画像加工	予習	画像の著作権について調べる				
				復習	画像修正方法を振り返る				
	第15回	内容	サイトの制作⑦ まとめ	予習	サイトの完成に近づける				
				復習	サイトの完成を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題や作品制作についてのコメント、アドバイスは個別対応する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（40%）							
教科書	必要に応じ、プリント配布する								
参考文献	なし								
補足事項	なし								

科 目 名	ゼミナールⅡ			単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	SEM3231			授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	心理学、社会事象等に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、ゼミ担当教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には口頭発表(学科の日等にて)が行われる。このことを通じて社会人として必要な専門的知識を深化させる。								
到 達 目 標	１．卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得している。 ２．学生個々が選んだテーマに関する見識を深めている。 ３．問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1,2,3）								
授 業 計 画	第1回	内容	本ゼミの方針と年間計画等。	予習	シラバスやゼミ案内書を読む。				
				復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。				
	第2回	内容	論文作成についての概説①	予習	論文とは何か、その概要を調べる。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第3回	内容	論文作成についての概説②	予習	前回の講義内容を理解する。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第4回	内容	論文作成についての概説③	予習	前回の講義内容を理解する。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第5回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習	テーマについて考える。				
				復習	テーマの選定方法について理解する。				
	第6回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習	テーマについて考える。				
				復習	テーマの選定方法について理解する。				
	第7回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習	テーマについて考える。				
				復習	テーマの選定方法について理解する。				
	第8回	内容	各学生による研究テーマの選定④	予習	テーマについて考える。				
				復習	テーマの選定方法について理解する。				
	第9回	内容	研究論文等読み合わせ①	予習	配布された資料を読む。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第10回	内容	研究論文等読み合わせ②	予習	配布された資料を読む。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第11回	内容	文献・資料収集①	予習	テーマに関連する文献を探す。				
				復習	文献を読む。				
	第12回	内容	文献・資料収集②	予習	テーマに関連する文献を探す。				
				復習	文献を読む。				
	第13回	内容	文献・資料収集③	予習	テーマに関連する文献を探す。				
				復習	文献を読む。				
	第14回	内容	卒論計画の発表会①	予習	自己の卒論計画について考える。				
				復習	レジュメ作成。				
	第15回	内容	卒論計画の発表会②	予習	レジュメ内容確認と配布。				
				復習	レジュメの修正。				
	第16回	内容	論文執筆の関する説明	予習	論文に関して、これまでの学びを再復習。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第17回	内容	論文内容の検討と修正①	予習	決定したテーマと構成の確認。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第18回	内容	論文内容の検討と修正②	予習	必要な文献の検討と整理。				
				復習	必要な文献の検討と整理。				
	第19回	内容	論文執筆①	予習	論文を書く。				
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
	第20回	内容	論文執筆②	予習	論文を書く。				
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
		内容			予習	論文を書く。			

	第 21 回		論文執筆③	復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 22 回	内容	論文執筆④	予習	論文を書く。
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 23 回	内容	卒論中間発表会	予習	発表用レジュメ作成。
				復習	助言等の整理し活用する。
	第 24 回	内容	論文執筆⑤	予習	論文を書く。
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 25 回	内容	論文執筆⑥	予習	論文を書く。
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 26 回	内容	論文執筆⑦	予習	論文を書く。
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 27 回	内容	論文提出	予習	提出の規定を守り、確実に提出する。
				復習	口述試験に備える。
	第 28 回	内容	卒論講評	予習	完成した卒論の熟読。
				復習	講義内容を理解する。
第 29 回	内容	口述試験(発表)準備	予習	レジュメの作成。	
			復習	レジュメの修正。	
第 30 回	内容	卒論口述(発表)試験	予習	レジュメの完成、配布。	
			復習	論文作成を今後に生かすことを考える。	
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論提出後の口述試験(発表)を通して必要なフィードバックをおこなう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（80%）、作品・発表（20%）				
教科書	特に指定しない				
参考文献	特に指定しない				
注意事項					

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本ゼミナールではコンピュータに関連する事柄をテーマとします。前半に音楽制作、ゲーム制作などについて学び、その後コンピュータに関わる内容から各自のテーマを見つけ、そのテーマについて調査・実験を行ない、卒業制作を進めていきます。能動的な姿勢が求められます。また、コミュニケーション能力向上のためのグループワークも行なう。							
到 達 目 標	１． 関心のあるテーマを見つけることができる。 ２． 各自のテーマに沿って、作品制作を進めることができる。 ３． 自らの考えを分かりやすく発表できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス・過去の卒業制作作品について	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	Adobe Express の使い方	予習	Adobe Express について調べる			
				復習	Adobe Express の使い方を復習する			
	第 3 回	内容	ボカロの音楽制作①	予習	音楽制作ソフトについて調べる			
				復習	音楽制作について復習する			
	第 4 回	内容	ボカロの音楽制作②	予習	作りたい音楽を調べる			
				復習	音楽制作ソフトの操作について復習する			
	第 5 回	内容	ボカロの音楽制作③	予習	音楽の構成について調べる			
				復習	音楽制作ソフトの操作について復習する			
	第 6 回	内容	簡単なゲーム制作①	予習	制作するゲームについて調べる			
				復習	ゲームの流れを復習する			
	第 7 回	内容	簡単なゲーム制作②	予習	使用するプログラミング言語について調べる			
				復習	プログラムについて復習する			
	第 8 回	内容	簡単なゲーム制作③	予習	制作するゲームの流れを確認する			
				復習	プログラムについて復習する			
	第 9 回	内容	簡単なゲーム制作④	予習	制作するゲームの流れを確認する			
				復習	プログラムについて復習する			
	第 10 回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク①	予習	グループワークで行なうテーマについて調べる			
				復習	グループワークを振り返る			
	第 11 回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク②	予習	グループワークで行なうことを確認する			
				復習	グループワークを振り返る			
	第 12 回	内容	卒業制作のテーマに関する調査	予習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第 13 回	内容	卒業制作のテーマに関する調査	予習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第 14 回	内容	卒業制作のテーマに関する調査	予習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第 15 回	内容	卒業制作のテーマ設定のための打合せ	予習	卒業制作のテーマ設定に関して整理する			
				復習	卒業制作のテーマ設定に関してまとめる			
	第 16 回	内容	卒業制作のテーマ設定のための打合せ	予習	卒業制作のテーマ設定に関して整理する			
				復習	卒業制作のテーマ設定に関してまとめる			
	第 17 回	内容	卒業制作のテーマに関する発表	予習	卒業制作の状況を整理する			
				復習	卒業制作に関する発表を振り返る			
	第 18 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する			
				復習	卒業制作の状況をまとめる			
	第 19 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する			
				復習	卒業制作の状況をまとめる			

	第 20 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 21 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 22 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 23 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 24 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 25 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 26 回	内容	卒業制作・個別指導	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 27 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 28 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 29 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 30 回	内容	卒業制作の成果発表	予習	卒業制作の状況を整理する
				復習	卒業制作の成果発表を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題や卒業制作の作品への講評を行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	ループリンク： https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing （本科目名のファイルを参照） この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。				

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナパリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	自身の設定したテーマに沿って、卒業研究を行い、成果物として卒業論文を作成します。卒業研究を通じて、文献調査、質的調査、量的調査の基礎的な方法を学び、実践する力を身に着けます。また、卒業論文の作成や発表を通して、自身の研究成果を他者に分かりやすく伝える方法を学びます。							
到 達 目 標	1． 自身の疑問を研究・制作の課題として設定し、課題解決の計画を立てることができる 2． 調査・研究の基礎的な能力を身に着けている 3． 調査・研究や制作物の内容を他者に分かりやすく発表できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2、3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方を理解する			
	第2回	内容	卒業論文の構成（目次の作成）	予習	先行研究の構成を確認する			
				復習	目次を作成し、提出する			
	第3回	内容	先行研究の収集と講読	予習	先行研究を入手する			
				復習	論文購読シートを完成させる			
	第4回	内容	先行研究の収集と講読②	予習	先行研究を入手する			
				復習	論文購読シートを完成させる			
	第5回	内容	調査方法①（質的調査）	予習	質的調査とは何か調べる			
				復習	自身の卒業研究に使う研究方法を理解する			
	第6回	内容	調査方法②（量的調査）	予習	量的調査とは何か調べる			
				復習	自身の卒業研究に使う研究方法を理解する			
	第7回	内容	研究倫理	予習	研究倫理とは何か調べる			
				復習	授業内で提示した資料を読む			
	第8回	内容	調査計画の策定/卒業制作計画の策定	予習	研究方法と時期を決めておく			
				復習	調査計画書/制作計画書を作成し、提出する			
	第9回	内容	資料収集①	予習	調査/制作に必要な資料を収集しておく			
				復習	予備調査の内容をまとめる			
	第10回	内容	資料収集②	予習	調査/制作に必要な資料を収集しておく			
				復習	予備調査の内容をまとめる			
	第11回	内容	調査資料の作成①	予習	質問票の内容を考えてくる			
				復習	質問票を作成し、提出する			
	第12回	内容	調査資料の作成②	予習	質問票の修正をする			
				復習	調査の同意書を作成し、提出する			
	第13回	内容	調査の実施/制作の進行	予習	調査対象者を決めてくる			
				復習	調査対象者にアポイントメントを取る			
	第14回	内容	調査の実施②/制作の進行	予習	調査計画を再度確認しておく			
				復習	調査の記録を作成する			
	第15回	内容	調査の実施③/制作の進行	予習	前回の調査の不足分を確認しておく			
				復習	調査の記録を作成する			
	第16回	内容	調査結果の分析/制作の進行	予習	調査記録をまとめておく			
				復習	教員と相談しつつ、分析を進める			
	第17回	内容	調査結果の考察/制作の進行	予習	分析の結果をまとめておく			
				復習	考察の結果をまとめ、提出する			
	第18回	内容	中間発表の準備	予習	これまでの調査の内容と結果を整理する			
				復習	発表資料を作成し、提出する			
	第19回	内容	中間発表	予習	発表の練習をする			
				復習	自身の発表の振り返りを行う			
	第20回	内容	卒業論文の執筆/卒業制作	予習	ゼミナールⅠで作成した「はじめに」を見直す			
				復習	第1章を完成させ、提出する			
	第21回	内容	卒業論文の執筆②/卒業制作	予習	自身の研究に出てくる専門用語の定義をまとめておく			

				復習	第2章の執筆を進める
	第22回	内容	卒業論文の執筆③/卒業制作	予習	調査の結果について執筆を進める
				復習	書き上げた内容を推敲する
	第23回	内容	卒業論文の執筆④/卒業制作	予習	調査の分析について執筆を進める
				復習	教員と相談し、添削を受ける
	第24回	内容	卒業論文の執筆⑤/制作物のレポート作成	予習	全体の考察について執筆を進める
				復習	書き上げた内容に矛盾がないか確認する
	第25回	内容	卒業論文の執筆⑥/制作物のレポート作成	予習	原稿の誤字・脱字を確認する
				復習	内容の最終確認を行う
	第26回	内容	グループワーク	予習	グループワークで行なう内容を確認する
				復習	グループワークの計画を整理する
	第27回	内容	グループワーク②	予習	グループワークの計画を確認する
				復習	グループワークの内容を整理する
	第28回	内容	グループワーク③	予習	グループワークの計画を確認する
				復習	グループワークで行なったことをまとめる
	第29回	内容	最終発表の準備	予習	卒業論文の内容をパワーポイントでまとめる
				復習	発表資料を作成し、提出する
	第30回	内容	最終発表	予習	発表の練習をする
				復習	自身の発表の振り返りを行う
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出物及び発表について、個別にフィードバックを行います				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（40％）、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％				
教科書	指定しません。必要に応じて授業資料を配布します				
参考文献	『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』（井下千似子、慶應義塾大学出版会）				
補足事項	その他、テーマや調査方法にあわせて、授業内で指示します 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1qAdR9l0qW7zlrWAXnaxCn5cvsoP90n-/view?usp=sharing				

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	ゼミナールⅠに引き続いて日本の文学・文化・歴史などから自身が設定したテーマに基づいて考察を加える。論文や作品の完成に向けて実際に作業を進めていく。							
到 達 目 標	１．興味と関心に応じたテーマを自ら設定することができる。 ２．論文や作品を完成して他者に伝えられる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（１、２ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の始まりにあたって～ゼミナールⅠをふり返る	予習	ゼミナールⅠの資料とノートの整理と確認			
				復習	学習の段階を年間予定表として作成する			
	第 2 回	内容	神話のテーマ①古事記	予習	古事記に関する資料と１年次のノートを整理しておく			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 3 回	内容	神話のテーマ②古事記	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	古事記の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 4 回	内容	神話のテーマ③古事記	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 5 回	内容	和歌のテーマ①万葉集	予習	万葉集に関する資料と１年次のノートを整理しておく			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 6 回	内容	和歌のテーマ②万葉集	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 7 回	内容	和歌のテーマ③万葉集	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	万葉集の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 8 回	内容	物語のテーマ～①竹取物語	予習	竹取物語について調べて疑問点を書き出す			
				復習	竹取物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 9 回	内容	物語のテーマ②源氏物語	予習	源氏物語について調べて疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 10 回	内容	物語のテーマ③源氏物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	源氏物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 11 回	内容	説話のテーマ①宇治拾遺物語	予習	宇治拾遺物語について調べて疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 12 回	内容	説話のテーマ②宇治拾遺物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 13 回	内容	説話のテーマ③宇治拾遺物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	宇治拾遺物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 14 回	内容	歌謡のテーマ～①梁塵秘抄	予習	梁塵秘抄について調べて疑問点を書き出す			
				復習	梁塵秘抄の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 15 回	内容	歌謡のテーマ～②閑吟集	予習	閑吟集について調べて疑問点を書き出す			
				復習	閑吟集の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 16 回	内容	近代文学のテーマ①宮沢賢治	予習	宮沢賢治について調べて疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 17 回	内容	近代文学のテーマ②宮沢賢治	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	賢治作品の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 18 回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む①	予習	川端康成について調べて疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 19 回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む②	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
		内容			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		

	第 20 回		近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む③	復習	授業の内容を整理してノートにまとめる
	第 21 回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む④	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる
	第 22 回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む⑤	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す
				復習	伊豆の踊子の魅力と特性を整理してノートにまとめる
	第 23 回	内容	民俗文化のテーマ柳田国男と遠野物語	予習	遠野物語を読んで疑問点を書き出す
				復習	遠野物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる
	第 24 回	内容	テーマに応じた個別指導①	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 25 回	内容	テーマに応じた個別指導②	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 26 回	内容	中間発表会	予習	これまでの成果を発表できるようまとめておく
				復習	自身への質問・意見などをまとめ整理する
	第 27 回	内容	テーマに応じた個別指導③	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 28 回	内容	テーマに応じた個別指導④	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 29 回	内容	テーマに応じた個別指導⑤	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 30 回	内容	最終発表会	予習	論文、作品を完成する
				復習	相互に交換した疑問・意見などを課題にに反映してまとめる
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出時にコメントする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ ）％、作品・発表（70％）、実技（ ）％、授業態度【 主体性 】（30％）				
教科書	必要に応じて配布する				
参考文献	必要に応じて指示する				
補足事項					

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	卒業・卒業制作をすることを最終目的についてのそのための調査をし、自らのテーマに基づく先品を仕上げるアクティブラーニングの授業である。舞台衣装について日本・韓国などのアジアや欧米各国の製品作りを目指す。							
到 達 目 標	1．想像力を育ために各種ファッション・アパレル製品を調査することができる。 2．自然を学ぶためのフィールドワークを実施することができる。 3．自らファッション・アパレルアイテムを制作することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2、3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	授業内容についての説明	予習	何を研究したいのかを考えておく。			
				復習	何を研究したいのかを考えておく。			
	第2回	内容	日本のファッション全般を知りモチベーション向上時間	予習	自分の好きなものを考えてみよう。			
				復習	何を取り入れたいか分析してみる。			
	第3回	内容	フィールドワーク（自然の色を見る）	予習	自然研究の論文をみしておくこと。			
				復習	自然の色について考えてみよう。			
	第4回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作の予習をすること。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第5回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第6回	内容	コラージュ制作発表	予習	アイテム制作。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第7回	内容	ファッションと SDG	予習	SDGs について調べておく。			
				復習	ファッションと SDGs の関連を理解する。			
	第8回	内容	ファッション雑誌の比較研究	予習	国によつての差違を調べておく。			
				復習	自分のファッションが変わったか考えてみる。			
	第9回	内容	シニアのおしゃれの国際比較	予習	シニアで気になるファッションを調べておく。			
				復習	ハイブランドが与えた影響を理解する。			
	第10回	内容	ファストファッション（ユニクロ、Zara など）の広がりについて	予習	ファストファッションについて調べておく。			
				復習	ファストファッション普及の背景を理解する。			
	第11回	内容	ハイブランドファッションについて	予習	ハイブランドについて調べておく。			
				復習	ハイブランドが与えた影響を理解する。			
	第12回	内容	気候風土とファッション	予習	気候風土とファッションの関係を調べておく。			
				復習	気候風土と関りがあることを理解がある			
	第13回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分のおしゃれアイテム、組み合わせを準備。			
				復習	発表した組み合わせの改善点を考える。			
	第14回	内容	模擬ファッションショー	予習	おしゃれアイテム、組み合わせを考え、準備。			
				復習	発表した組み合わせの改善点を考える。			
	第15回	内容	提出レポートと質疑応答	予習	発表に備えた準備をしておく。			
				復習	発表に備えた準備をしておく。			
	第16回	内容	日本のおしゃれ	予習	日本の文化を調べておく。			
				復習	日本の文化を理解する。			
	第17回	内容	韓国のおしゃれ	予習	韓国の文化を調べておく			
				復習	韓国の文化を理解する。			
	第18回	内容	アメリカのおしゃれ	予習	アメリカの文化を知る。			
				復習	アメリカの文化を理解する。			
	第19回	内容	国によつてのおしゃれ イタリア	予習	イタリアの文化を知る。			
				復習	イタリアの文化を理解する。			
	第20回	内容	モンゴルのおしゃれ	予習	モンゴルの文化を知る。			
				復習	モンゴルの文化を理解する。			
	第21回	内容	アフリカのおしゃれ	予習	アフリカの文化を知る。			
				復習	アフリカの文化を理解する。			

	第 22 回	内容	ロシア・ウクライナのおしゃれ	予習	ロシア・ウクライナの文化を知る。
				復習	ロシア・ウクライナの文化を理解する。
	第 23 回	内容	世界のダンサーの比較	予習	世界のダンスの比較をしてみよう。
				復習	国によって衣装が変わることを理解する。
	第 24 回	内容	クルーズ客船のクローゼット	予習	客船の旅を知る。
				復習	旅の持ち物を理解する。
	第 25 回	内容	Kimono	予習	着物を知る。
				復習	着物を理解する。
	第 26 回	内容	大人ファッションとは	予習	大人のお洒落って何だろう。
				復習	お洒落を大人になっても忘れないで。
	第 27 回	内容	卒業制作	予習	卒業制作の準備。
				復習	作品の確認・手直し。
	第 28 回	内容	卒業制作	予習	卒業制作の準備。
				復習	作品の確認・手直し。
	第 29 回	内容	発表	予習	発表の準備。
				復習	作ったものを改善点がないか考えてみよう。
	第 30 回	内容	まとめ	予習	一言を考えておく。
				復習	振り返って授業で得たものを確認する。
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	調査・資料収集、作品作りに当たっては教員が個別指導します。必ず教員の個別指導を受けてください。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（30％）、作品・発表（40％）、実技（ ）％、授業態度【積極参加】（30％）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし。				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） なし。				
補足事項	なし。				

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	Web サイト企画・構築→作成→運用→見直しと検討を重ねて、よりよいサイトへ改善していく方法を学習する。より情報が伝わる一歩進んだデザイン表現方法や技術を考究していく。							
到 達 目 標	１． Web サイトの効果的な表現方法を調査し、取り入れることができる。 ２． 作品を制作できる技術を身につけている。 ３． 解決すべき問題・課題を見つけ、取り組むことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2.3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	Web サイトの構築サイクル	予習	Web サイトのデザイントレンドを調べる			
				復習	サイト改善の流れを確認する			
	第3回	内容	Web サイトの改善	予習	アクセス解析について調べる			
				復習	閲覧しやすいサイトデザイン考える			
	第4回	内容	使いやすさと情報の伝達方法	予習	ユーザビリティとアクセシビリティを調べる			
				復習	ユーザビリティとアクセシビリティをまとめる			
	第5回	内容	ユーザーにアクセスしてもらう工夫	予習	アクセス増の工夫を調べる			
				復習	アクセス増の技術についてまとめる			
	第6回	内容	モバイルファースト	予習	モバイルファーストを調べる			
				復習	モバイルファーストのメリットデメリットをまとめる			
	第7回	内容	レスポンス対応①	予習	レスポンス対応を調べる			
				復習	レスポンス対応についてまとめる			
	第8回	内容	レスポンス対応②	予習	レスポンス対応を調べる			
				復習	レスポンス対応についてまとめる			
	第9回	内容	フレックスボックスの配置①	予習	フレックスボックスを調べる			
				復習	フレックスボックスの構造を理解する			
	第10回	内容	フレックスボックスの配置②	予習	float を確認する			
				復習	フレックスボックスと float の違いを理解する			
	第11回	内容	画像を活用したボタン作成	予習	リンク設定の CSS を確認する			
				復習	opacity、トランジションの効果を確認する			
	第12回	内容	見出しデザイン	予習	見出しのデザインを考える			
				復習	サイトに合う見出しデザインを再検討する			
	第13回	内容	リンクデザイン	予習	グラフィック効果の CSS について調べる			
				復習	サイトに合うリンクデザインを再検討する			
	第14回	内容	ハンバーガーメニュー	予習	ハンバーガーメニューを調べる			
				復習	ハンバーガーメニューの作成手順をまとめる			
	第15回	内容	フッターの作成	予習	フッターの最近の傾向について調べる			
				復習	完成を確認する			
	第16回	内容	秋草祭サイト制作① グループワーク	予習	学園祭サイトを調べる			
				復習	グループワークで行う内容を整理する			
	第17回	内容	秋草祭サイト制作② グループワーク	予習	グループワークの役割を確認する			
				復習	グループワークの役割を整理する			
	第18回	内容	秋草祭サイト制作③ グループワーク	予習	グループワークの進捗などを確認する			
				復習	グループワークの進捗と役割を整理する			
	第19回	内容	秋草祭サイト制作④ グループワーク	予習	グループワークの進捗などを確認する			
				復習	グループワークの進捗と役割を整理する			
	第20回	内容	秋草祭サイト制作⑤ グループワーク	予習	グループワークの進捗などを確認する			
				復習	グループワークの進捗と役割を整理する			
	第21回	内容	秋草祭サイト制作⑥ グループワーク	予習	グループワークの進捗などを確認する			
				復習	グループワークの進捗と役割を整理する			

	第 22 回	内容	秋草祭サイト制作⑦ グループワーク	予習	グループワークの進捗などを確認する
				復習	グループワークの進捗と役割を整理する
	第 23 回	内容	作品制作・個別指導①	予習	作成手順を書き出す
				復習	計画書を作成する
	第 24 回	内容	作品制作・個別指導②	予習	情報収集をする
				復習	計画書を見直す
	第 25 回	内容	作品制作・個別指導③	予習	制作計画を確認する
				復習	情報収集、素材を集める
	第 26 回	内容	作品制作・個別指導④	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	制作の疑問点を調べる
	第 27 回	内容	作品制作・個別指導⑤	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	制作の疑問点を調べる
	第 28 回	内容	作品制作・個別指導⑥	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	作品の全体像について見直す
	第 29 回	内容	作品制作・個別指導⑦	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	作品の全体像について見直す
	第 30 回	内容	作品最終チェックと動作確認	予習	作品の文章・著作権をチェックする
				復習	作品の問題点を整理して、調整する
予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題、作品へのコメント、アドバイス、評価は、個別対応する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（20%）、作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（30%）				
教科書	必要に応じ、プリント配布する				
参考文献	なし				
補足事項	なし				

科 目 名	短大生基礎力演習		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	か が や たかふみ 加賀谷 崇文 他
ナンバリングコード	GEE3211		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本授業は 4 人の教員が分担して行う授業です。内容は、これからの大学での学習にとって不可欠の知識及び卒業後の社会人として不可欠の知識とし、①時事問題②基礎数学③国語教養④英語等で構成します。また、大学生活を送るうえで必要な知識や姿勢について社会人に学ぶ授業を随時取り入れていきます。学生は 3 つのグループに分かれ、4 人の教員がそれぞれ分担して 1 グループ 2 回ずつ行いことにしています。							
到 達 目 標	1. 大学生として不可欠な基礎的な知識を身につけることができる。 2. 社会人として必要な基礎的な知識を身につけることができる。 3. 幅広い教養を身につけることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1. 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	大学生活及び学習生活における注意事項の説明等。	予習	学生便覧を読んでおいてください。			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	授業内容の説明とグループ分け。	予習	4 つの分野の一般的知識について調べる			
				復習	この科目で行なうことを復習する			
	第 3 回	内容	時事問題①政治・経済	予習	政治・経済の一般的知識について調べる			
				復習	政治・経済に関して復習する			
	第 4 回	内容	時事問題②環境	予習	環境の一般的知識について調べる			
				復習	環境に関して復習する			
	第 5 回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる			
				復習	講演内容について復習する			
	第 6 回	内容	基礎数学①四則計算	予習	計算の一般的知識について調べる			
				復習	計算に関して復習する			
	第 7 回	内容	基礎数学②データ解析	予習	データ解析の一般的知識について調べる			
				復習	データ解析に関して復習する			
	第 8 回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる			
				復習	講演内容について復習する			
	第 9 回	内容	国語教養①	予習	国語の一般的知識について調べる			
				復習	国語に関して復習する			
	第 10 回	内容	国語教養②	予習	国語の一般的知識について調べる			
				復習	国語に関して復習する			
	第 11 回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる			
				復習	講演内容について復習する			
	第 12 回	内容	英語①	予習	歴史の一般的知識について調べる			
				復習	歴史に関して復習する			
	第 13 回	内容	英語②	予習	地理の一般的知識について調べる			
				復習	地理に関して復習する			
	第 14 回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる			
				復習	講演内容について復習する			
第 15 回	内容	後期のゼミの説明とゼミ決定。	予習	各ゼミについて調べる				
			復習	これまで行なったことを振り返る				
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	各教員から課題などに対するフィードバックがあります。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 8 0 % ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【課題提出等】（ 2 0 % ）							
教科書	特に指定しません。教材は各教員が配布します。							
参考文献	とくにありません							
補足事項	上記表で示した第 3 回から第 14 回までの授業はいずれも 4 人の教員が同時進行するものであり、シラバスの順番通りに実施するものではありません。また、外部講師のご都合等により内容の変更が生じる場合があります。 加賀谷 15 回、伊藤 15、江本 15 回、土屋 15 回、桑原 15 回							

科 目 名	ことばと表現		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之
ナンバリングコード	CUL3211		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	短大生に必要なとされる様々な文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。							
到 達 目 標	1.様々なタイプの文章の内容について理解している。 2.要求され事柄が的確に文章で伝えられる。 3.自らの考えが口頭で伝えられる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の開始にあたって	予習	興味のある新聞記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 2 回	内容	新聞記事を読む①	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 3 回	内容	新聞記事を読む②	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 4 回	内容	新聞記事を読む③	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 5 回	内容	新聞記事を書き写す①	予習	書き写し用の記事を用意する			
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む			
	第 6 回	内容	新聞記事を書き写す②	予習	書き写し用の記事を用意する			
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む			
	第 7 回	内容	新聞記事を書き写す③	予習	書き写し用の記事を用意する			
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む			
	第 8 回	内容	時事問題について考える①	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 9 回	内容	時事問題について考える②	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 10 回	内容	新聞記事を要約する①	予習	興味のある新聞記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 11 回	内容	新聞記事を要約する②	予習	興味のある新聞記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 12 回	内容	語彙を豊かにする①	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す			
				復習	注意する語の意味を調べてノートにまとめる			
	第 13 回	内容	語彙を豊かにする②	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す			
				復習	注意する語の意味を調べてノートにまとめる			
	第 14 回	内容	漢字検定に挑戦する①	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく			
				復習	間違えた漢字を繰り返し書いて記憶する			
	第 15 回	内容	漢字検定に挑戦する②	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく			
				復習	間違えた漢字を繰り返し書いて記憶する			
予習に要する学習時間：概ね 2 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回の授業時と提出時に各自にコメントする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ 7 0 ）％、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【主体性 】（ 3 0 ）％							
教科書	プリントを配布							
参考文献	必要に応じて指示する							
補足事項	復習を徹底して行うことが何より重要							

科 目 名	ことばと表現		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	こしみず ゆうこ 小清水 裕子
ナンバリングコード	CUL3211		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	短大生に必要とされる様々な文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。							
到 達 目 標	1. 様々なタイプの文章の内容を理解している。 2. 要求された内容について文脈に沿って文章で伝えることができる。 3. 自らの考えを口頭で分かりやすく伝えることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1・2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス～授業の開始にあたって	予習	一般にことばと表現とは何かを考える			
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる			
	第2回	内容	国語常識	予習	便覧などから国語常識の分野の資料を探す			
				復習	特に間違えた問題をやり直す			
	第3回	内容	敬語	予習	身の回りで用いる敬語について確認する			
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる			
	第4回	内容	手紙文	予習	手紙文の形式について確認する			
				復習	実際に手紙文を書いてみる			
	第5回	内容	論理的な文章の展開	予習	論理的文章にはどのようなものがあるか調査する			
				復習	論理展開の基礎知識をまとめる			
	第6回	内容	正確に文章を理解する	予習	正確で早く理解する為の工夫について考える			
				復習	認知機能の特性と正確な理解の関係をまとめる			
	第7回	内容	的確に伝える	予習	的確に伝わらない場面の事例を集める			
				復習	ノイズの理論に沿って解決方法を考える			
	第8回	内容	クリティカルシンキングと考察	予習	クリティカルシンキングとは何か調べる			
				復習	クリティカルシンキングの事例を整理する			
	第9回	内容	様々なタイプの文章 説明文①	予習	生活の中に見られる説明文を探す			
				復習	説明文を難しいと認識する理由を理解する			
	第10回	内容	様々なタイプの文章 説明文②	予習	生活の中に見られる論説文を探す			
				復習	論説文を構造的に理解する			
	第11回	内容	様々なタイプの文章 評論文①	予習	生活の中に見られる評論文を探す			
				復習	評論文の構造的特徴を意識しプリントを読む			
	第12回	内容	様々なタイプの文章 評論文②	予習	評論文の構造について整理する			
				復習	構造を意識して評論文を書いてみる			
	第13回	内容	様々なタイプの文章 文学的文章①	予習	生活の中に見られる文学的表現を探す			
				復習	身近な文学的表現を整理する			
	第14回	内容	様々なタイプの文章 文学的文章②	予習	近代以降の表記の変化について調べる			
				復習	言文一致や外来語についてまとめる			
	第15回	内容	自己表現とことば	予習	ことばで自己表現する為の素材を集める			
				復習	ことばの力を意識して自己表現する			
予習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。								
課題へのフィードバック	口頭発表や提出した素材を基に振り返りを行う。毎時提出されたプリントにコメントをフィードバックする。更に補完し再提出する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（50 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【 積極的参加】（50 ）」							
教科書	プリント配布します							
参考文献	都度指示します。							
補足事項	毎回テーマに沿ったレポートを作成し提出し、作成したレポートを基に発表を行います。 授業時には個人の端末（スマートフォン、タブレット、PC）を用いて、参考となる web を閲覧します。							

科 目 名	情報処理演習		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	くわはら ななみ 桑 原 七海
ナンバリングコード	INS3211		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	PC を用いて、コンピュータの基本操作やオフィス系ソフトウェアの使い方を中心に学びます。ワード、エクセル、パワーポイントに加え、Google Workspace などのクラウドツールも活用します。大学生活やビジネスの場面で役立つよう、異なるソフトウェアやクラウドサービスの特性を理解しながら、実践的なコンピュータスキルを身につけることを目指します。							
到 達 目 標	１． 正確で効率的なタイピングスキルを身につけ、基本的な文字入力や編集ができる。 ２． ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作ができる。 ３． 信頼性のある情報を適切に収集し、目的に応じて整理・活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス、授業用フォルダの作成、Google Classroom の使い方、ファイルの提出の仕方、タイピング等	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	コンピュータの基礎・画像作成	予習	画像の形式について調べる			
				復習	コンピュータの操作を復習する			
	第 3 回	内容	ワードの基礎・ファイルの印刷の仕方 アニメーション GIF の作成	予習	ワードの機能について調べる			
				復習	画像編集ソフトの使い方を復習する			
	第 4 回	内容	インターネット・情報モラル・タイピング・電子メール ICT を用いたクリッカーや双方向アンケートの活用	予習	情報モラルについて調べる			
				復習	タイピングの練習をする			
	第 5 回	内容	ワード レポート・レジュメ	予習	レポートの形式について調べる			
				復習	二段組みのやり方を復習する			
	第 6 回	内容	ワード 時間割表の作成	予習	表機能について調べる			
				復習	表の作り方を復習する			
	第 7 回	内容	ワード 時間割表の作成の続き	予習	文字列の折り返しについて調べる			
				復習	画像の貼り付け方を復習する			
	第 8 回	内容	エクセルの基礎	予習	エクセルの機能について調べる			
				復習	数式の入れ方を復習する			
	第 9 回	内容	エクセルの基礎の続き エクセル グラフを使った情報分析	予習	家計簿の仕組みについて調べる			
				復習	SUMIF 関数を復習する			
	第 10 回	内容	エクセル グラフを使った情報分析の続き	予習	グラフの種類について調べる			
				復習	複合グラフの作り方を復習する			
	第 11 回	内容	エクセル 診断シート	予習	診断シートのテーマを考える			
				復習	セルの装飾の仕方を復習する			
	第 12 回	内容	エクセル 診断シートの続き	予習	IF 関数について調べる			
				復習	IF 関数を複数使う場合のやり方を復習する			
	第 13 回	内容	パワーポイントの基礎	予習	パワーポイントの機能について調べる			
				復習	アニメーション機能を復習する			
	第 14 回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成	予習	紙芝居のテーマを考える			
				復習	画像の背景の消し方を復習する			
	第 15 回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成の続き	予習	スライドマスタについて調べる			
				復習	スライドマスタの使い方を復習する			
	第 16 回	内容	ワード イラスト素材の作成	予習	図形ツールについて調べる			
				復習	曲線の図形の編集の仕方を復習する			
	第 17 回	内容	ワード イラスト素材の作成の続き	予習	色の RGB 形式について調べる			
				復習	色の取得方法を復習する			
	第 18 回	内容	エクセル 計算演習	予習	速さと割合に関する数式を調べる			
				復習	計算式の入れ方を復習する			
	第 19 回	内容	エクセル 関数演習	予習	エクセルの関数の種類を調べる			
				復習	関数の使い方を復習する			
	第 20 回	内容	エクセル 関数演習の続き	予習	仕事でよく使われる関数を調べる			
				復習	VLOOKUP 関数の使い方を復習する			
			内容		予習	ワードの表機能について調べる		

	第 21 回		ワード 履歴書の作成	復習	表の作り方を復習する
	第 22 回	内容	ワード ビジネス文書の形式	予習	ビジネス文書について調べる
				復習	ビジネス文書の形式を再度確認する
	第 23 回	内容	エクセル 家計簿の作成	予習	家計簿の計算について調べる
				復習	家計簿の作り方を復習する
	第 24 回	内容	エクセル 絶対参照・ピボットテーブルの演習	予習	絶対参照とピボットテーブルについて調べる
				復習	絶対参照の使い方を復習する
	第 25 回	内容	ワード・エクセル 差し込み文書	予習	差し込み文書について調べる
				復習	差し込み文書のやり方を復習する
	第 26 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析	予習	栄養素について調べる
				復習	食べ物の栄養素の調べ方を復習する
	第 27 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析の続き	予習	栄養素の基準値の計算方法について調べる
				復習	VLOOKUP 関数を復習する
	第 28 回	内容	ワード 本の形式	予習	スタイル機能について調べる
				復習	スタイル機能を復習する
第 29 回	内容	ワード 本の形式の続き	予習	ヘッダー・フッター機能について調べる	
			復習	目次の作り方を復習する	
第 30 回	内容	まとめ、情報活用能力に関する各自の見解の整理	予習	これまで作成した課題を確認する	
			復習	これまで作成した課題を振り返る	
予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、実技（ %）、授業態度【 積極的参加 】（ 50 %）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	毎回小テストや課題を行う。日常的にタイピング練習をしておくこと。				

科 目 名	日本文化論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	CUL3212			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	明治43年（1910）柳田國男によって刊行された『遠野物語』に収められた民話や昔話を読む。そこに描かれている近代以前の人々の暮らしと自然との関わりのあり様を通して、限られた特定の人々の歴史とは異なる、後世に多くを伝えられることのない一般の人々の人生に迫る。									
到 達 目 標	1．民話や昔話の内容を味読できる。 2．近代以前の人々の日常の営みを理解している。 3．自身の内面に歴史的想像力を育てることができる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）									
授 業 計 画	第1回	内容	授業を始めるにあたって	予習	幾つかの話を選んで声にして読んでみる					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第2回	内容	明治43年前後の日本と世界	予習	明治43年（1910）前後の社会について調べる					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第3回	内容	遠野物語「序文」と柳田國男の思い	予習	序文を繰り返し読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第4回	内容	「地域限定」の神々～オシラサマ・カクラサマ等々	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第5回	内容	山に棲むモノたち～山神・山人	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第6回	内容	ザシキワランと家々の盛衰	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第7回	内容	猿・狐・熊～多様な動物たちと人びとの暮らし	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第8回	内容	狼と人との葛藤	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第9回	内容	異界としての山	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第10回	内容	この世からの離別～最期に人が望むこと	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第11回	内容	異類との遭遇～カッパ・天狗	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第12回	内容	富の獲得～マヨヒガ	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第13回	内容	山地と海岸の交流	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第14回	内容	合戦と津波～史実と災害はどう記憶されたか	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す					
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる					
	第15回	内容	授業の終わりにあたって～近代以前の人々の内面的世界	予習	これまでのノートを整理する					
				復習	当時と現代の「常識」の違いについて考察する					
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【自主性】（30%）								
	教科書	『遠野物語』（柳田国男 角川ソフィア文庫）								
参考文献	必要に応じて指示する									
補足事項										

科 目 名	ヒューマンスキル演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志 他
ナンバリングコード	CAE3211		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業は対人基礎力を養うための授業です。近年少子化により兄弟が少ない家庭が多くなり、日常的に大人数の中で行動することが減っています。それに伴い、友達が作れないなど、人と関係を構築することが苦手な学生が増えています。この授業では、多くの交流の場を用意し、教員がサポートすることで、学生が集団の中で交流できる力を身に付けることを目指す。							
到 達 目 標	1. 他者とうまく関わる努力ができる。 2. 自らが踏み出して他者と会話ができる。 3. 対人関係における情動やストレスのコントロールの仕方を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス・自己紹介など [全員]	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	コミュニケーションカードゲーム（グループワーク） [伊・桑]	予習	コミュニケーションカードゲームについて調べる			
				復習	コミュニケーションについて復習する			
	第 3 回	内容	図書館の使い方と書籍や文献の検索方法 [土]	予習	図書館についての情報を確認する			
				復習	検索方法を復習する			
	第 4 回	内容	スポーツ演習（グループワーク） [土・桑]	予習	ソフトバレーボールについて調べる			
				復習	バレーボールの動きについて復習する			
	第 5 回	内容	カードゲームなどによるコミュニケーション [土・桑] メールの書き方・マナー	予習	カードゲームのルールを調べる			
				復習	コミュニケーションについて振り返る			
	第 6 回	内容	学外研修 [全員]	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	学外研修について復習する			
	第 7 回	内容	学外研修 [全員]	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	学外研修について復習する			
	第 8 回	内容	研究室訪問と談話会① [全員]	予習	質問する事柄を考えておく			
				復習	話した内容を復習する			
	第 9 回	内容	e スポーツ [江]	予習	e スポーツについて調べる			
				復習	e スポーツの効果について考える			
	第 10 回	内容	研究室訪問と談話会② [全員]	予習	質問する事柄を考えておく			
				復習	話した内容を復習する			
	第 11 回	内容	ミニ運動会（グループワーク） [土・桑]	予習	行なう競技について調べる			
				復習	競技の動きについて復習する			
	第 12 回	内容	共同制作（グループワーク） [伊・江]	予習	グループワークの計画を確認する			
				復習	グループワークの内容を整理する			
	第 13 回	内容	共同制作（グループワーク） [土・桑]	予習	グループワークの計画を確認する			
				復習	グループワークの内容を整理する			
	第 14 回	内容	共同制作（グループワーク） [全員]	予習	グループワークの計画を確認する			
				復習	グループワークで行なったことをまとめる			
	第 15 回	内容	まとめ・就職活動に関する講座 [伊]	予習	就職活動について調べる			
				復習	これまでの行なった内容を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題などに問題がある場合コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	状況により授業内容が変更になる可能性があります。交通費や食事代、材料費などは自己負担となります。 ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） 伊藤明芳 9 回、江本全志 8 回、土屋深優 11 回、桑原七海 11 回							

科 目 名	インターンシップ		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナハ°リンク°コート°	CAE3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本演習では、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力の基本を理解し、身につけ、また、実際の現場での実習を通して各職業の実態を理解することを目指します。これらの学びや体験により、働くことの意味や責任をより豊かに考え、将来の職業選択に活かすことが求められます。								
到 達 目 標	1. 社会人として必要なマナー、コミュニケーション能力が身についている 2. 働くことの意義を理解し、意欲を持って職業選択に取り組むことができる 3. インターンシップ先の業界、業務について理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3、4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション（インターンシップとは何か）		予習	シラバスを読んでおく			
					復習	本演習の概要を理解する			
	第 2 回	内容	基本的なマナー①（心構え、言葉遣い、身だしなみ等）		予習	必要なマナーについて考える			
					復習	各マナー、所作の練習をする			
	第 3 回	内容	基本的なマナー②（電話のかけ方、受け方等）		予習	一般的な電話の応答について調べる			
					復習	電話応答の方法を練習する			
	第 4 回	内容	書類の書き方、面接の受け方		予習	履歴書を書いてみる			
					復習	面接のマナーを練習する			
	第 5 回	内容	実習先の決定と申し込み		予習	インターンシップ先を検討しておく			
					復習	受入企業に連絡をする			
	第 6 回	内容	先輩から学ぶ（先輩による体験報告会）		予習	自身のインターンシップの過程を推測する			
					復習	先輩からの学びを整理する			
	第 7 回	内容	インターンシップ受入企業・団体の業種、職業の調査		予習	インターンシップ先の業界について調べる			
					復習	調べた内容をまとめる			
	第 8 回	内容	インターンシップ	受入企業の調査①	予習	翌日の実習の内容を確認する/社史を調べる			
					復習	実習時の学びを日誌にまとめる/調べた内容をまとめる			
	第 9 回	内容	インターンシップ	受入企業の調査①-2	予習	翌日の実習の内容を確認する/業務内容を調べる			
					復習	実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる			
	第 10 回	内容	インターンシップ	インターンシップ①	予習	翌日の実習の内容を確認する			
					復習	実習の日誌をまとめる			
	第 11 回	内容	インターンシップ	受入企業の調査②	予習	翌日の実習の内容を確認する/社史を調べる			
					復習	実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる			
	第 12 回	内容	インターンシップ	受入企業の調査②-2	予習	翌日の実習の内容を確認する/業務内容を調べる			
					復習	実習の日誌をまとめる/調べた内容をまとめる			
	第 13 回	内容	インターンシップ	インターンシップ②	予習	翌日の実習の内容を確認する			
					復習	実習の日誌をまとめる			
	第 14 回	内容	インターンシップ報告会準備			予習	全体としての実習記録を作成し、提出する		
						復習	報告会の練習をする		
	第 15 回	内容	インターンシップ報告会			予習	実習記録の最終版を提出する		
						復習	報告会の内容を振り返り、学びを深める		
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	インターンシップの派遣前後には面談を行います。また、インターンシップでの活動内容と報告会についてコメントを返却します。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（40％）、作品・発表（20％）、実技（40％）、授業態度【 】（ ）％								
教科書	指定しません。授業内で資料を配布します。								
参考文献	授業内で随時紹介します。								
補足事項	本授業のインターンシップは第 8 回より、5 日程度のインターンシップに参加する形式と、1 日のプログラムに複数回参加する形式に分かれます。どちらの形式で実施するかは授業内の教員との面談等を通して決定します。								

科 目 名	ボランティア活動			単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナバリングコード	CAE3212			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	実際のボランティア活動を通して、人と人のつながり、地域社会への参加を経験し、ボランティア精神や社会貢献の必要性、意義について学びます。また、ボランティア活動を通して、将来の職業選択へのヒントを得たり、社会で働く上でのマナーや知識を身に着けることを目指します。									
到 達 目 標	1. ボランティア精神や社会貢献の必要性、意義について説明することができる 2. 社会活動に参加する上での基本的なマナー、知識を身につけている 3. 活動計画や日誌、報告書等を作成する、文書作成能力とそれらを発表する能力を身につけている									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3、4 ）									
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく					
				復習	授業の進め方を理解する					
	第2回	内容	社会貢献活動の意義（講義）	予習	社会貢献とは何を指すか調べる					
				復習	自身のボランティア経験を振り返り、活動の意義を考える					
	第3回	内容	ボランティアの歴史と現状（講義）	予習	日本のボランティアの制度について調べる					
				復習	所沢で行われているボランティア活動を調べて、概要を読む					
	第4回	内容	基本的マナー（講義）	予習	電話のかけ方を調べる					
				復習	自身の服装、言葉遣い等を見直し、改善する					
	第5回	内容	活動先の決定	予習	興味のある分野のボランティア活動について調べておく					
				復習	実習先に連絡する					
	第6回	内容	活動計画の作成	予習	活動内容について整理しておく					
				復習	計画を作成し、提出する					
	第7回	内容	ボランティア活動①	予習	活動の内容を改めて確認する					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する					
	第8回	内容	ボランティア活動②	予習	活動の内容を改めて確認する					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する					
	第9回	内容	ボランティア活動③	予習	活動の内容を改めて確認する					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する					
	第10回	内容	ボランティア活動④	予習	活動の内容を改めて確認する					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する					
	第11回	内容	ボランティア活動⑤	予習	活動の内容を改めて確認する					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する					
	第12回	内容	活動報告書の作成	予習	これまでの活動内容をまとめておく					
				復習	報告書を作成し、提出する					
	第13回	内容	活動報告書の作成	予習	教員からのフィードバックを受けて修正する					
				復習	活動報告の最終版を提出する					
	第14回	内容	活動発表の準備	予習	活動報告を見直しておく					
				復習	発表資料を作成し、提出する					
	第15回	内容	活動発表（発表）	予習	発表の練習を行う					
				復習	発表のフィードバックを受け、改善点を考える					
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	提出された報告書、活動発表についてフィードバックを行います								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（60%）、作品・発表（%）、実技（ ）、授業態度【活動における積極性】（40%）								
教科書	指定しません。									
参考文献	指定しません。必要に応じて授業内で指示します									
補足事項	活動先との日程に合わせて、授業の曜日や時限が前後する可能性があります。									

科 目 名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳 他	
ナンバリングコード	CAE3213		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()								
授 業 の 内 容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心とした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の２本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。毎回「課題レポート」等の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。								
到 達 目 標	１．企業の職種、業種を理解することができる。 ２．企業の人材採用方針について理解することができる。 ３．社会人としてのマナーやTPOを知り、企業社会と働き方を認識することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (２．３．４)								
授 業 計 画	第 1 回	内容	学長講話	予習	シラバスを読んでおくこと。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第 2 回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第 3 回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。				
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。				
	第 4 回	内容	業界・企業研究①	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。小レポート提出。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 5 回	内容	業界・企業研究②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 6 回	内容	業界・企業研究③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 7 回	内容	SPI	予習	SPIについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 8 回	内容	業界・企業研究④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 9 回	内容	業界・企業研究⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 10 回	内容	業界・企業研究⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 11 回	内容	社会人としてのマナー①	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 12 回	内容	社会人としてのマナー②	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 13 回	内容	社会人としてのマナー③	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 14 回	内容	社会人としてのマナー④	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	第 15 回	内容	社会人としてのマナー⑤	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。				
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題（気づきノートの作成）などを通じて学習内容の理解増進を図ります。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／(○) しない 成績評価の方法：筆記試験 () %、レポート・課題 (9 0 %) 作品・発表 () %、実技 () %、授業態度【課題提出状況】(1 0 %)							
教科書	特にしてしません。								
参考文献	特にありません。								
補足事項	毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎日が試験のつもりで頑張ってください。								

科 目 名	観光学総論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一	
ナソバ・リンク・コート*	TOS3211		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	観光は、宿泊、交通、物販売り上げ、雇用など地域を元気にし、経済効果が大きい、人口減少の中で観光を起爆剤にして地域を盛り上げたい思いがある。観光の歴史、産業としての観光、宿泊業や交通、旅行会社などの現状、そうした業界がどのような人材を求めているかなどを学ぶ。								
到 達 目 標	1．観光全般について、その歴史、経済とのかかわりなどを総合的に説明できる。 2．観光に関連する産業の構造について総合的、多面的に理解している。 3．日本の観光に不可欠のインバウンド（訪日外国人観光客）への取り組みについて、語ることができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる				
	第 2 回	内容	観光とは何か。なぜ、観光が重視されるのか。	予習	観光が重視されるのかについて調べておく				
				復習	国、地方における観光の役割をまとめておく				
	第 3 回	内容	江戸時代のお伊勢参りから現代まで観光の歴史	予習	江戸時代からの観光の歴史を調べておく				
				復習	日本と世界の観光の歴史をまとめる				
	第 4 回	内容	観光と経済 産業としての観光業とは何か	予習	産業界における観光業について調べておく				
				復習	観光と他産業との比較をまとめておく				
	第 5 回	内容	温泉やおもてなしなど日本の観光の強みとは何か。	予習	おもてなし文化など日本観光強みを調べておく				
				復習	自分なりの日本の観光の強みをまとめておく				
	第 6 回	内容	観光大国といわれる外国における観光の位置付け	予習	フランスなど観光大国について調べておく				
				復習	海外の観光大国の現状をまとめる				
	第 7 回	内容	コロナ禍後で戻ってきたインバウンド(訪日外国人)	予習	国、年ごとのインバウンドの推移を調べておく				
				復習	インバウンドがなぜ重要かまとめておく				
	第 8 回	内容	日本人と海外旅行。海外旅行の歴史	予習	日本人の海外旅行の変遷について調べておく				
				復習	日本人の海外旅行の今後についてまとめておく				
	第 9 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション①	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく				
				復習	発表資料をもとに理解を深め、まとめる。				
	第 10 回	内容	地方にとつての観光の位置づけ	予習	自治体の観光の取り組みを調べておく				
				復習	観光で成功している地域をまとめておく				
	第 11 回	内容	観光と情報発信 メディアから SNS まで	予習	観光にとって情報発信とは何かを調べておく				
				復習	観光分野の SNS の効果についてまとめておく				
	第 12 回	内容	観光と IT 化 人手不足対応の切り札となるか	予習	観光における IT 化について調べておく				
				復習	IT 化が進んでいる観光地をまとめる				
	第 13 回	内容	観光と世界遺産	予習	世界遺産とは何かを調べておく				
				復習	世界遺産登録と観光の関連をまとめておく				
	第 14 回	内容	新たな旅の目的、道の駅	予習	道の駅とは何かについて調べておく				
				復習	地域観光に与える影響をまとめる				
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション②	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく				
				復習	発表資料をもとに理解を深め、まとめる。				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％）、レポート・課題（40％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％）、授業態度【出席数、積極的参加】（30％）							
教科書	使用しない。必要に応じ資料配布、ウェブの関連サイトを紹介する								
参考文献	『令和 6 年版 観光白書』 観光庁編。								
補足事項	課題作文は毎回提出してください。予習、復習には観光地や地方自治体のウェブサイトを活用してください。								

科 目 名	観光地理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一	
ナンバリングコード	TOS3221		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	国内外の観光地の地理を把握し、その特徴、なぜ人気となっているかなどについて、課題を総合的に理解できる授業とする。日本人が海外旅行をする場合、外国人観光客が日本旅行をする双方のケースで、交通・移動・宿泊などの現状と課題について学ぶ。								
到 達 目 標	1. 国内外の観光地の立地などを理解することで、地理的な知識を明らかにできる。 2. 観光地の歴史、地域とのつながり、文化などについて説明できる。 3. 観光・旅行業界で戦力となる人材に必要な、地理的知識をアピールできる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1.2.3）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 観光地理学とは何か	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる				
	第 2 回	内容	地域観光と交通機関の役割	予習	交通の発展と観光の関係を調べておく				
				復習	地域にとっての交通の重要性をまとめる				
	第 3 回	内容	日本① 東京、大阪などの都市観光の魅力とは	予習	東京や大阪の観光地としての魅力を調べておく				
				復習	大都市の観光の課題についてまとめる				
	第 4 回	内容	日本② 地方の観光地の特色、特に温泉地について	予習	地方の有名な観光地について調べておく				
				復習	地方の観光地の成功例をまとめる				
	第 5 回	内容	中国① 北京、上海など大都市の魅力とは	予習	中国の代表的な大都市について調べておく				
				復習	中国大都市の魅力についてまとめる				
	第 6 回	内容	中国② シルクロード、三国志の舞台など歴史的名所	予習	日本人に人気の観光地について調べておく				
				復習	これらの観光地の魅力をまとめておく				
	第 7 回	内容	韓国、台湾、香港など東アジアの観光地の特色	予習	各地の代表的観光地について調べておく				
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる				
	第 8 回	内容	タイ、ベトナム、マレーシアなど東南アジア	予習	東南アジア各国の観光について調べておく				
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる				
	第 9 回	内容	聖地（アニメなど）と称される観光地について	予習	アニメツーリズムについて調べておく				
				復習	全国のアニメの聖地についてまとめる				
	第 10 回	内容	アメリカ① 大都市 ニューヨーク、ロサンゼルスなど	予習	アメリカ東部と西部の大都市を調べておく				
				復習	大都市観光の課題をまとめておく				
	第 11 回	内容	アメリカ② 大自然、国立公園の特色	予習	アメリカの自然について調べておく				
				復習	アメリカの国立公園の人気についてまとめる				
	第 12 回	内容	カナダ 環境重視のカナダの観光とは	予習	カナダの代表的な観光地について調べておく				
				復習	カナダの観光と環境との関わりをまとめておく				
	第 13 回	内容	ヨーロッパ① 南欧、中欧の観光地	予習	仏独伊などの観光地について調べておく				
				復習	日本とこの地域の関係をまとめる				
	第 14 回	内容	ヨーロッパ②、北欧。アフリカなどんの観光地	予習	北欧やアフリカの観光地を調べておく				
				復習	日本とこの地域の関係をまとめる				
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	授業を基にした発表資料を作っておく				
				復習	話し合った内容をまとめておく				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【出席数、積極参加】（40%）							
教科書	なし。必要に応じて資料を配布する。								
参考文献	『令和 6 年版 観光白書』（観光庁編） 世界地図帳（出版社はどこでも可）								
補足事項	課題作文によって、社会人となっても必要な文章力を養えるため、積極的に提出してください。								

科 目 名	実用英語			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	TOS3212			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。 TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。 また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。								
到 達 目 標	1． 英語の基礎力を身に着けている。(語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる) 2． ビジネス英語における基本的なコミュニケーションをとることができる。 3． ビジネス英語の文章で大意を理解することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて）	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	TOEIC の試験概要について確認する				
	第 2 回	内容	Unit 1 Shopping (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 3 回	内容	Unit 1 Shopping (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「名詞」について学んだことを理解する				
	第 4 回	内容	Unit 2 Dining Out (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 5 回	内容	Unit 2 Dining Out (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「代名詞」について学んだことを理解する				
	第 6 回	内容	Unit 3 Daily Life (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 7 回	内容	Unit 3 Daily Life (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「形容詞」について学んだことを理解する				
	第 8 回	内容	Unit 4 Travel (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 9 回	内容	Unit 4 Travel (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「副詞」について学んだことを理解する				
	第 10 回	内容	Unit 5 Entertainment (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 11 回	内容	Unit 5 Entertainment (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「時制 1」について学んだことを理解する				
	第 12 回	内容	Unit 6 News & Media (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 13 回	内容	Unit 6 News & Media (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「時制 2」について学んだことを理解する				
	第 14 回	内容	Unit 7 Housing (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 15 回	内容	Unit 7 Housing (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「主語と動詞」について学んだことを理解する				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	毎回実施する小テストに対し採点・返却・解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（60%）、授業態度【授業内での問題への解答】（ 40 %）								
教科書	『First Try for The TOEIC L&R Test』（Robert Hickling、金星堂）								
参考文献	なし（必要な際はプリント等を配布したり動画を見たりする。）								
補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。								

科 目 名	観光英会話		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	TOS3222		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本授業では、海外からの訪問客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目的とした英会話を学ぶ。 近年の訪日外国人の増加に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。							
到 達 目 標	１．外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる。 ２．観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている。 ３．外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ １, 2, 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（授業概要説明、成績評価説明）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する			
	第 2 回	内容	Unit 1. Transportation	予習	教科書の交通に関する語の意味とＩＣカードについての説明文について調べておく			
				復習	交通についての会話文を音読する			
	第 3 回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予習	教科書のホテルでのチェックインに関する単語の意味を調べる			
				復習	ホテルでのチェックインの会話を音読する			
	第 4 回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	ホテルの施設に関する単語の意味を調べる			
				復習	ホテルの施設に関する会話を音読する			
	第 5 回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	道案内に関する単語の意味を調べる			
				復習	道案内の会話を音読する			
	第 6 回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	海外からのお客様に観光スポットを勧める際に使う単語の意味を調べる			
				復習	観光案内に関する会話を音読する			
	第 7 回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	日本の食事に関する単語の意味を調べる			
				復習	日本の食事に関する会話を音読する			
	第 8 回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	日本料理を説明する際に使う語句の意味を調べる			
				復習	日本料理を説明する会話を音読する			
	第 9 回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする際の単語の意味を調べる			
				復習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする会話を音読する			
	第 10 回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	旅館でのマナーを説明する際に使う語句の意味を調べる			
				復習	旅館でのマナーを説明する文章を音読する			
	第 11 回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	日本の伝統文化を紹介する際に使う単語の意味を調べる			
				復習	日本の伝統文化を説明する会話を音読する			
	第 12 回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	日本の年間行事を紹介する際に使う単語を調べる			
				復習	日本の年間行事を説明する会話を音読する			
	第 13 回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	日本のお土産の紹介をする際に使う単語の意味を調べる			
				復習	日本のお土産を説明する会話を音読する			
	第 14 回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	旅行中の病気について説明する際の単語の意味を調べる			
				復習	お客様が病気をされた際の会話を音読する			
	第 15 回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	クレームや問い合わせへの対応で使う単語の意味を調べる			
				復習	クレームに対応する際の会話を音読する			
	予習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	発言の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行う。また授業内に実施する小テストの採点・評価をして返却する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（ 60 ％）、授業内発表（ 20 ％）、授業態度【 積極的参加 】（ 20 ％）							
教科書	『Hospitality on the Scene』（上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂）							
参考文献	なし（必要な際はプリントを配布したり、動画を見たりする。）							

補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。会話のクラスなので、積極的に英語を話すこと。
------	--

科 目 名	エアライン英会話		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	さ さ なおこ 佐々 直子
ナンバリングコード	TOS3213		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 エアライン業務を想定し、ホスピタリティマインド溢れるお客様対応のフレーズを演習します。 簡単な英語インタビューの応答を練習し、英語での自己表現ができるようになります。							
到 達 目 標	１． 英語での自己表現が、感情豊かにできる ２． 英語での質疑応答ができる ３． エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションが自主的にできる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（2, 3）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション Public Announcements（ウェルカムアナウンス）	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	エアライアンでよく使われる用語と機内アナウンスの言い回しを覚える			
	第2回	内容	Finding seat（お客様をお座席にご案内する）	予習	機内のご案内用語にはどのような言葉があるかを調べてくる			
				復習	お客様のご案内の言葉の意味を理解するとともにスムーズに言えるようにする			
	第3回	内容	Baggage in the aisle（お客様の手荷物の対応）	予習	お客様の手荷物に関わる単語にはどのような言葉があるかを調べる			
				復習	手荷物対応の場面をイメージし、ご案内のフレーズを練習する			
	第4回	内容	Before take off（離陸前の安全確認のやり取り）	予習	離陸前のCA対応はどのような仕事があるのかを調べてくる			
				復習	離陸前のご案内の会話をスムーズに言えるように練習する			
	第5回	内容	Before take off Champagne Service（離陸前のシャンパンサービス）	予習	ウェルカムシャンパンとはどのようなサービスなのか調べてくる			
				復習	離陸前の飲み物対応のフレーズを言えるように練習する			
	第6回	内容	Welcome Announcement（離陸直後のウェルカムアナウンス）	予習	機内サービスのアナウンスで使われている単語の意味を調べてくる			
				復習	ウェルカムアナウンスをスムーズに言えるように練習する			
	第7回	内容	Liquor & Meal Service（お食事前のお飲み物サービス）	予習	飲み物サービスでお出しする飲み物の種類にはどのようなメニューがあるか調べてくる			
				復習	機内のお飲み物サービスの問答をスムーズに言えるように練習する			
	第8回	内容	Entrée Order（お食事サービス）	予習	お食事の提供はどのようなメニューなのかを調べてくる			
				復習	ステーキの焼き加減をうかがうフレーズをスムーズに言えるように練習する			
	第9回	内容	Special Meal（特別食のサービス）	予習	特別食の種類について調べている			
				復習	特別食の対応がスムーズにできるように練習する			
	第10回	内容	Inflight Entertainment（機内のエンターテインメントサービス）	予習	機内のエンターテインメントサービスの種類について調べる			
				復習	エンターテインメントサービスの説明がスムーズに言えるように練習する			
	第11回	内容	Children's Entertainment（お子様のエンターテインメントサービス）	予習	お子様用のエンターテインメントの種類を調べる			
				復習	お子様への応対をスムーズに言えるように練習する			
	第12回	内容	Route Information（飛行ルートのご案内）	予習	指定された飛行ルートの観光案内ができるように調べる			
				復習	飛行ルートのご案内がスムーズにできるように練習する			
	第13回	内容	In flight sales（機内販売）	予習	機内免税サービスの取り扱い商品を調べる			
				復習	機内販売サービスをスムーズにご案内できるように練習する			
	第14回	内容	Arrival Information アナウンス（到着のアナウンス）	予習	指定された現地の案内ができるように気候等について調べてくる			
				復習	到着の現地案内ができるように練習する			
	第15回	内容	総仕上げ	予習	これまでに習ったアナウンスを発表できるように練習する			
				復習	習った英単語を再度学習する			
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない							

	成績評価の方法：レポート・課題（20％）、作品・発表（30％）、実技（30％）、授業態度【自主性・協働性】（20％）
教科書	『月刊 エアステージ』（イカロス出版）
参考文献	
補足事項	授業で学んだ英単語やフレーズを、旅行先や外国人との対話チャンスで活かしていく。 例：街中での道案内、レストランやカフェでの注文 飛行機を利用した時には飛行場や機内アナウンスを英語で聞き取るように意識する

科 目 名	エアライン実務		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	さ さ なおこ 佐々 直子
ナンバリングコード	TOS3214		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	エアラインで働くキャビンアテンダント及び地上スタッフの仕事への取り組み方を学びます。接客業の仕事現場で求められる、知識・適正と能力（美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心）を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。							
到 達 目 標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション ・CAの仕事とその魅力について CAの仕事研究	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	CAの仕事はどのような仕事なのかを説明できる			
	第2回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のマナー	予習	マナーの必要性を自分の言葉でまとめる			
				復習	日常生活のマナーの実践度チェックを振り返り、実践しなくなった理由をまとめる			
	第3回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のホスピタリティ	予習	ホスピタリティに溢れた行動を書き出す			
				復習	ホスピタリティに溢れた行動ができるようになるか考える			
	第4回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成① 自己理解と社会に求められる能力理解	予習	サービスとホスピタリティの言葉の意味の違いを調べる			
				復習	日々の行動から自己理解を深める			
	第5回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成② 自己表現力の養成① 身だしなみ・立ち居振る舞い	予習	好感の持たれる身だしなみについて調べる			
				復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する			
	第6回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成③ 自己表現力の養成②好感を与える言葉づかい・表現法	予習	言葉遣いの練習問題に取り組む			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
	第7回	内容	エアライン研究① ・国内航空会社・外資系航空会社の比較	予習	興味ある航空会社を調べる			
				復習	発表に向けて航空会社の特徴をまとめる			
	第8回	内容	エアライン研究② ・国内航空会社・外資系航空会社の比較発表	予習	調べた航空会社のプレゼンテーション資料をまとめる			
				復習	他者の発表を聞いたレポートをまとめる			
	第9回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成① ・機内サービスを実践する お食事サービス	予習	機内のお食事サービスについて調べる			
				復習	お客様対応の実践から、日々の目配りを意識する			
	第10回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成 ② ・グランドスタッフの仕事研究	予習	グランドスタッフの仕事について調べる			
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する			
	第11回	内容	エアライン適正開発① ・CAになるための訓練生の様子を考察する	予習	CAになるための適正について調べてくる			
				復習	CAの訓練の様子から自分に取り入れるものは何か、分析する			
	第12回	内容	エアライン適正開発② ・CAの仕事研究	予習	CAの仕事について調べる			
				復習	CAの立ち居振る舞いを実践する			
	第13回	内容	エアライン適正開発③ ・チームビルディング：伝わる聞き方・伝え方	予習	自分のホスピタリティ度を振り返る			
				復習	わかりやすい話し方を実践する			
	第14回	内容	エアライン適正開発④ ・機内アナウンス実践（演習）	予習	機内アナウンスパターンの練習をしてくる			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
	第15回	内容	総まとめ	予習	授業で習ったホスピタリティを振り返り、自分のホスピタリティ度を自己評価する			
				復習				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	各授業内で記入したリアクション欄へ及び各回に出題する課題シートに対してコメントを行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 20%）、作品・発表（ 30%）、実技（ 30%）、授業態度【自主性・協働性】（20%）							
教科書	なし							
参考文献	『月刊 エアステージ』（イカロス出版）							
補足事項	授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。							

科 目 名	基礎韓国語		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	うおん じょんびん 元 鍾 彬
ナンバリングコード	EAC3211		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	日本には他国から来た旅行者や移住者が毎年増えつつあります。他国の人々と共に平和な社会を築くための「異文化との対話」は、重要なキーワードになっています。本講義では、アジア地域として日・韓の似ている文化の比較や異なる面白い文化を楽しく学びます。さらに多くの人々から愛されているドラマや音楽などを接しながらヒアリングや会話の練習、文法を学びます。コロナ感染症の状況を確認しながらリトル韓国と言われている新大久保駅周辺にある韓国のお店などでハングルの文字を身近に体験します							
到 達 目 標	1. ハングルの基礎をしっかりと学び、文字を読むことができる。 2. 聞いた単語や簡単な文章を書くことができる。 3. 挨拶や簡単な会話ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1， 3， 4）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス（ハングルの成り立ちについて）	予習	ハングルの成り立ちについてテキストを読む（p6・p7）			
				復習	子音と母音の役割について復習する。			
	第2回	内容	ハングルの発音（子音）を学ぶ	予習	配布した資料を読んで置くこと（p12）			
				復習	子音と音表記を10回ノートに書く。			
	第3回	内容	ハングルの発音（母音）	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	基本母音10個と音表記を10回ノートで書く			
	第4回	内容	ハングル（パッチム）について学ぶ	予習	パッチムの音表記を覚えて置くこと			
				復習	パッチムの音表記を5回書く。			
	第5回	内容	子音と母音、パッチムの振り返り学習	予習	ハングル表を3回読んで置くこと			
				復習	ハングル表を5回ノートで書く。			
	第6回	内容	二重母音（合成母音）について学ぶ	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	二重母音11個の音表記と一緒に覚える。			
	第7回	内容	発音の練習－簡単な単語を読む	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	単語の音表記を書いて声を出して読む			
	第8回	内容	ハングルのスマートフォンで入力してみよう。	予習	テキスト p24－p25 を読んで置くこと			
				復習	単語をスマートフォンで入力して調べる。			
	第9回	内容	教室でよく使う言葉について学ぼう	予習	テキスト p30 を読んで置く。			
				復習	単語の基本形を覚えよう。			
	第10回	内容	挨拶の言葉について学ぼう	予習	テキストの裏の表紙に書いてある挨拶文を読んで置くこと。			
				復習	挨拶文を覚えて書いてみいる。			
	第11回	内容	自己紹介－丁寧な言葉を学ぼう。	予習	テキスト p 31 を読んで置くこと			
				復習	簡単な自己紹介文についてテキストを参考に作成してみる。			
	第12回	内容	かしこまった表現について学ぼう	予習	テキスト p 36 を読んで置くこと			
				復習	「かしこまった表現」を振り返って復習する。			
	第13回	内容	これは何ですか－指示代名詞について学ぼう	予習	テキスト p 44 を読んで置くこと。			
				復習	配布した資料をみて指示代名詞を覚えよう。			
	第14回	内容	指示代名詞を使って会話の文書を作ってみよう。	予習	配布した資料をノートで書いて置こう。			
				復習	指示代名詞を使った文章を作ってみる。			
	第15回	内容	これまでのまとめ	予習	かしこまった表現、指示代名詞の資料を読んで置く。			
				復習	動詞や形容詞の基本形をかしこまった表現に活用する。			
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や小テストは、赤ペンでチェックして返します。自分の課題や小テストを必ず確認してください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（30％）、作品・発表（ 10％）、実技（ ）％、授業態度【小テスト＋発音の練習】（ 60％）							
教科書	最新、チャレンジ！韓国語（金順玉・阪堂千津子、白水社）							

参考文献	書いて覚える韓国語単語 入門編 (hana 編集部、HANA) ※必ず購入しなくてもいい。
補足事項	レポートは1回提出します。子音と母音を覚えるための課題です。

科 目 名	応用韓国語		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	うおん じょんびん 元 鍾 彬
ナンバリングコード	EAC3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	異文化体験やコミュニケーションを積極的に取りながら実践的な韓国語学びます。映像を通して最近のトレドパッションや化粧スタイルなど、若い人が使っている用語を学び、異文化を体験します。感染症に気を付けながら、リトル韓国と言われている新大久保駅周辺にある韓国のお店などを見学しながらハングルの文字を身近に体験します。							
到 達 目 標	1． ハングルの文字に親しみ、自然に読み書きができる。 2． 日常会話がスムーズにできる。 3． 動詞や形容詞の基本形を活用し、丁寧な表現文書を書くことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1,3,4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（前学期の振り返り）	予習	丁寧な表現についてテキストを読んで置くこと（p30～p36）			
				復習	指示代名詞を覚えて置く。			
	第 2 回	内容	位置や方向を現す言葉について学ぼう	予習	テキスト p 42 を確認して置くこと			
				復習	位置を表す言葉や方向を現す言葉を覚えておこう。			
	第 3 回	内容	数詞について学ぼうー「漢数詞」	予習	テキスト p 56～ p 58 を読んで置くこと			
				復習	電話番号やカレンダーの読み方を覚えよう。			
	第 4 回	内容	数詞について学ぼうー「固有数詞」	予習	テキスト p 56～ p 58 を読んで置くこと			
				復習	モノの数え方や単位、時計の読み方を覚えよう。			
	第 5 回	内容	要求形の尊敬語の作り方を学ぼう	予習	テキスト p 49 を読んで置くこと			
				復習	パッチムがある時とない時の違いを覚えよう。			
	第 6 回	内容	助詞や疑問詞について学ぼう	予習	テキスト p50 を覚えて置くこと			
				復習	ハングルの成り立ちについてテキストを読む（陽性母音・陰性母音を覚えよう。）			
	第 7 回	内容	ちとけた表現ーパッチムない時	予習	テキスト p53 を読んで置くこと			
				復習	テキスト p53 の単語を覚えよう。			
	第 8 回	内容	うちとけた表現ーパッチムがある時	予習	テキスト p54 を読んで置くこと			
				復習	母音や終子音の不規則変則を理解して置く。			
	第 9 回	内容	日曜日は何をしますか。	予習	テキスト p51 を読んで置くこと			
				復習	テキストの p58 の曜日を覚えよう。			
	第 10 回	内容	週末には何をしましたか。一過ぎったことを表現する時ー	予習	テキスト p65 を読んで置くこと			
				復習	テキスト p 67 の単語を覚えて置くこと			
	第 11 回	内容	過去形の作り方ーパッチムがある時とない時の作り方について	予習	テキスト p 67 を読んで置くこと			
				復習	テキスト p70 を過去形に直して読んでみる。			
	第 12 回	内容	韓国ドラマの特徴や文化について調べてみよう。「生活でよく使う言葉を学ぶ」	予習	韓国のドラマについて調べて置くこと			
				復習	韓国ドラマから見えてくる家族関係について考えてみる			
	第 13 回	内容	韓国の YouTube やドラマで現れるパッションや若い人の言葉について学ぼう	予習	韓国ドラマのトレンドについて調べて置く			
				復習	日常的によく使う言葉を覚えて置く。			
	第 14 回	内容	韓国の人気歌謡を選び、聞き取り練習をする。（歌詞を翻訳する）	予習	事前に選曲した歌の歌詞を読んで置く。			
				復習	単語を覚えて置く。（丁寧な表現に活用する）			
	第 15 回	内容	まとめー丁寧な表現や過去形を振り返る	予習	うちとけた表現、過去形の作り方を確認して置く。			
				復習	基本文法を活用して手紙を書いてみる。			
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や小テストはチェックして返却します。必ず確認し、チェックした部分は繰り返し復習してください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 3 0 %）、作品・発表（ 10 %）、実技（ ）、授業態度【小テスト＋発音の練習】（6 0 %）							
教科書	『最新チャレンジ！韓国語』（金順玉・阪堂千津子、百水社）							

参考文献	書いて覚える韓国語単語 入門編（hana 編集部、HANA）※必ず購入する必要はありません。
補足事項	1 学期に受講した人を優先します。2 学期のハングルは応用編なので、基礎的なハングル、読み書きができる人を優先します。

科 目 名	基礎中国語		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	やまぐち よし 山 口 芳	
ナンバリングコード	EAC3212		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	中国語で簡単なコミュニケーションができるようになるために、中国語の基礎を身につけて、更に中国や中国文化に対する理解と関心を高めていく。毎回具体的な到達目標を掲げ、達成感を味わいながら学べるように講義を進めていく。								
到 達 目 標	1．中国語の発音の読み方を身につけている 2．中国語の基本的な文法を理解している 3．中国語で簡単な自己紹介（100 字程度）ができる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 3, 4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、中国について、中国語の基本概念	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	発音Ⅰ（声調・単母音・子音）	予習	この科目の到達目標を確認しておく				
				復習	CDを活用しながらテキストの「発音練習」を読めるようになるまで練習する				
	第 3 回	内容	発音Ⅱ（複母音・鼻母音）、数字	予習	複母音・鼻母音を確認しておく				
				復習	CDを活用しながら学習された発音を読めるようになるまで練習し、数字を暗記する				
	第 4 回	内容	発音の復習、簡単な挨拶、自分の名前の中国語読み、中国人の名前について	予習	中国語の発音を整理しておく				
				復習	中国語の発音をまとめ、課題を作成する				
	第 5 回	内容	自己紹介Ⅰの発表（名前・身分・国籍など）（文法項目：「是」の述語文）	予習	単語を読んでおく				
				復習	自己紹介ができるようになるまで練習する				
	第 6 回	内容	友達の紹介（文法項目：形容詞述語文・動詞述語文） グループワーク実施	予習	文型を読んでおく				
				復習	文型を理解した上で、課題を作成する				
	第 7 回	内容	家族紹介の発表（人数・メンバー・年齢など）（文法項目：名詞述語文・「有」の述語文）	予習	常用量詞を読んでおく				
				復習	家族の人数・メンバー・年齢などが中国語で言えるようになるまで練習する				
	第 8 回	内容	日付の表現（文法項目：存在文）	予習	数字の読み方をもう一度確認しておく				
				復習	数字に関する表現をまとめ、課題を作成する				
	第 9 回	内容	住まいの発表（場所・学校からの距離・通う方法など） （文法項目：連動文・「在」の述語文・介詞「離」）	予習	単語、文型を読んでおく				
				復習	自宅の場所・学校からの距離・通う方法が中国語で言えるようになるまで練習する				
	第 10 回	内容	趣味や好きなこと（文法項目：各種の疑問文） グループワーク実施	予習	単語を確認しておく				
				復習	文型を整理して、課題を作成する				
	第 11 回	内容	何ができるか伝える （文法項目：助動詞「会、能」・介詞「在」）	予習	単語として苦手の発音を練習しておく				
				復習	文型を理解した上で、課題を作成する				
	第 12 回	内容	相手を褒める（文法項目：様態補語・主述述語文）	予習	単語を暗記しておく				
				復習	様態補語を理解した上で、課題を作成する				
	第 13 回	内容	過去の経験、自分がやりたいことを伝える（文法項目：過去の経験・助動詞「想」・動詞の重ね）	予習	単語を流暢に読めるように準備しておく				
				復習	自分の経験、やりたいことが中国語で言えるようになるまで練習し、課題を作成する				
	第 14 回	内容	中国語を学習する理由（文法項目：完了相・進行形） グループワーク実施	予習	単語を暗記しておく				
				復習	文型を理解した上で、課題を作成する				
	第 15 回	内容	総合復習、自己紹介Ⅱ（100 字程度）の発表	予習	自己紹介ができるように準備しておく				
				復習	良い点・改善点などをまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	作成された課題に添削し、コメントする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：課題（50%）、発表（30%）、授業態度【積極性、協調性】（20%）							
教科書	『たのしくできる中国語』（山田真一 著 白水社）								
参考文献	なし								
補足事項	毎回ポイントを説明して、繰り返し練習する、また課題を行うことによって覚えていく。 発表評価は発音や文法の正確さ、全体の流暢さを基準とする。課題評価は授業で学んだ知識を生かしているかを基準とする								

科 目 名	応用中国語		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	やまぐち よし 山 口 芳
ナンバリングコード	EAC3222		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	中国語で初歩的なコミュニケーションができるようになるために、基礎となる基本文法の確認とともに、応用力の養成を目指すことを目標にする。更に中国や中国文化に対する理解と関心を高めていく。具体的には、日常生活の様々な場面を通じて、中国の人々や中国の文化に触れながら講義を進めていく。							
到 達 目 標	1. 中国語の発音（ピンイン）の読み方を身につけている 2. 基本的な文章（語順）を正しく組み立てることができる 3. それぞれの場面に適切なコミュニケーション能力を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1, 2, 3, 4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、中国、中国語について	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	発音Ⅰ（声調・単母音・子音）、ご挨拶	予習	この科目の到達目標を確認しておく			
				復習	CDを活用しながら発音の練習をする			
	第 3 回	内容	発音Ⅱ（複母音・鼻母音）、数字	予習	複母音・鼻母音を確認しておく			
				復習	CDを活用して発音を練習し、数字を暗記する			
	第 4 回	内容	自己紹介Ⅰの発表（名前・身分・国籍）（文法項目：「是」の述語文・動詞述語文）	予習	中国語の発音を読めるようになるまで練習する			
				復習	名前・身分・国籍などが答えられるようになるまで練習し、課題を作成する			
	第 5 回	内容	初めて人と会う時の挨拶（文法項目：形容詞述語文） グループワーク実施	予習	単語を暗記しておく			
				復習	初めて人と会う時の挨拶や友人の紹介などができるようになるまで練習し、課題を作成する			
	第 6 回	内容	家族紹介の発表（人数・メンバー・国籍・年齢）（文法項目：名詞述語文・「有」の述語文） グループワーク実施	予習	単語を読んでおく			
				復習	家族の人数・メンバー・年齢・国籍などが答えられるようになるまで練習する			
	第 7 回	内容	学食で（文法項目：存在文・連動文） グループワーク実施	予習	単語や文型を読んでおく			
				復習	会話を空で流暢に言えるようになるまで練習し、課題を作成する			
	第 8 回	内容	住まい（場所・学校からの距離・通う方法）の発表（文法項目：「在」の述語文・介詞「離」） グループワーク実施	予習	文型を確認しておく			
				復習	学校の場所・自宅からの距離・通う方法が答えられるようになるまで練習し、課題を作成する			
	第 9 回	内容	好きなことを話す（文法項目：疑問文のまとめ） グループワーク実施	予習	各種の疑問文を読んでおく			
				復習	好きなことを中国語で言えるように練習し、課題を作成する			
	第 10 回	内容	できることを話す（文法項目：助動詞「会、能」・介詞「在」・状態補語） グループワーク実施	予習	単語を読んでおく			
				復習	会話を流暢に読め、応用できるように練習し、課題を作成する			
	第 11 回	内容	日付、時刻の表現、時量の表現 （文法項目：量詞（助数詞）・比較表現（AとB同じ）	予習	数字の読み方をもう一度確認しておく			
				復習	数字に関する表現をまとめ、課題を作成する			
	第 12 回	内容	誘う（文法項目：過去の経験・助動詞「想」・動詞の重ね） グループワーク実施	予習	文型を読んでおく			
				復習	相手を誘い、時間・場所・行く方法を言えるように練習し、課題を作成する			
	第 13 回	内容	理由を尋ねる（文法項目：完了相・進行形） グループワーク実施	予習	文型を読んでおく			
				復習	会話を流暢に読め、応用できるように練習し、課題を作成する			
	第 14 回	内容	会話の練習、自己紹介文（200字程度）の作成 グループワーク実施	予習	会話を流暢に読めるように練習する			
				復習	自己紹介ができるように練習する			
	第 15 回	内容	会話応用、自己紹介（200字程度）の発表	予習	会話応用、最後の発表ができるように準備しておく			
				復習	良い点・改善点などをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作成された課題に添削し、コメントする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：課題（ 30 ％）、発表（ 50 ％）、授業態度【積極性・協調性】（ 20 ％ ）							

教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『たのしくできる中国語』（山田真一 著 白水社）
参考文献	なし
補足事項	毎回ポイントを説明して、繰り返し練習することによって覚えていく。 発表評価は発音や文法の正確さと全体の流暢さを基準とする 課題評価は自分の考えが明確に示されているか、授業で学んだ知識を生かしているかを基準とする

科 目 名	韓国の文化		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	くおん びょんじょん 権 炳 典	
ナンバリングコード	EAC3223		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	近年韓国の音楽（K-POP）・ドラマ等が世界的な反響を得ることにより、エンターテインメントにとどまらず、韓国の文字や飲食、美容、服装等を含む韓国文化の全般に至るまで関心が高まり「韓流」を形成している。本講義では韓国の文化全般について多面的に概説し、総合的な理解を深めると共に国際文化交流に携わる視野を広げることを目的とする。								
到 達 目 標	1．韓国の文化の特徴について説明できる。 2．韓国の文化が世界的に注目されている理由について理解している。 3．韓国文化の今後の展望について各自の考えを持つことができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス：韓国文化とは何か	予習	講義の全体像をイメージしておく				
				復習	自分が何を学ぶかを整理しておく				
	第 2 回	内容	「韓流」の形成と発展、その影響	予習	「韓流」とは何かを下調べしておく				
				復習	「韓流」の発展の理由を整理しておく				
	第 3 回	内容	韓国の地理、歴史、社会事情	予習	韓国の位置・人口など概要を下調べしておく				
				復習	韓国に関する基礎知識を整理しておく				
	第 4 回	内容	韓国の文字ハングルの成り立ちと仕組み、文化的活用	予習	ハングルの歴史について下調べしておく				
				復習	ハングルの特徴を整理しておく				
	第 5 回	内容	教育をめぐる社会現象	予習	韓国の教育熱について下調べをしておく				
				復習	教育に対する韓国社会の認識を整理しておく				
	第 6 回	内容	韓国料理の特徴と食文化の根底にある考え方	予習	韓国料理の特徴を下調べしておく				
				復習	食文化の基礎をなす考え方を整理しておく				
	第 7 回	内容	韓国料理の類型、ストリートフード	予習	代表的な韓国料理を調べておく				
				復習	韓国料理が広がる理由について整理しておく				
	第 8 回	内容	伝統服(チマチョゴリ)の歴史、現代の韓服	予習	チマチョゴリについて下調べをしておく				
				復習	韓国服飾文化の変化について整理しておく				
	第 9 回	内容	韓屋の特徴とその新たな活用、現代の住居文化	予習	韓国の伝統家屋とは何かを下調べをしておく				
				復習	韓国の住居文化の特徴を整理しておく				
	第 10 回	内容	健康と美容に対する認識と現状	予習	韓国の美容について下調べしておく				
				復習	韓国の健康・美容事情を整理しておく				
	第 11 回	内容	日常における礼儀・マナー	予習	礼儀・マナーとは何かについて考えておく				
				復習	韓国の礼儀・マナーについて整理しておく				
	第 12 回	内容	ユネスコ世界遺産、地域の祝祭	予習	韓国の世界遺産について下調べしておく				
				復習	現代韓国の祝祭の特徴を整理しておく				
	第 13 回	内容	観光への取り組み、文化と観光産業	予習	韓国の代表的な観光スポットを調べておく				
				復習	韓国が重視する観光戦略を整理しておく				
	第 14 回	内容	日韓における文化交流の歩みと展望	予習	文化交流について考えておく				
				復習	日韓の文化交流の意義と変遷を整理しておく				
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	これまでの講義から発表資料を作成しておく				
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（ 40％）、作品・発表（ 40％）、実技（ ）％、授業態度【積極的参加】（ 20％）							
教科書	使用しない								
参考文献	『直接、探してみる韓国文化』（金永鍾・張眞英、博英社）								
補足事項									

科 目 名	韓国の現代音楽・芸能		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	くおん びょんじょん 権 炳 典	
ナンバリングコード	EAC3224		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	近年、韓国の現代音楽を代表する K-POP を始め、ドラマや映画を中心とする芸能コンテンツは世界的な広がりを見せている。ファンダム文化の形成、国際文化交流ムードの拡大、そして、産業発展のための国際的なネットワーク強化等の多様な取り組みが進行中である。本講義では、韓国の現代音楽・芸能に対する理解を深めると共に、その社会的・経済的影響、展望を概説する。								
到 達 目 標	1．韓国の現代音楽・芸能の特徴について説明できる。 2．韓国の現代音楽・芸能が世界的に注目されている理由について理解している。 3．韓国の現代音楽・芸能の今後の展望について各自の考えを持つことができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス	予習	講義の全体像をイメージしておく				
				復習	自分が何を学ぶかを整理しておく				
	第 2 回	内容	韓国ポピュラー音楽の歴史	予習	ポピュラー音楽とは何かを下調べしておく				
				復習	韓国ポピュラー音楽の歴史を整理しておく				
	第 3 回	内容	K-POP の誕生と発展、その特徴	予習	K-POP とは何かを下調べしておく				
				復習	K-POP の特徴について整理しておく				
	第 4 回	内容	芸能プロダクションとアーティストマネジメント	予習	芸能プロダクションの役割を下調べしておく				
				復習	K-POP のマネジメントについて整理しておく				
	第 5 回	内容	アイドルの発掘・育成システム	予習	アイドルの新人発掘について下調べをしておく				
				復習	K-POP アイドル育成システムを整理しておく				
	第 6 回	内容	K-POP の発展要因、グローバル戦略	予習	K-POP の人気の理由を下調べしておく				
				復習	K-POP のグローバル戦略を整理しておく				
	第 7 回	内容	現代音楽とアニメ・ゲーム・演劇	予習	韓国のドラマ・映画の主題歌を下調べしておく				
				復習	音楽と芸能コンテンツとの関係を整理しておく				
	第 8 回	内容	トロット曲の新たな浮上と背景	予習	トロットとは何かを下調べしておく				
				復習	トロット曲の人気復活の背景を整理しておく				
	第 9 回	内容	韓国ドラマの歴史、海外展開と発展要因	予習	日本で有名な韓国ドラマを下調べしておく				
				復習	韓国ドラマの発展要因を整理しておく				
	第 10 回	内容	韓国におけるドラマ制作・流通システムの変化	予習	韓国ドラマの視聴方法を下調べしておく				
				復習	ドラマの制作・流通システムを整理しておく				
	第 11 回	内容	韓国映画の歴史、社会・文化との関係	予習	韓国映画のイメージについて考えておく				
				復習	韓国映画の歴史について整理しておく				
	第 12 回	内容	韓国映画産業の現状、国際的な影響	予習	日本で有名な韓国映画を下調べしておく				
				復習	韓国映画の国際的な影響を整理しておく				
	第 13 回	内容	韓国エンターテインメント産業の人材育成、公的支援制度	予習	エンタメ業界の人材育成について下調べしておく				
				復習	韓国エンタメ業界の人材育成を整理しておく				
	第 14 回	内容	韓国エンターテインメント産業の展望	予習	エンタメ産業の発展について考えておく				
				復習	韓国エンタメ産業の展望を整理しておく				
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	これまでの講義から発表資料を作成しておく				
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ 40％）、作品・発表（ 40％）、実技（ ）％、授業態度【積極的参加】（ 20％）							
教科書	使用しない								
参考文献	『BEATS of KOREA』（古家正亨、KADOKAWA） 『韓国コンテンツのグローバル戦略』（黄仙恵、星海社）								
補足事項									

科 目 名	ファッションコーディネート		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	おおしば 大柴 みすず
ナンバリングコード	FAS3221		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業では、ファッションコーディネートの基本的な知識や技術を身につけ、さまざまな商品の中から複数アイテムを組み合わせ、素敵に着こなすことができる、自分らしさも表現できる、また TP0 に合わせた装いができるように習得することを目指します。							
到 達 目 標	1. ファッションコーディネートに関する基本的な知識や技術を身につけている 2. 目的やイメージに合ったコーディネートをトータルで表現することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション ファッションコーディネートの重要性	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	ファッションの歴史	予習	ファッションの歴史を調べる			
				復習	ファッション史を理解する			
	第3回	内容	ファッション情報について	予習	ファッション情報と SDGs を調べる			
				復習	今シーズンのファッション情報を収集する			
	第4回	内容	色（カラー）の感情効果・ファッションのイメージワード	予習	イメージワードについて調べる			
				復習	イメージワードを理解する			
	第5回	内容	イメージによるコーディネート 【発表】 色（カラー）の分類、色（カラー）の心理的効果	予習	自分のイメージをつかみ必要なものを準備する			
				復習	色（カラー）について理解する			
	第6回	内容	メイクの基礎と笑顔作り、表情筋を鍛えよう （鏡持参）	予習	必要な道具を準備する			
				復習	普段のメイクを見直す			
	第7回	内容	繊維、素材の基礎知識・柄の種類	予習	アパレル商品の素材を調べる			
				復習	素材、柄について理解する			
	第8回	内容	色（カラー）の基礎知識、	予習	色（カラー）とその特性について調べる			
				復習	色（カラー）について理解する			
	第9回	内容	パーソナルカラー1 （グループワークと発表）	予習	似合う色と好きな色をピックアップする			
				復習	授業内容を確認し、整理する			
	第10回	内容	パーソナルカラー2 （グループワークと発表）	予習	Pカラーにあったコーディネート準備する			
				復習	授業内容を確認し、整理する			
	第11回	内容	マイコーディネート1 【発表】	予習	コーディネートに使うものを準備する			
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる			
	第12回	内容	マイコーディネート2 【発表】	予習	コーディネートに使うものを準備する			
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる			
	第13回	内容	冠婚葬祭マナーの基礎知識 （昼、夜、ウェディング、ブラックフォーマル）	予習	冠婚葬祭について調べる			
				復習	内容を復習する			
	第14回	内容	AI とファッションコーディネート 【ミニテスト】	予習	A I について調べる			
				復習	実際に足を運んでみる やってみる			
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく			
				復習	内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（20%）、発表（50%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（30%）							
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。							
参考文献								
補足事項								

科 目 名	ファッション文化論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子	
ナンバリングコード	FAS3211		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	舞台衣装はかつて、各種の演劇やコンサートなどで使用される特別な衣装と考えられてきたが、現在では舞台衣装の一般ファッションへの影響や、時代風潮の舞台衣装への影響が補完関係になりつつある。本授業は文化としての舞台衣装の特徴と推移を考察し、明らかにすることを目的とする。								
到 達 目 標	1. ファッション文化に対して理解している。 2. 舞台衣装とファッションの関連について理解している。 3. 日本の伝統文化と現代文化に対する理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2. 3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	授業の説明(ガイダンス)	予習	シラバスを読んでおく。				
				復習	この授業で習得するべき内容を理解する。				
	第2回	内容	文化としての舞台(ステージ)衣装	予習	舞台衣装について調べる。				
				復習	文化と舞台衣装の関係を理解する。				
	第3回	内容	演歌歌手の舞台衣装1(着物)の歴史と現在	予習	演歌歌手の着物について調べておく。				
				復習	着物の魅力を理解する。				
	第4回	内容	演歌歌手の舞台衣装2(洋服)の歴史と現在	予習	演歌歌手の洋服を調べておく。				
				復習	日本の歌と衣装の変遷を理解する。				
	第5回	内容	男性演歌歌手の舞台衣装	予習	男性演歌歌手の舞台衣装を調べておく。				
				復習	男性演歌歌手の舞台衣装の魅力を理解する。				
	第6回	内容	クラシックからラップまでのダンス衣装	予習	ダンス衣装について調べておく。				
				復習	ダンス衣装について理解する。				
	第7回	内容	舞台衣装と歌	予習	舞台衣装と歌との関連を調べておく。				
				復習	衣装と舞台効果の関係を理解する。				
	第8回	内容	舞台衣装とドラマ	予習	ドラマで印象的だった衣装を調べておく。				
				復習	出演者と衣装の関連を理解する。				
	第9回	内容	舞台衣装のプロデュース	予習	プロデュースとは何かを調べる。				
				復習	プロデューサーの役割を理解する。				
	第10回	内容	舞台衣装のコーディネート	予習	好みのコーディネートを調べておく。				
				復習	コーディネートについて理解する。				
	第11回	内容	舞台衣装とカラーリング	予習	カラーリングについて調べておく。				
				復習	カラーリングについて理解する。				
	第12回	内容	舞台衣装の一般ファッションへの影響	予習	一般人への影響事例を調べておく。				
				復習	一般ファッションへの影響力を理解する。				
	第13回	内容	舞台衣装の多様化	予習	ファッションの多様性を調べておく。				
				復習	舞台衣装にも多様性があることを理解する。				
	第14回	内容	舞台衣装と時代背景	予習	舞台衣装と時代背景について調べておく。				
				復習	舞台衣装と時代背景の関連性を理解する。				
	第15回	内容	振り返り	予習	プリント、ノートを整理しておく。				
				復習	これまでの内容を復習する。				
	振り返り予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする								
	課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授業終了後クラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（40%）、実技（ ）、授業態度【 積極参加 】（30%）							
教科書	特になし。必要に応じプリントを配布します。								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業の中で随時、紹介します。								
補足事項									

科 目 名	イベント・プランニング		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一	
ナンバリングコード	FAS3212		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	オリンピック、サッカーW杯といった国際大会から万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などだ。イベントの歴史を学ぶとともに、近年、景気回復の切り札として注目される観光を中心にイベントについての企画立案やPRの具体的手法などを学ぶ。								
到 達 目 標	1. 立案から開催までイベント成功手法について理解し、説明できる 2. 文化祭など身近なイベントの企画立案をして発表することができる 3. 観光関連のイベントについて理解し、説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2.3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義について理解する				
	第2回	内容	イベント開催の狙いと種類を「嵐」のツアーから学ぶ	予習	イベントとは何か、種類について調べておく				
				復習	「嵐」のツアーの成功について理解する				
	第3回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B級グルメなどを学ぶ	予習	観光振興とイベントの関係を調べておく				
				復習	観光関連イベントの重要性を理解する				
	第4回	内容	観光業の実情と集客の切り札としてのイベントを知る	予習	観光業の実態について調べておく				
				復習	観光関連イベントの重要性を理解する				
	第5回	内容	ファンツーリズムとイベント「嵐」、韓流ドラマから学ぶ	予習	ファンツーリズムについて調べておく				
				復習	ファンツーリズムの実態を理解する				
	第6回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニングを学ぶ	予習	イベントとしてのロケ誘致について調べおく				
				復習	ロケ誘致がいかに効果的であるかを理解する				
	第7回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致などを学ぶ	予習	国際的イベントについて調べておく				
				復習	国際的イベントの多彩な効果について理解する				
	第8回	内容	7回までの授業をもとにプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作り、発表する				
				復習	プレゼンをもとに課題を検討する				
	第9回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく				
				復習	レジャー施設のイベントの重要性を理解する				
	第10回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例を学ぶ	予習	観光地、温泉地のイベントについて調べておく				
				復習	上記イベントの成功の理由を理解する				
	第11回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画を学ぶ	予習	交通機関のイベントについて調べておく				
				復習	交通機関のイベント効果を理解する				
	第12回	内容	インバウンド向けイベント・プランニングを学ぶ	予習	インバウンド向けのイベントを調べておく				
				復習	上記イベントの成功の理由を理解する				
	第13回	内容	デジタルによるイベント効果、オンラインイベント	予習	オンラインイベントなどについて調べておく				
				復習	オンラインイベントの効果と課題を理解する				
	第14回	内容	イベントの失敗と地元への影響（ゴミ、渋滞）を学ぶ	予習	イベント開催の課題について調べておく				
				復習	課題解決には何が必要かを理解する				
	第15回	内容	14回までの授業をもとにプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作り、発表する				
				復習	プレゼンをもとに課題を検討する				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	毎回、課題作文をGoogle Classroomに提出して、前回授業の振り返りを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）%）、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ ）%）、授業態度【出席数、積極参加】（30%）							
教科書	特になし。必要に応じて資料を配布する。関連ウェブサイトを紹介する。								
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会								
補足事項	課題作文（200字以上）は社会人になっても文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。								

科 目 名	カラーコーディネート		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナンバリングコード	FAS3222		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	実社会における様々な分野で活躍する「カラーコーディネーター」や「デザイナー」等のクリエイティブな職種・職務を鑑み、色彩に関する専門知識を習得し、文部科学省認定の色彩検定の資格取得を目指し、どのような職業においても技能を活かした仕事ができる対応力を身につける。							
到 達 目 標	1．文部科学省認定の色彩検定3級の資格取得の能力がついている。 2．文部科学省認定の色彩検定2級の資格取得のための予備知識の習得の能力がついている。 3．実習課題の制作および期限内の提出がされている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1・3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション（授業内容とスケジュールの説明）A課題配布	予習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる			
				復習	配布された資料を熟読し理解を深める			
	第2回	内容	基本講習1（色のはたらき・光と色Ⅰ）	予習	次回講習1項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-1課題を仕上げる			
	第3回	内容	基本講習2（光と色Ⅱ）	予習	次回講習2項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-2課題を仕上げる			
	第4回	内容	基本講習3（色の表示）	予習	次回講習3項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-3課題を仕上げる			
	第5回	内容	基本講習4（色彩心理）	予習	次回講習4項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-4課題を仕上げる			
	第6回	内容	基本講習5（配色調和）	予習	次回講習5項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-5課題を仕上げる			
	第7回	内容	基本講習6（配色イメージ）	予習	次回講習6項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-6課題を仕上げる			
	第8回	内容	基本講習7（ファッション）	予習	次回講習7項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-7課題を仕上げる			
	第9回	内容	基本講習8（インテリア）	予習	次回講習8項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-8課題を仕上げる			
	第10回	内容	基本講習9（慣用色名・ユニバーサルデザイン）	予習	次回講習9項目について教科書を熟読する			
				復習	教科書の全項を読み返し不明点などをまとめる			
	第11回	内容	課題制作1（B課題のプランニング・制作準備）	予習	配布された課題Bの配色案をまとめる			
				復習	課題Bの制作プランシートを仕上げる			
	第12回	内容	課題制作2（B課題制作実習）	予習	課題Bのプランに基づき素材を準備する			
				復習	課題B作品の写真を提出する			
	第13回	内容	色彩検定対策講習Ⅰ	予習	過去問題を閲覧し試験問題の傾向を把握する			
				復習	練習問題の結果を自己採点し弱点を把握する			
	第14回	内容	色彩検定対策講習Ⅱ	予習	3級と2級の違いを理解しておく			
				復習	本試験に向けて不明点を確認しておく			
	第15回	内容	総評・まとめ	予習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる			
				復習	本試験の結果を自己考察し本検定受験に備える			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	完成し提出した課題を添削し、個々にその仕上がりについて面談でコメントする 併せてGoogle Classroomを用いて全体の結果傾向について考察を公開する							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【静粛実直】（10%）							
教科書	『色彩検定公式テキスト3級編』（2020年改訂版）公益社団法人 色彩検定協会、及び『新配色カード199a』（日本色研事業株式会社）							
参考文献	『インターネット』により参考資料各種							
補足事項	実社会で資格として通用する2級試験の受験希望者は『色彩検定公式テキスト2級編』を購入し過去問と併せて学習する。							

科 目 名	ブライダル論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員		
ナンバリングコード	FAS3231		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容									
到 達 目 標	1. 2. 3.								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容		予習					
				復習					
	第 2 回	内容		予習					
				復習					
	第 3 回	内容		予習					
				復習					
	第 4 回	内容		予習					
				復習					
	第 5 回	内容		予習					
				復習					
	第 6 回	内容		予習					
				復習					
	第 7 回	内容		予習					
				復習					
	第 8 回	内容		予習					
				復習					
	第 9 回	内容		予習					
				復習					
	第 10 回	内容		予習					
				復習					
	第 11 回	内容		予習					
				復習					
	第 12 回	内容		予習					
				復習					
	第 13 回	内容		予習					
				復習					
	第 14 回	内容		予習					
				復習					
	第 15 回	内容		予習					
				復習					
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ % ）、レポート・課題（ % ）、作品・発表（ % ）、実技（ % ）、授業態度【 】（ % ）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）								
注意事項									

科 目 名	We b デザイン		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美	
ナソバ°リンク°コート°	WED3211		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	Webを活用した情報発信（プロモーションやマーケティングなど）は、ビジネスのみならず個人においても増えている。この講義では Web ページを制作するための HTML（ページ構造）と CSS（スタイルデザインの定義）を学習する。サイトの構成や構造を理解して、Web デザインの基礎知識と技術を身につけていく。								
到 達 目 標	1. HTMLを理解して、Web ページを作成できる 2. CSSを理解して、Web ページにデザインを施すことができる 3. HTML と CSS を駆使して、思い描くレイアウト構成を作成できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	Web デザインの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	Web ページ制作の流れ	予習	Web ページとは何か調べる				
				復習	Web ページ制作の手順をまとめる				
	第 3 回	内容	HTML① 基本タグ・改行・見出し	予習	HTML について調べる				
				復習	教科書を読み、基本タグについて整理する				
	第 4 回	内容	HTML② 画像	予習	保存先、参照先について考える				
				復習	ファイル参照を理解する				
	第 5 回	内容	HTML③ 表・リスト	予習	リストとは何か調べる				
				復習	table タグを整理しておく				
	第 6 回	内容	HTML④ リンク・ページの連携	予習	リンクに関するタグの種類と違いを調べる				
				復習	課題 HTML 部分を完成させる				
	第 7 回	内容	CSS① HTML とのリンク	予習	HTML と CSS の関連性を調べる				
				復習	HTML と CSS 作成手順を整理する				
	第 8 回	内容	CSS② 色の指定・背景	予習	CSS 記述方法を確認しておく				
				復習	CSS 記述方法を理解する				
	第 9 回	内容	CSS③ サイズ・枠線・余白	予習	padding タグと margin タグの違いを調べる				
				復習	padding タグと margin タグを理解する				
	第 10 回	内容	CSS④ HTML のグループ化・配置	予習	div タグについて調べる				
				復習	id と class の違いを理解する				
	第 11 回	内容	CSS⑤ 表の詳細設定・リストの活用	予習	表とリストに関するタグを見直しておく				
				復習	課題 CSS 部分を完成させる				
	第 12 回	内容	ページレイアウト	予習	id と class の必要性を考える				
				復習	ページレイアウトの仕方を整理する				
	第 13 回	内容	インラインフレーム	予習	インラインフレームについて調べる				
				復習	インラインフレームについてまとめる				
	第 14 回	内容	フォームの作成	予習	フォームについて調べる				
				復習	課題全ページを完成させる				
	第 15 回	内容	これまでのまとめ	予習	HTML と CSS についてまとめる				
				復習	HTML と CSS を理解する				
	予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題の到達基準について、授業内で具体的に内容を示し解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 20 %）、実技（ 60 %）、授業態度【積極的参加】（ 20 %）							
教科書	『情報演習 35 ステップ 30 HTML5 & CSS3 ワークブック 第 2 版』（相澤裕介、カットシステム）								
参考文献	なし								
補足事項	「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、必ず履修すること。								

科 目 名	We bサイト管理演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	Web サイトの管理や運営について、理解を深めていく。特に利用者（ユーザ）がどれだけ快適に操作できるかという Web ユーザビリティの視点を持ち、色彩の基本や見やすさといったデザイン性や操作性、セキュリティを捉えつつ、情報発信と管理の重要性を学習する。							
到 達 目 標	1. Web サイトの運営や管理の知識を身につけている 2. Web サイトの効果的デザイン・レイアウトを理解している 3. ユーザビリティの視点から、Web サイトのデザインを提案できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	Web サイトの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	デザインの基礎 画像・色彩・フォント	予習	Web ユーザビリティについて調べる			
				復習	Web ユーザビリティの事例をまとめる			
	第 3 回	内容	制作ツール① Web 制作ソフト	予習	Web 作成ソフトを調べる			
				復習	Web 作成ソフトを使ってみる			
	第 4 回	内容	文章デザイン・ブロック配置とレイアウト	予習	見出しの重要性とデザインを調べる			
				復習	行間・文字間の重要性を考える			
	第 5 回	内容	制作ツール② グラフィックソフト	予習	グラフィックソフトを調べる			
				復習	グラフィックソフトを使ってみる			
	第 6 回	内容	カーニング・ボタン作成・写真の加工	予習	ボタンデザインを考える			
				復習	ボタンを作成する			
	第 7 回	内容	プランニング①ユーザの想定とデザインの方向性	予習	ユーザを想定してデザインの方向性を考える			
				復習	ユーザを想定してデザインの方向性を決める			
	第 8 回	内容	プランニング②サイトマップと色彩設計	予習	Web カラーについて調べる			
				復習	サイトマップを作成する			
	第 9 回	内容	プランニング③ナビゲーション・ページサイズ	予習	パンくずリストについて調べる			
				復習	ナビゲーションの種類と役割をまとめる			
	第 10 回	内容	CSS でレイアウト①インラインレベルとブロックレベル	予習	CSS を使った見出しのデザインを考える			
				復習	インラインレベルとブロックレベルを理解する			
	第 11 回	内容	CSS でレイアウト②ボックス・ボーダー・フロート	予習	CSS を使ったボーダーデザインを考える			
				復習	ボックスのサイズ計算を理解する			
	第 12 回	内容	CSS でレイアウト③背景画像・リンク	予習	CSS を使ったボタンのデザインを考える			
				復習	作成課題のリンク動作を確認する			
	第 13 回	内容	動的サイト	予習	動的サイトについて調べる			
				復習	動的サイトの効果をまとめる			
	第 14 回	内容	SEO 対策	予習	SEO とは何か調べる			
				復習	SEO 対策についてまとめる			
	第 15 回	内容	まとめ	予習	課題を完成させる			
				復習	課題の動作確認をする			
予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や作品制作について、コメント、アドバイスを個別対応する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 20% ）、作品・発表（ 60% ）、授業態度【積極的参加】（ 20% ）							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	1. 「Web デザイン」を履修済みで、HTMLを理解していることが必要。 2. 「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、履修すること。							

科 目 名	W e bデザイン演習			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3231			授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	Web 関連科目の総括として、各自テーマを決めてサイト制作を行う。ターゲット・コンセプト・目的を明確にして、自らの思い描く Web サイトを完成させる。制作の一連の流れ（企画、設計、制作、運営）を通して、表現力と技術力を高めていく。								
到 達 目 標	1. 適切な表現で情報を発信できる 2. 利用する人の視点からデザインを考案できる 3. 作品を公開、運用できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2, 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	Web サイト制作とプランニング	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	企画案を作成する				
	第 2 回	内容	企画の立案と情報収集	予習	情報収集を行う				
				復習	企画案を完成させる				
	第 3 回	内容	企画書の作成	予習	企画案を完成させる				
				復習	企画書を仕上げる				
	第 4 回	内容	グラフィックソフトでデザイン	予習	グラフィックソフトの使い方を調べる				
				復習	画像編集する				
	第 5 回	内容	ページデザイン修正	予習	画像編集する				
				復習	ページデザインを修正する				
	第 6 回	内容	Web 用画像素材への変換	予習	画像ファイル形式を調べて、整理しておく				
				復習	画像修正、編集を行う				
	第 7 回	内容	ディレクトリの配置	予習	サイト構成を考える				
				復習	サイト構成を見直す				
	第 8 回	内容	コーディング（HTML） トップページの内容をマークアップ	予習	トップページのコンテンツを準備する				
				復習	トップページの HTML を完成させる				
	第 9 回	内容	コーディング（CSS） トップページのレイアウトを整える	予習	トップページの HTML を完成させる				
				復習	トップページの CSS を完成させる				
	第 10 回	内容	トップページのデザイン修正	予習	トップページのレイアウトを完成させる				
				復習	トップページの修正をする				
	第 11 回	内容	コーディング（HTML） 下層ページの内容をマークアップ	予習	ヘッダーフッターの活用を考える				
				復習	下層ページの HTML を完成させる				
	第 12 回	内容	コーディング（CSS） 下層ページのレイアウトを整える	予習	下層ページの HTML を完成させる				
				復習	下層ページの CSS を完成させる				
	第 13 回	内容	リンク設定とレイアウトの見直し	予習	リンクの動きを確認する				
				復習	レイアウトの見直しをする				
	第 14 回	内容	文章の校正とデザイン修正	予習	文章の見直しをする				
				復習	デザインの修正を行う				
	第 15 回	内容	サイトの公開と動作・表示確認	予習	各ブラウザでの表示を確認する				
				復習	ネット上での動作確認をする				
予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	作品制作についてのコメント・アドバイス・評価は、個別対応する インターネット上で、履修者全員の作品公開を行う								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 10％ ）、作品・発表（ 70％ ）、授業態度【積極的参加】（ 20％ ）								
教科書	なし								
参考文献	なし								
補足事項	1. 「Web サイト管理演習」の履修を終えていることが必要。 2. 作品制作には、授業時間外にも積極的に取り組んでほしい。								

科 目 名	Webプログラミング		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	なかしま しゅんじ 中 島 俊 治	
ナンバリングコード	WED3222		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本講義では、Web プログラミングの基礎としての「JavaScript」を学ぶ。 「JavaScript」は、計算は勿論、Web ページのコンテンツやスタイルをコントロールが可能である。 それらの概要や技術的仕様に触れることを通じて、Web プログラミングの概要の説明やアプリケーション制作ができるようになる。								
到 達 目 標	1. 「Web プログラミング」の概要を理解している 2. 「JavaScript」の基本的な仕組みを理解している 3. 簡単な「Web アプリケーション」を自ら制作できる 4. Web プログラミング技術に関する最新の知識を取得している								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2・3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション・Web プログラミングの概要	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	本科目の目的を再確認する				
	第2回	内容	HTML によるマークアップの方法	予習	HTML を下調べしておく				
				復習	HTML の記述方法をまとめておく				
	第3回	内容	CSS によるスタイリングの方法	予習	CSS を下調べしておく				
				復習	CSS の記述方法をまとめておく				
	第4回	内容	JavaScript とは	予習	JavaScript について下調べしておく				
				復習	JavaScript の記述方法をまとめておく				
	第5回	内容	ページに出力する方法	予習	第1回～第4回までを読み直しておく				
				復習	出力方法について整理しておく				
	第6回	内容	データを入力する	予習	身近なデータ入力を考える				
				復習	入力方法整理しておく				
	第7回	内容	計算機アプリを作る	予習	どんな計算機アプリを作れるかを考える				
				復習	計算機アプリをオリジナル化する				
	第8回	内容	時計アプリを作る	予習	どんな時計アプリを作れるかを考える				
				復習	時計アプリをオリジナル化する				
	第9回	内容	占いアプリを作る	予習	どんな占いアプリを作れるかを考える				
				復習	占いアプリをオリジナル化する				
	第10回	内容	じゃんけんアプリを作る	予習	どんなじゃんけんアプリを作れるかを考える				
				復習	じゃんけんアプリをオリジナル化する				
	第11回	内容	効果音・映像を取り込む	予習	アプリ内の効果音・映像の効果を考える				
				復習	じゃんけんアプリに効果音を追加する				
	第12回	内容	データを保存する	予習	データの保存の効果を考える				
				復習	じゃんけんアプリにデータ保存機能を追加				
	第13回	内容	マウス・タッチの座標の取得	予習	マウス入力の必要性について考える				
				復習	マウスを使ったアプリをオリジナル化する				
	第14回	内容	図形描画する	予習	図形描画アプリの活用について考える				
				復習	描画を用いたオリジナルアプリを作る				
	第15回	内容	Web プログラミングのまとめ	予習	全体を通じて自分はどんなアプリを作れるようになったかを考える				
				復習	オリジナルのアプリを実際に作ってみる				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	- 制作物に対して講評を行う。 - 期末試験後に正答の解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	なし								
参考文献	なし								

補足事項	● PC 操作、キーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とします。 ● 「どんなアプリを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨んでください。
------	--

科 目 名	We bアニメーション演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	なかしま しゅん じ 中 島 俊 治
ナンバリングコード	WED3232		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	最近、ホームページ上で画像や図形がアニメーションしているのを見かける。これは「CSS」というスタイリングの技術が、大幅に進化し容易にアニメーションが実現できるようになったためである。 本科目ではその「CSS」を中心に様々なアニメーションの方法を学び「Web アニメーション」の表現方法を探求する。							
到 達 目 標	1. 「Web アニメーション」概要について理解している 2. 「CSS」によるアニメーションの基本的な仕組みを理解している 3. 簡単な「Web アニメーション」を自ら制作・表現できる 4. Web アニメーション技術に関する最新の知識を取得している							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2・3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション・Web アニメーションの概要	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	本科目の目的を再確認する			
	第 2 回	内容	事前知識・使用ツールの説明	予習	作使用するツールを下調べしておく			
				復習	ツールの使い方をまとめておく			
	第 3 回	内容	HTML と CSS	予習	HTML と CSS を下調べしておく			
				復習	HTML・CSS の記述方法をまとめておく			
	第 4 回	内容	トランジション	予習	身近なトランジションを探しておく			
				復習	トランジションの基礎を理解しておく			
	第 5 回	内容	トランジション エトセトラ	予習	作りたいトランジションを考えておく			
				復習	様々な CSS でトランジションを試す			
	第 6 回	内容	課題演習（1）	予習	今まで学んだことを整理しておく			
				復習	他の学生の制作物を閲覧して参考にする			
	第 7 回	内容	アニメーション	予習	身近なアニメーションを探しておく			
				復習	アニメーションの基礎を理解しておく			
	第 8 回	内容	変形のアニメーション	予習	身近な変形を探しておく			
				復習	様々な変形のアニメーションを試す			
	第 9 回	内容	変形のアニメーション 応用	予習	作りたいアニメーションを考える			
				復習	変形のアニメーションをオリジナル化する			
	第 10 回	内容	課題演習（2）	予習	今まで学んだことを整理しておく			
				復習	他の学生の制作物を閲覧して参考にする			
	第 11 回	内容	三次元	予習	身近な三次元のアニメーションを探しておく			
				復習	三次元の方法をまとめておく			
	第 12 回	内容	アニメーション エトセトラ	予習	作りたい三次元アニメーションを考えておく			
				復習	三次元アニメーションをオリジナル化する			
	第 13 回	内容	JavaScript	予習	JavaScript について下調べしておく			
				復習	JavaScript の働きについてまとめておく			
	第 14 回	内容	課題制作（3）	予習	今まで学んだことを整理しておく			
				復習	他の学生の制作物を閲覧して参考にする			
	第 15 回	内容	まとめ	予習	自分でどんなものが作れるようになったかを考える			
				復習	オリジナルのアニメーションを実際に作る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	- 制作物に対して講評を行う。 - 期末試験後に正答の解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	なし							
参考文献	なし							

補足事項	● PC 操作、キーボードの英字、数字等の入力に支障がないことを前提とする。 ● 「どんなアニメーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと
------	---

科 目 名	マルチメディア演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志	
ナンバリングコード	WED3212		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	GIMPを用いた画像処理、Live2Dを用いたアニメーション制作、ミノ式MIDIシーケンサを用いた音楽制作、VRoid Studioと3teneを用いた3DCG制作、を通して、マルチメディアの制作を総合的に学びます。								
到 達 目 標	1. 画像処理の基本的な操作ができる。 2. アニメーション制作のスキルを身につけている。 3. 3DCGの基本的な操作ができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	画像処理① GIMPの操作、写真の加工・修整	予習	GIMPについて調べる				
				復習	GIMPの操作を復習する				
	第3回	内容	画像処理② キャラクターの作成	予習	レイヤーについて調べる				
				復習	レイヤーの操作を復習する				
	第4回	内容	画像処理③ キャラクターの作成	予習	作品について考える				
				復習	作品の制作を振り返る				
	第5回	内容	アニメーション制作① Live2Dの操作	予習	Live2Dについて調べる				
				復習	Live2Dの操作を復習する				
	第6回	内容	アニメーション制作② Live2Dのアニメーション	予習	アニメーションについて調べる				
				復習	Live2Dの操作を復習する				
	第7回	内容	アニメーション制作③ Live2Dの作品制作	予習	作品について考える				
				復習	アニメーションの操作を復習する				
	第8回	内容	アニメーション制作④ Live2Dの作品制作	予習	作品について考える				
				復習	作品の制作を振り返る				
	第9回	内容	音楽制作① ミノ式MIDIシーケンサの操作、練習曲制作	予習	MIDIについて調べる				
				復習	ミノ式MIDIシーケンサの操作を復習する				
	第10回	内容	音楽制作② 作品制作・ドラム譜	予習	ドラム譜について調べる				
				復習	音符の入力の仕方を復習する				
	第11回	内容	音楽制作③ 作品制作	予習	楽譜を理解する				
				復習	作品の制作を振り返る				
	第12回	内容	3D① VRoid Studioの操作	予習	3D制作ソフトについて調べる				
				復習	VRoid Studioの操作を復習する				
	第13回	内容	3D② 3Dキャラクターの作成	予習	3Dキャラクター構想を考える				
				復習	キャラクター作成操作を復習する				
	第14回	内容	3D③ 3Dキャラクターの作成とアニメーション	予習	アニメーション操作について調べる				
				復習	3teneの操作を復習する				
	第15回	内容	まとめ・制作物の発表会	予習	これまで作成した課題を確認する				
				復習	これまで作成した課題を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。								
参考文献	なし								
補足事項	ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。								

科 目 名	文書処理演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	くわはら ななみ 桑 原 七海	
ナンバリングコード	INS3212		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）のワード試験の合格を目指し、基礎から実践まで体系的に学ぶ。本授業では、文書作成ソフトウェアのワードを用いて、MOS 試験の出題範囲である「文書の管理」、「文字、段落、セクションの挿入と書式設定」、「表やリストの管理」、「参考資料の作成と管理」、「グラフィック要素の挿入と書式設定」、「文書の共同作業の管理」を重点的に学ぶ。また、模擬試験を活用し、実践的なスキルを定着させることで、試験合格を目指す。								
到 達 目 標	1. ワードの基本操作ができる。 2. レイアウトやデザインを考慮し、見栄えのいい文書を適切に作成できる。 3. ビジネスや学業で求められる文書作成スキルを身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	ワードの操作① 文書の管理	予習	文書の作成について調べる				
				復習	文書の作成について復習する				
	第 3 回	内容	ワードの操作② 文書の管理	予習	文書の管理について調べる				
				復習	文書の管理について復習する				
	第 4 回	内容	ワードの操作③ 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	予習	文字、段落について調べる				
				復習	書式設定について復習する				
	第 5 回	内容	ワードの操作④ 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	予習	セクションについて調べる				
				復習	書式設定について復習する				
	第 6 回	内容	ワードの操作⑤ 表やリストの管理	予習	表について調べる				
				復習	表の作成について復習する				
	第 7 回	内容	ワードの操作⑥ 表やリストの管理	予習	リストについて調べる				
				復習	リストの作成について復習する				
	第 8 回	内容	ワードの操作⑦ 参考資料の作成と管理	予習	参考資料について調べる				
				復習	参考資料の作成について復習する				
	第 9 回	内容	ワードの操作⑧ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素について調べる				
				復習	グラフィック要素の挿入について復習する				
	第 10 回	内容	ワードの操作⑨ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素の書式設定について調べる				
				復習	グラフィック要素の書式設定について復習する				
	第 11 回	内容	ワードの操作⑩ 文書の共同作業の管理	予習	文書の共同作業の管理について調べる				
				復習	文書の共同作業の管理について復習する				
	第 12 回	内容	MOS ワードの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 13 回	内容	MOS ワードの模擬試験②	予習	ワードの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 14 回	内容	MOS ワードの模擬試験③	予習	ワードの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 15 回	内容	MOS ワードの模擬試験④	予習	ワードの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。また、Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 10 %）、実技（ 60 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 30 %）							
教科書	『MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集（よくわかるマスター）』（富士通エフ・オー・エム、FOM 出版）								
参考文献	なし								
補足事項	教科書の模擬試験システムを使用するため、指定の書名、バージョンを確認し準備してほしい。								

科 目 名	表計算演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	くわはら ななみ 桑 原 七海	
ナソバ°リンク°コート°	INS3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	Microsoft Excel の基本操作から応用スキルまで体系的に学び、MOS（Microsoft Office Specialist）試験の合格レベルに到達することを目指す。全 15 回の授業を通じて、Excel の基本機能（ワークシート・ブック・セル操作、データ管理、テーブル・グラフ作成、数式、関数）を学び、各回で基礎学習と操作演習を行い、本試験を想定した模擬試験演習を通じて、MOS Excel 試験合格レベルのスキル習得を目指す。								
到 達 目 標	1. Excel の基本操作を理解し、ワークシートやブックの作成・編集ができる。 2. データの集計や処理を適切な関数や機能を用いて正確に行える。 3. MOS Excel 試験の出題範囲に対応したスキルを習得し、実践的に活用できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	エクセルの操作① ワークシートやブックの管理	予習	ワークシートの作成について調べる				
				復習	ワークシートの操作について復習する				
	第 3 回	内容	エクセルの操作② ワークシートやブックの管理	予習	ブックの作成について調べる				
				復習	ブックの操作について復習する				
	第 4 回	内容	エクセルの操作③ セルやセル範囲のデータの管理	予習	セルの操作について調べる				
				復習	セルの操作について復習する				
	第 5 回	内容	エクセルの操作④ セルやセル範囲のデータの管理	予習	データの管理について調べる				
				復習	データの管理について復習する				
	第 6 回	内容	エクセルの操作⑤ テーブルとテーブルのデータの管理	予習	テーブルについて調べる				
				復習	テーブルの作成について復習する				
	第 7 回	内容	エクセルの操作⑥ テーブルとテーブルのデータの管理	予習	テーブルについて調べる				
				復習	テーブルの作成について復習する				
	第 8 回	内容	エクセルの操作⑦ 数式や関数を使用した演算の実行	予習	数式について調べる				
				復習	演算方法について復習する				
	第 9 回	内容	エクセルの操作⑧ 数式や関数を使用した演算の実行	予習	関数について調べる				
				復習	演算方法について復習する				
	第 10 回	内容	エクセルの操作⑨ グラフの管理	予習	グラフについて調べる				
				復習	グラフの作成について復習する				
	第 11 回	内容	エクセルの操作⑩ グラフの管理	予習	グラフの種類について調べる				
				復習	グラフの書式について復習する				
	第 12 回	内容	MOS エクセルの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 13 回	内容	MOS エクセルの模擬試験②	予習	エクセルの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 14 回	内容	MOS エクセルの模擬試験③	予習	エクセルの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 15 回	内容	MOS エクセルの模擬試験④	予習	エクセルの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 10 %）、実技（ 60 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 30 %）							
教科書	『MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集（よくわかるマスター）』（富士通エフ・オー・エム、FOM 出版）								
参考文献	なし								
補足事項	教科書の模擬試験システムを使用するため、指定の書名、バージョンを確認して準備してほしい。								

科 目 名	動画編集		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志	
ナンバリングコード	INS3213		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	動画の撮影、動画のパソコンへの取り込み、テロップの挿入、音楽の挿入、簡単なモーショングラフィックスなどといった動画編集の基本的操作を学び、動画作品を制作します。複数人で協力して撮影するグループワークも行ないます。								
到 達 目 標	１．動画編集の基本操作が身についている。 ２．簡単なモーショングラフィックスを利用することができる。 ３．テロップの入った簡単な動画を作成することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	AviUtl の基本操作	予習	動画編集の基礎を調べる				
				復習	AviUtl の基本操作を復習する				
	第 3 回	内容	AviUtl による動画編集	予習	AviUtl の機能について調べる				
				復習	AviUtl の操作を復習する				
	第 4 回	内容	動画のカット編集	予習	カット編集について調べる				
				復習	カット編集の操作を復習する				
	第 5 回	内容	動画の撮影：所沢航空記念公園にて（グループワーク）	予習	所沢航空記念公園について調べる				
				復習	撮影した動画を確認する				
	第 6 回	内容	動画のパソコンへの取り込み・素材集め	予習	取り込み方法を調べる				
				復習	取り込み方法を復習する				
	第 7 回	内容	所沢航空記念公園を紹介する動画作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	作成中の動画を振り返る				
	第 8 回	内容	所沢航空記念公園を紹介する動画作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	作品の制作を振り返る				
	第 9 回	内容	動画の撮影：大学にて（グループワーク）	予習	撮影する場所を考える				
				復習	撮影した動画を確認する				
	第 10 回	内容	モーショングラフィックス	予習	モーショングラフィックスについて調べる				
				復習	モーショングラフィックスの操作を復習する				
	第 11 回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	ソフトウェアの操作を復習する				
	第 12 回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	ソフトウェアの操作を復習する				
	第 13 回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	作品の制作を振り返る				
	第 14 回	内容	動画作品の閲覧・コメントと投票	予習	作品を振り返る				
				復習	閲覧した作品を振り返る				
	第 15 回	内容	優秀作品の発表会	予習	これまで作成した課題を確認する				
				復習	これまで作成した課題を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。								
参考文献	なし								
補足事項	ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。								

科 目 名	動画創作		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志	
ナンバリングコード	INS3222		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	「動画創作」は「動画編集」の授業で学んだスキルを元に授業を進めます。この授業を受講する前に「動画編集」の授業を履修することをおすすめします。この授業では2つの動画を制作します。1つ目は、モーショングラフィックスなどを学び、キャラクターが動く VTuber 系動画を制作します。2つ目は、音楽とイラストなどを作成し、Music Video を制作します。								
到 達 目 標	1. 自分自身で構成を考え、動画を作成できる。 2. キャラクターを利用した動画が作成できる。 3. モーショングラフィックスを利用した動画が作成できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	動画編集の復習・Adobe Express の使い方	予習	動画編集ソフトについて調べる				
				復習	カット編集を復習する				
	第3回	内容	VTuber 系動画のキャラクター作成	予習	3D キャラクターについて調べる				
				復習	キャラクターの作り方を復習する				
	第4回	内容	VTuber 系動画作成の練習	予習	合成音声について調べる				
				復習	キャラクターの動きのつけ方を復習する				
	第5回	内容	VTuber 系動画の作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第6回	内容	VTuber 系動画の作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第7回	内容	VTuber 系動画の作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第8回	内容	カメラ制御	予習	カメラ制御について調べる				
				復習	カメラ制御の操作方法を復習する				
	第9回	内容	文字アニメーション	予習	文字のアニメーションについて調べる				
				復習	文字アニメの操作方法を復習する				
	第10回	内容	Music Video 制作	予習	音楽を考える				
				復習	動画の構成をまとめる				
	第11回	内容	Music Video 制作	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第12回	内容	Music Video 制作	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第13回	内容	Music Video 制作	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第14回	内容	動画作品の閲覧・コメントと投票	予習	作品を振り返る				
				復習	閲覧した作品を振り返る				
	第15回	内容	優秀作品の発表会	予習	作品を振り返る				
				復習	閲覧した作品を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。								
参考文献	なし								
補足事項	ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。								

科 目 名	e スポーツ		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志	
ナニハ°リンク°コート°	INS3214		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	e スポーツとはコンピュータゲームの対戦競技のことであり、チームワークやリーダーシップなどといったコミュニケーション能力、情報処理能力や問題解決力などを身につけることができると期待され、現在様々な分野での活用が進められている。本授業では、e スポーツに関する知識、e スポーツの企画・運営について学び、さらにe スポーツを通してコミュニケーション能力向上を目指します。								
到 達 目 標	1. e スポーツに関する事柄や効果について説明できる。 2. 他者と協同してe スポーツを企画・運営できる。 3. 自らが踏み出して他者と会話ができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	e スポーツの種類と歴史・e スポーツ体験	予習	e スポーツについて調べる				
				復習	e スポーツの種類について復習する				
	第3回	内容	e スポーツの機材と使い方・e スポーツ体験	予習	e スポーツの機材について調べる				
				復習	e スポーツの機材や使い方について復習する				
	第4回	内容	ICTを使ったゲーム	予習	ICTを使ったゲームについて調べる				
				復習	ICTを使ったゲームの効果について復習する				
	第5回	内容	教育版の桃鉄の体験	予習	教育版の桃鉄について調べる				
				復習	教育版の桃鉄の効果について復習する				
	第6回	内容	e スポーツの記録会	予習	e スポーツの記録を競うソフトについて調べる				
				復習	e スポーツ記録会について振り返る				
	第7回	内容	e スポーツのチーム戦	予習	e スポーツのチーム戦について調べる				
				復習	e スポーツのチーム戦の効果について復習する				
	第8回	内容	e スポーツの企画（グループワーク）	予習	e スポーツの方法について調べる				
				復習	e スポーツの企画について復習する				
	第9回	内容	e スポーツの企画（グループワーク）	予習	e スポーツの方法について調べる				
				復習	e スポーツの企画について復習する				
	第10回	内容	e スポーツの運営・実践（グループワーク）	予習	e スポーツの運営について調べる				
				復習	e スポーツの運営について振り返る				
	第11回	内容	e スポーツの運営・実践（グループワーク）	予習	e スポーツの運営について調べる				
				復習	e スポーツの運営について振り返る				
	第12回	内容	e スポーツの運営・実践（グループワーク）	予習	e スポーツの運営について調べる				
				復習	e スポーツの運営について振り返る				
	第13回	内容	e スポーツの運営・実践（グループワーク）	予習	e スポーツの運営について調べる				
				復習	e スポーツの運営について振り返る				
	第14回	内容	e スポーツの運営・実践（グループワーク）	予習	e スポーツの運営について調べる				
				復習	e スポーツの運営について振り返る				
	第15回	内容	まとめ・e スポーツ分野の将来	予習	これまで作成した課題を確認する				
				復習	これまで作成した課題を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題などに問題がある場合コメントを行なう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	なし								
参考文献	なし								
補足事項	ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） 状況により授業内容が変更になる可能性があります。								

科 目 名	写真撮影技術演習			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	くどう けんいち 工藤 研一
ナンバリングコード	INS3223			授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	様々分野において、写真(画像)は欠かせない表現方法として、いたる所で使用されています。 ここでは短期間で写真撮影に関する基礎的な知識と初歩的な撮影方法をしっかり学び、写真で自己表現ができるように身に付けることを目指します。								
到 達 目 標	1. 写真撮影に関する基礎知識とマナーを理解している。 2. 写真撮影による自己表現の方法を身につけている。 3. フォトアルバム制作により、今までに撮影した写真を作品としてまとめ表現することができる。 4. 日本の自然や歴史的な場所で建造物などを撮影することで伝統および近代文化に対する理解を深めることができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション： 履修者が所有するカメラの把握。スケジュールの説明	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	講習① 写真の概要、撮影マナーと肖像権	予習	所有しているカメラを確認し準備をする				
				復習	肖像権について理解する				
	第 3 回	内容	実習① カメラの使い方と身近な被写体の撮影実習	予習	カメラの説明書を読み操作方法を把握する				
				復習	カメラの使い方を再度確認しておく				
	第 4 回	内容	実習② 課題：学外の屋外撮影実習 予定地：文京区 根津神社・つつじ園など	予習	実習場所を予め把握しておく				
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する				
	第 5 回	内容	講習② 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を事前に見ておく				
				復習	プリントする画像を選んでおく				
	第 6 回	内容	講習③ 構図(フレーミング)、感度と露出	予習	テキストの構図の部分を見ておく				
				復習	構図について理解する				
	第 7 回	内容	実習③ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：旧古河庭園・バラ園など、日本カメラ博物館見学	予習	実習場所を予め把握し撮影準備をする				
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する				
	第 8 回	内容	講習④ 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を予め確認しておく				
				復習	プリントする写真を選択する				
	第 9 回	内容	実習④ 課題：人物・小物アクセサリーの撮影実習	予習	写したい小物アクセサリーを用意する				
				復習	撮影したポイントを理解する				
	第 10 回	内容	実習⑤ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：喜多院・川越の蔵造り町並み、歴史的建造物など	予習	実習場所と被写体を予め把握をしておく				
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する				
	第 11 回	内容	講習⑤ 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を見ておく				
				復習	プリントする写真を選択しプリントする				
	第 12 回	内容	実習⑥ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：森林公園、航空公園など	予習	実習場所を予め把握すること				
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する				
	第 13 回	内容	実習⑦ 課題：フォトアルバム作品制作	予習	制作に使う写真やマスキングテープそろえる				
				復習	足りない写真はプリントしておく				
	第 14 回	内容	実習⑧ 課題：フォトアルバム作品制作	予習	制作に必要な写真などをそろえておく				
				復習	足りない写真はプリントする				
	第 15 回	内容	講習⑥ 実習のまとめ、フォトアルバムの作品発表	予習	制作に必要な写真などをそろえておく				
				復習	他者の作品を鑑賞し今後の参考にする				
予習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	撮影後の添削時にコメントをする								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題・作品・発表（ 6 0 ％）、授業態度【積極的参加】（ 4 0 ％）								
教科書	指定教科書なし。参考資料配付								
参考文献	なし								
補足事項	履修期間中は最終課題のアルバム作品の写真が足らなくなるように撮影実習日は必ず出席すること。学外実習は時間の取れる土曜日に実施します。教科書等が無い代わりに必要な費用は、スクラップブック代・SDカード代・プリント代・交通費・入館料等が自己負担となります。								

科 目 名	簿記と会計		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かしまた 柏 俣 ひろゆき 廣 行	
ナンバリングコード	MEA3211		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	簿記の基本的なしくみについて理解し、企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。								
到 達 目 標	1．簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2．企業の実情をつねに計数的にとらえる力を身につけている。 3．経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス・、簿記の意味・目的など 簿記の基礎について説明をする。	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	ノートを確認しておくこと				
	第 2 回	内容	資産・負債・純資産と貸借対照表と収益・費用と損益計算書 について説明をする。	予習	貸借対照表と損益計算書について調べる				
				復習	簿記の五つの要素についえまとめる				
	第 3 回	内容	取引と勘定、仕訳と転記について説明をする	予習	仕訳帳と総勘定元帳について調べる				
				復習	取引の記帳についてまとめる				
	第 4 回	内容	試算表と精算表について説明をする。	予習	取引の記帳がしっかりできるようにしておく				
				復習	取引からの精算表までの流れをまとめる。				
	第 5 回	内容	決算の意味・手続きについて説明をする。	予習	決算の意味について調べる				
				復習	決算の意味・手続きをまとめる				
	第 6 回	内容	現金・預金などの取引について説明をする。	予習	現金・預金の種類について調べる				
				復習	各種出納帳の記帳についてまとめる				
	第 7 回	内容	商品売買の取引について説明をする。	予習	掛け取引について調べる				
				復習	仕入帳・売上帳についてまとめる				
	第 8 回	内容	商品有高帳と商品売買損益計算について説明をする。	予習	商品有高帳の記帳方法について調べる				
				復習	三分法で処理する意義をまとめる				
	第 9 回	内容	手形の取引について説明をする。	予習	手形の種類、記帳について調べる				
				復習	各種記入帳をまとめる				
	第 10 回	内容	有価証券の取引について説明をする。	予習	有価証券とは何か調べる				
				復習	取得と売却についてまとめる				
	第 11 回	内容	その他の債権・債務の取引について説明をする。	予習	その他の債権・債務について調べる				
				復習	債権・債務についてまとめる				
	第 12 回	内容	固定資産の取引について説明をする。	予習	固定資産とは何か調べる				
				復習	取得・売却、台帳についてまとめる				
	第 13 回	内容	個人企業の取引と税金の取引についての説明をする。	予習	税金の種類について調べる				
				復習	個人企業の取引についてまとめる				
	第 14 回	内容	決算整理・精算表について説明をする。	予習	決算整理の意味について調べる				
				復習	精算表作成出来るようにする				
	第 15 回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について説明をする。	予習	財務諸表とは何か調べる				
				復習	企業の決算についてまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的取組】（20%）							
教科書									
参考文献									
補足事項	各回の授業の予習、復習を実施し、各授業の理解を深めるようにしてください。								

科 目 名	簿記演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かしまた ひろゆき 柏 俣 廣 行
ナンバリングコード	MEA3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	実際に行われている企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。また、日商簿記検定3級合格を目指す内容です。							
到 達 目 標	1．簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2．企業の実情をつねに計数的にとらえる力を身につけている。 3．経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス・、現金預金・小口現金の意味・目的などについて	予習	当座借越について調べる			
				復習	ノートを確認しておくこと			
	第 2 回	内容	社債・株式の購入、売却について。	予習	手数料の扱いについて調べる			
				復習	社債・株式の仕訳処理についてまとめる			
	第 3 回	内容	借入金、商品券の取り扱いについて	予習	振込手数料の取り扱いについて調べる			
				復習	利息・手数料の扱いについてまとめる			
	第 4 回	内容	手形裏書譲渡、割引、手形借り入れについて	予習	裏書きについて調べる			
				復習	手形取引についてまとめる			
	第 5 回	内容	仕入返品・戻し、売上返品・戻りについて	予習	手付金相殺、商品券受取について調べる			
				復習	売上・仕入の手続きをまとめる			
	第 6 回	内容	固定資産の購入・売却について	予習	減価償却累計額について調べる			
				復習	購入・売却についてまとめる			
	第 7 回	内容	株式会社の設立と基本仕訳について	予習	株式会社とは、何かについて			
				復習	剰余金の配当と処分についてまとめる			
	第 8 回	内容	店舗の固定資産税と店主個人の所得税について	予習	固定資産税について調べる			
				復習	税金の処理についてまとめる			
	第 9 回	内容	手形の取引について	予習	手形の種類、記帳について調べる			
				復習	各種記入帳をまとめる			
	第 10 回	内容	有価証券の取引について	予習	有価証券とは何か調べる			
				復習	取得と売却についてまとめる			
	第 11 回	内容	その他の債権・債務の取引について	予習	その他の債権・債務について調べる			
				復習	債権・債務についてまとめる			
	第 12 回	内容	従業員の所得税（源泉徴収）、社会保険料の処理について	予習	社会保険料とは何か調べる			
				復習	各種税の処理についてまとめる			
	第 13 回	内容	本支店会計について	予習	本支店会計について調べる			
				復習	本支店の取引についてまとめる			
	第 14 回	内容	決算整理・精算表について	予習	決算整理の意味について調べる			
				復習	8 桁精算表作成出来るようにする			
	第 15 回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について	予習	財務諸表とは何か調べる			
				復習	企業の決算についてまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的態度】（20%）							
教科書	実教出版、日商簿記検定模擬問題集 2025 版 3 級							
参考文献								
補足事項	前期「簿記と会計」選択者を前提に、問題集を進めていきます。							

科 目 名	医療事務総論		単 位 数	1	授業時間数	1 6	担当教員	たかはし ごろう 高 橋 五郎
ナソバ [®] リング [®] コート [®]	MEA3222		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	医療サービスを適時に受けられるセーフティネットの社会において、サービスを提供する医療事務従事者として、その根幹である医療保険制度と保険診療のしくみを理解し、医事業務一連の流れに反映した基本的実務ができるようにする。							
到 達 目 標	1．医療保険制度の体系と保険診療のしくみが説明できる。 2．医療サービス提供に係る基本的な医療行為を診療録から読み取ることができる。 3．外来受付窓口業務一連の流れを理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1. 2. 3. 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	医療秘書（医療事務）の概念	予習	医療機関の医療事務について調べておく			
				復習	医事業務の重要性・やりがい等をまとめる。			
	第 2 回	内容	社会保障制度の概念	予習	資料の社会保障制度について目を通しておく			
				復習	社会保障制度の概略をノートにまとめる			
	第 3 回	内容	医療を取りまく社会環境 （医療の倫理と知識）	予習	資料の No4～No7 に目を通しておく			
				復習	医事業務領域をノートに整理する			
	第 4 回	内容	保険診療のしくみと医療保険制度（1）	予習	テキストの P43～45 に目を通しておく			
				復習	保険診療しくみを復習し、理解しておく			
	第 5 回	内容	保険診療のしくみと医療保険制度（2）	予習	テキストの P45～50 に目を通しておく			
				復習	保険給付について内容・要点をまとめる			
	第 6 回	内容	療養担当規則ならびに医療機関の種類と組織	予習	プリント No13 とテキスト P51 に目を通しておく			
				復習	医療機関の種類と役割について理解する			
	第 7 回	内容	医療事務業務の流れと実際 （受付業務から会計・レセプト業務内容の理解）	予習	テキスト P4. 13～14 に目を通しておく			
				復習	受付からレセプト作成までの流れを再復習する			
	第 8 回	内容	医事業務・履修内容の総括	予習	第 1 回～ 7 回までまとめた要点を読んでおく			
				復習	履修到達目標の確認と再復習			
	第 9 回	内容		予習				
				復習				
	第 10 回	内容		予習				
				復習				
	第 11 回	内容		予習				
				復習				
	第 12 回	内容		予習				
				復習				
	第 13 回	内容		予習				
				復習				
	第 14 回	内容		予習				
				復習				
	第 15 回	内容		予習				
				復習				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題等に対する解説と添削ならびに Q&A							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 60％）、レポート・課題（20％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加度】（20％）							
教科書	『メディカルシステム論』（著者名：一般社団法人医療教育協会、出版社名：一般社団法人医療教育協会）							
参考文献	補足資料（プリント）を配布します。							
補足事項	「医療管理秘書士」等能力認定試験受験の必須履修科目です。							

科 目 名	医療管理学概論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	たかはし ごろう 高橋 五郎
ナパ`リング`コート`	MEA3223			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（								

科 目 名	医療秘書実務		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	たかはし ごろう 高橋 五郎
ナンバリングコード	MEA3212		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（							

科 目 名	Java プログラミング		単 位 数	4	授業時間数	6 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	PRO3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	Java 言語の基本的な使い方からブロック崩しのゲーム作成まで、練習問題と課題問題を通して学び、プログラミングの基本的スキルを身につけることを目指します。							
到 達 目 標	1. プログラミングの基本的スキルを身につけている。 2. プログラミングの文法を理解している。 3. Java 言語について説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	Eclipse の基本操作	予習	Eclipse について調べる			
				復習	Eclipse の操作について復習する			
	第 3 回	内容	変数	予習	変数について調べる			
				復習	変数の扱いについて復習する			
	第 4 回	内容	キーボード入力	予習	キーボード入力について調べる			
				復習	キーボード入力の仕方について復習する			
	第 5 回	内容	演算子	予習	演算子について調べる			
				復習	演算子の扱いについて復習する			
	第 6 回	内容	条件文① if 文	予習	if 文について調べる			
				復習	if 文の使い方について復習する			
	第 7 回	内容	条件文② 論理演算子	予習	論理演算子について調べる			
				復習	if 文での論理演算子の扱いについて復習する			
	第 8 回	内容	条件文③ switch 文	予習	switch 文について調べる			
				復習	switch 文の使い方について復習する			
	第 9 回	内容	復習問題	予習	これまでの演習について確認する			
				復習	復習演習の問題について復習する			
	第 10 回	内容	繰り返し文① for 文	予習	for 文について調べる			
				復習	for 文の使い方について復習する			
	第 11 回	内容	繰り返し文② while 文	予習	while 文について調べる			
				復習	while 文の使い方について復習する			
	第 12 回	内容	繰り返し文③ do-while 文	予習	do-while 文について調べる			
				復習	do-while 文の使い方について復習する			
	第 13 回	内容	繰り返し文④ 総合	予習	for 文の応用的使い方について調べる			
				復習	for 文の応用について復習する			
	第 14 回	内容	配列①	予習	配列について調べる			
				復習	配列の使い方について復習する			
	第 15 回	内容	配列②・小テスト	予習	2 次元配列について調べる			
				復習	小テストについて振り返る			
	第 16 回	内容	復習問題・ペアプログラミング（グループワーク）	予習	これまでの演習について確認する			
				復習	復習演習の問題について復習する			
	第 17 回	内容	文字列の操作	予習	文字列の操作について調べる			
				復習	文字列の操作について復習する			
	第 18 回	内容	数学関数	予習	数学関数について調べる			
				復習	数学関数の使い方について復習する			
	第 19 回	内容	計算の演習	予習	計算方法について調べる			
				復習	計算方法の活用について復習する			
	第 20 回	内容	文字列操作の演習	予習	文字列操作について調べる			
				復習	文字列操作の演習について復習する			
	第 21 回	内容	並び替えの演習	予習	並び替えについて調べる			
				復習	並び替えの方法について復習する			

	第 22 回	内容	クラス①	予習	メソッドについて調べる
				復習	フィールドについて復習する
	第 23 回	内容	クラス②	予習	コンストラクタについて調べる
				復習	継承について復習する
	第 24 回	内容	クラス③	予習	オーバーライドについて調べる
				復習	インターフェースについて復習する
	第 25 回	内容	復習問題	予習	これまでの演習について確認する
				復習	復習演習の問題について復習する
	第 26 回	内容	小テスト・ブロック崩し① ボールとバーの動作	予習	ブロック崩しについて調べる
				復習	テストについて振り返る
	第 27 回	内容	ブロック崩し② ボールとバーの動作の続き	予習	ボールの動きについて調べる
				復習	ボールとバーの動作について復習する
	第 28 回	内容	ブロック崩し③ バーとブロックの処理	予習	ブロックの配置について調べる
				復習	ブロックの処理について復習する
	第 29 回	内容	ブロック崩し④ その他の処理	予習	点数の付け方について調べる
				復習	点数などの処理について復習する
	第 30 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する
				復習	これまで作成した課題を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 30 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 30 %）、小テスト（ 40 %）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	ループリック：https://drive.google.com/drive/folders/lraRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。				

科 目 名	Web サーバサイドプログラミング		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	PRO3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	Web サーバの Linux 上での操作を学び、JavaScript プラグイン Jspreload sheet でのデータベース作成、WebAPI によるデータの取得、PHP による動的なホームページの作成の仕方などを学びます。自分自身でプログラミングを用いたホームページ作品を作り上げることを目指します。							
到 達 目 標	1. Linux の操作を身につけている。 2. WebAPI と PHP の基本的知識を身につけている。 3. WebAPI の扱い方を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	Linux 入門①	予習	Linux について調べる			
				復習	Linux の操作を復習する			
	第 3 回	内容	Linux 入門②	予習	Linux のコマンドの種類を調べる			
				復習	Linux の操作を復習する			
	第 4 回	内容	PHP プログラミング入門 ペアプログラミング（グループワーク）	予習	PHP について調べる			
				復習	PHP の文法を復習する			
	第 5 回	内容	JavaScript プラグイン Jspreload sheet の設置 データベースの作成・ペアプログラミング	予習	JavaScript について調べる			
				復習	データベースの内容を振り返る			
	第 6 回	内容	PHP による json ファイルの読み込みと表示 ペアプログラミング（グループワーク）	予習	json について調べる			
				復習	json ファイルの扱い方を復習する			
	第 7 回	内容	ホームページの外観の作成①	予習	ホームページの装飾について調べる			
				復習	ホームページの装飾の仕方を復習する			
	第 8 回	内容	ホームページの外観の作成②	予習	ホームページの装飾について調べる			
				復習	ホームページの装飾の仕方を復習する			
	第 9 回	内容	WebAPI によるデータの取得① WikipediaAPI・YouTube Data API	予習	WebAPI の仕様について調べる			
				復習	WebAPI の操作を復習する			
	第 10 回	内容	WebAPI によるデータの取得② AmazonAPI・楽天 API	予習	WebAPI の仕様について調べる			
				復習	WebAPI の操作を復習する			
	第 11 回	内容	WebAPI によるデータの取得③ Google Maps API	予習	WebAPI の仕様について調べる			
				復習	WebAPI の操作を復習する			
	第 12 回	内容	WebAPI を利用したホームページ作成①	予習	ホームページの構想を考える			
				復習	ホームページ作成を振り返る			
	第 13 回	内容	WebAPI を利用したホームページ作成②	予習	WebAPI の使い方を確認する			
				復習	ホームページ作成を振り返る			
	第 14 回	内容	WebAPI を利用したホームページ作成③	予習	WebAPI の使い方を確認する			
				復習	ホームページ作成を振り返る			
	第 15 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する			
				復習	これまで作成した課題を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） 状況により授業内容が変更になる可能性があります。この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科 目 名	Python 競技プログラミング		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	PRO3232		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	プログラミングを学習できるサイト paiza ではスキルチェックというところで問題が用意され、そのプログラミングの問題を解いた時の正しさと速さで順位が決まる設定になっています。難易度別に問題が用意され、それらの問題を解くことにより、プログラミングスキルを数値化したレーティングが決まります。本授業では paiza で学び、スキルチェックで他の人と競い合いながら、プログラミング Python を学習します。							
到 達 目 標	1. Python の基本的スキルを身につけている。 2. Python の文法を理解している。 3. Python について説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	paiza の登録とサイトの使い方	予習	paiza について調べる			
				復習	paiza の使い方を復習する			
	第 3 回	内容	Python 入門① 標準出力・演算・変数	予習	標準出力・演算・変数について調べる			
				復習	を復習する			
	第 4 回	内容	Python 入門② 文字列の操作・文字列と数値の相互変換	予習	文字列の操作について調べる			
				復習	文字列の操作を復習する			
	第 5 回	内容	Python 入門③ リスト・タプル	予習	リスト・タプルについて調べる			
				復習	リスト・タプルを復習する			
	第 6 回	内容	Python 入門④ 条件分岐・while 文	予習	条件分岐・while 文について調べる			
				復習	条件分岐・while 文を復習する			
	第 7 回	内容	Python 入門⑤ for 文・リスト内包表記・標準入力	予習	for 文について調べる			
				復習	for 文を復習する			
	第 8 回	内容	D ランクレベルアップメニュー① ペアプログラミング（グルーブワーク）	予習	メニューの問題を確認する			
				復習	メニューの問題を復習する			
	第 9 回	内容	D ランクレベルアップメニュー② ペアプログラミング（グルーブワーク）	予習	メニューの問題を確認する			
				復習	メニューの問題を復習する			
	第 10 回	内容	D ランク・スキルチェック見本問題セット ペアプログラミング（グルーブワーク）	予習	見本問題を確認する			
				復習	見本問題を復習する			
	第 11 回	内容	D ランク・スキルチェック過去問題セット ペアプログラミング（グルーブワーク）	予習	過去問題を確認する			
				復習	過去問題を復習する			
	第 12 回	内容	D ランクの問題にチャレンジ①	予習	Python の文法を確認する			
				復習	行なった問題を復習する			
	第 13 回	内容	D ランクの問題にチャレンジ②	予習	Python の文法を確認する			
				復習	行なった問題を復習する			
	第 14 回	内容	D ランクの問題にチャレンジ③・小テスト	予習	Python の文法を確認する			
				復習	行なった問題を復習する			
	第 15 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する			
				復習	これまで作成した課題を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 40 %）、授業態度【積極的参加】（ 40 %）、小テスト（ 20 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） 状況により授業内容が変更になる可能性があります。この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科 目 名	IT テクノロジ概論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	くわはら ななみ 桑 原 七海
ナンバリングコード	PRO3211		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	IT の技術的な基礎知識を学び、IT パスポート試験の「テクノロジ系」に対応する内容を体系的に習得することを目指す。コンピュータの基本構造、ハードウェアとソフトウェア、ネットワーク、セキュリティ、データベース、プログラミングの基礎など、IT を活用するために必要な技術的な知識を学ぶ。授業では、小テストを通じて理解度を確認しながら、実社会での IT の活用を意識した学習を行う。IT パスポート試験の受験を想定し、試験対策の観点からも重要なポイントを押さえながら、技術的な理解を深め、IT を適切に利活用できるスキルを身につける。							
到 達 目 標	1. コンピュータの構成要素を理解し、基本的な仕組みを説明できる。 2. プログラムやアルゴリズムの基礎を理解し、処理の流れを説明できる。 3. IT パスポート試験の「テクノロジ系」に関する基本的な知識を身につけ、試験問題に正しく回答できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	テクノロジの基礎知識	予習	テクノロジの全体像を把握する			
				復習	アナログとデジタルの復習をする			
	第 3 回	内容	ハードウェア	予習	五大装置について調べる			
				復習	コンピュータの構成について復習する			
	第 4 回	内容	ソフトウェア	予習	ファイルとディレクトリについて調べる			
				復習	ファイル管理について復習する			
	第 5 回	内容	ネットワーク	予習	IP アドレス、プロトコルについて調べる			
				復習	通信プロトコルについて復習する			
	第 6 回	内容	コンピュータとデジタル情報	予習	二進数について調べる			
				復習	基数変換について復習する			
	第 7 回	内容	プログラムとアルゴリズム 1	予習	コンピュータ言語について調べる			
				復習	アルゴリズムについて復習する			
	第 8 回	内容	プログラムとアルゴリズム 2	予習	プログラミングについて調べる			
				復習	変数と配列について復習する			
	第 9 回	内容	コンピュータシステム	予習	クラウドについて調べる			
				復習	稼働率について復習する			
	第 10 回	内容	企業レベルの情報セキュリティ	予習	暗号化について調べる			
				復習	企業におけるセキュリティ対策を復習する			
	第 11 回	内容	個人レベルの情報セキュリティ	予習	個人情報、著作権について調べる			
				復習	個人におけるセキュリティ対策を復習する			
	第 12 回	内容	AI	予習	AI について調べる			
				復習	AI について復習する			
	第 13 回	内容	データサイエンス	予習	データ分析、ビックデータについて調べる			
				復習	データ分析について復習する			
	第 14 回	内容	まとめ課題 1	予習	全範囲の内容を整理しておく			
				復習	全範囲の内容を復習する			
	第 15 回	内容	まとめ課題 2	予習	全範囲の内容を整理しておく			
				復習	全範囲の内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題の回答に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 20 %）、小テスト（ 60 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 20 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。							
参考文献	『キタミ式イラスト IT 塾 IT パスポート 令和 07 年』（きたみりゅうじ、技術評論社）							
補足事項								

科 目 名	IT ストラテジ概論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	くわはら ななみ 桑 原 七海
ナンバリングコード	PRO3212		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	IT ストラテジに関する基礎知識を学び、企業経営における IT 活用の重要性を理解することを目指す。IT パスポート試験の「ストラテジ系」「マネジメント系」に対応した内容を中心に、企業の経営戦略、業務改善、情報システムの役割、IT ガバナンス、法律や倫理などについて学ぶ。授業では、小テストを取り入れながら知識の定着を図るとともに、実際のビジネスシーンにおける IT 活用の事例を交えながら、社会で求められる IT リテラシーを養う。IT パスポート試験の取得を視野に入れ、試験対策にも役立つ知識を身につけることを目指す。							
到 達 目 標	1. 企業活動や関連法規を理解し、IT がビジネスに与える影響を説明できる。 2. 技術開発やシステム戦略を理解し、IT の活用事例やシステム開発の流れを説明できる。 3. IT パスポート試験のストラテジ系・マネジメント系の知識を習得し、試験問題に正しく回答できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	ストラテジの基礎知識	予習	ストラテジの全体像を把握する			
				復習	資源、資産、資本の違いを復習する			
	第 3 回	内容	企業活動 1	予習	特性要因図を調べる			
				復習	分析手法について復習する			
	第 4 回	内容	企業活動 2	予習	コンプライアンスについて調べる			
				復習	企業の社会的役割について復習する			
	第 5 回	内容	マーケティング	予習	Cookie について調べる			
				復習	デジタルマーケティングについて復習する			
	第 6 回	内容	関連法規 1	予習	個人情報について調べる			
				復習	情報セキュリティについて復習する			
	第 7 回	内容	関連法規 2	予習	派遣契約について調べる			
				復習	労働・雇用関連法規について復習する			
	第 8 回	内容	企業会計	予習	損益分岐点について調べる			
				復習	企業会計用語について復習する			
	第 9 回	内容	技術開発戦略	予習	金融や製造業の IT 活用について調べる			
				復習	ビジネスの IT 活用について復習する			
	第 10 回	内容	システム戦略	予習	IoT、AI について調べる			
				復習	企業活動と IT についてまとめる			
	第 11 回	内容	マネジメントの基礎知識	予習	システム開発の流れを調べる			
				復習	システム開発の流れを復習する			
	第 12 回	内容	システム企画・開発	予習	ユーザインターフェイスについて調べる			
				復習	システムの稼働率について復習する			
	第 13 回	内容	システム運用・保守	予習	スケジュール管理について調べる			
				復習	システム監査について復習する			
	第 14 回	内容	まとめ課題 1	予習	全範囲の内容を整理しておく			
				復習	全範囲の内容を復習する			
	第 15 回	内容	まとめ課題 2	予習	全範囲の内容を整理しておく			
				復習	全範囲の内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題の回答に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 20 %）、小テスト（ 60 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 20 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。							
参考文献	『キタミ式イラスト IT 塾 IT パスポート 令和 07 年』（きたみりゅうじ、技術評論社）							
補足事項								

科 目 名	情報処理活用		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード*	PRO3233		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	マクロを用いたエクセルの応用的な操作、Blender による 3DCG モデル制作、AI 入門、Google フォームを用いた Web アンケートの作成、動画制作、PDF 編集などを学びます。							
到 達 目 標	1. エクセルの応用的な操作を身につけている。 2. クラウドサービスの操作を身につけている。 3. 動画編集の操作を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	エクセル活用① エクセルマクロの基礎	予習	マクロについて調べる			
				復習	マクロの操作を復習する			
	第 3 回	内容	エクセル活用② エクセルマクロ	予習	マクロの活用について調べる			
				復習	マクロの操作を復習する			
	第 4 回	内容	エクセル活用③ まとめて PDF 出力など	予習	PDF について調べる			
				復習	PDF 出力マクロを復習する			
	第 5 回	内容	Blender による 3DCG モデル制作①	予習	Blender について調べる			
				復習	図形の操作を復習する			
	第 6 回	内容	Blender による 3DCG モデル制作②	予習	作る 3D モデルについて考える			
				復習	図形の加工の操作について復習する			
	第 7 回	内容	Blender による 3DCG モデル制作③	予習	作る 3D モデルについて考える			
				復習	図形の加工の操作について復習する			
	第 8 回	内容	AI 入門①	予習	AI について調べる			
				復習	AI の事柄について復習する			
	第 9 回	内容	AI 入門②	予習	AI の応用について調べる			
				復習	AI の活用を復習する			
	第 10 回	内容	クラウド スクリプトによる Google フォーム作成	予習	Google フォームについて調べる			
				復習	スクリプトで使用するコマンドを復習する			
	第 11 回	内容	バズる動画を目指した作品制作①（グループワーク）	予習	流行っている動画について調べる			
				復習	動画制作の計画を振り返る			
	第 12 回	内容	バズる動画を目指した作品制作②（グループワーク）	予習	動画制作の流れを確認する			
				復習	動画制作の操作を復習する			
	第 13 回	内容	バズる動画を目指した作品制作③（グループワーク）	予習	動画制作の流れを確認する			
				復習	動画制作の操作を復習する			
	第 14 回	内容	バズる動画を目指した作品制作④（グループワーク）	予習	動画制作の流れを確認する			
				復習	作品を振り返る			
	第 15 回	内容	PDF 編集・まとめ	予習	PDF 編集について調べる			
				復習	これまで作成した課題を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	ルーブリック：https://drive.google.com/drive/folders/1raRrEUUbGhHR0vYzg0y4ihzgvdFu-0WE?usp=sharing（本科目名のファイルを参照） この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科 目 名	風土と文化		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之
ナンバリングコード	CUL3213		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	歴史・自然環境と文化との関係について学ぶ。特に「古都」の魅力について、みやこが大和（現在の奈良県）の明日香に置かれていた時代からの歴史をたどる。都という空間が現代に生きる私たちの感性に及ぼしている様々な影響について考察する。							
到 達 目 標	1．古都の歴史的展開と特性についての理解を深めている。 2．歴史と風土の関わりについての理解を深めている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の始まりにあたって～日本の世界遺産について	予習	日本国内の「世界遺産」について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 2 回	内容	飛鳥のみやこ①	予習	飛鳥について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 3 回	内容	飛鳥のみやこ②	予習	飛鳥の歴史と飛鳥を詠んだ和歌を調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 4 回	内容	近江京と藤原京	予習	近江国の歴史と地理について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 5 回	内容	藤原京から平城京へ	予習	遷都の歴史と藤原京について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 6 回	内容	平城京の実態	予習	平城京の歴史と地理について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 7 回	内容	平城京と社寺	予習	春日大社と興福寺について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 8 回	内容	東大寺と正倉院	予習	聖武天皇と大仏建立について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 9 回	内容	平城京から長岡京へ	予習	長岡京について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 10 回	内容	怨霊と長岡京	予習	平安遷都前後の歴史を調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 11 回	内容	平安遷都の真相	予習	御霊について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 12 回	内容	平安京の社寺	予習	上賀茂下賀茂神社と東寺について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 13 回	内容	境域の内と外	予習	京城と境について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 14 回	内容	秀吉による平安京再建	予習	応仁の乱について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	第 15 回	内容	平泉～北の「みやこ」	予習	平泉について調べる			
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね6 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね1 2 0 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（7 0％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【主体性 】（3 0％）							
教科書	資料を配布する							
参考文献	必要に応じて指示する							
補足事項								

科 目 名	文化を訪ねる		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード*	CUL3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	京都の歴史、文化、伝統工芸等について、各自の学びたいテーマを設定し、12月初旬に実際に現地へ訪ねテーマに合わせて学習する。 事前学習として、事前調査と行動計画の作成を行い、現地訪問後の事後学習として、学んだことを発表する。							
到 達 目 標	1．事前学習において、テーマの設定、オンラインでの事前調査、活動計画の作成ができる 2．活動計画を滞りなく実施し、グループメンバーと円滑なコミュニケーションを取ることができる 3．事後学習において、自身の学んだことを Power Point 等を利用して発表することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方を理解する			
	第2回	内容	グループ決め、テーマ設定	予習	テーマの候補を用意しておく			
				復習	テーマに合わせた訪問先を検討する			
	第3回	内容	テーマに合わせたオンライン調査	予習	テーマに合わせた訪問先の候補を用意しておく			
				復習	各訪問先への移動時間を整理する			
	第4回	内容	行動計画の作成	予習	オンライン調査の内容を整理しておく			
				復習	行動計画を作成し、提出する			
	第5回	内容	京都を歩くⅠ	予習	美化活動で訪れる場所を確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第6回	内容	京都を歩くⅠ－2	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第7回	内容	京都を歩くⅠ－3	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第8回	内容	京都を歩くⅡ	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第9回	内容	京都を歩くⅡ－2	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第10回	内容	京都を歩くⅡ－3	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第11回	内容	京都を歩くⅢ	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第12回	内容	京都を歩くⅢ－2	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第13回	内容	京都を歩くⅢ－3	予習	当日の行動計画を改めて確認する			
				復習	入場拝観券やパンフレットを整理する			
	第14回	内容	発表の準備	予習	実際に行動した記録を整理しておく			
				復習	発表資料を完成させ、提出する			
	第15回	内容	発表	予習	発表の練習をする			
				復習	自身の発表の振り返りを行う			
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	研修計画および発表について口頭でコメントします							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（40％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％、授業態度【現地活動の積極性】（30％）							
教科書	指定しません。授業内で資料を配布します							
参考文献	指定しません。必要に応じて授業内で指示します。							
補足事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは2泊3日の京都における集中講義です 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1u1LHZSrntVtWzq1BVS-4eYddW2UbbGP3H/view?usp=sharing							

科 目 名	古典文学を読む		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	CUL3222		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	8世紀初めに成立したと伝わる『古事記』の上巻を読み進める。上巻には神々の世界が描かれており、その誕生から始まる様々な神の姿や国土の起源、多くの事象の由来などを語る日本神話について丁寧な解説を加え、相互に対話を重ねて読み解いていく。								
到 達 目 標	1．日本神話の実相についての理解を深めている。 2．古事記神話を通じて日本文化の特性についての理解を深めている。 3．主要な神の特徴について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	授業の始まりにあたって	予習	日本の神話について調べる				
				復習	神話の特性と歴史についてノートにまとめる				
	第2回	内容	「序」を読む	予習	古事記の成立について調べる				
				復習	古事記編纂に至るまでの歴史的背景をノートにまとめる				
	第3回	内容	世界の始まり「天地初発の時」①	予習	疑問点を書き出しておく				
				復習	実際に声に出して読めるよう繰り返し練習する				
	第4回	内容	世界の始まり「天地初発の時」②	予習	疑問点を書き出しておく				
				復習	内容をノートにまとめる				
	第5回	内容	国土の成り立ち「大八島国の誕生」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	「大八島国」についてノートにまとめる				
	第6回	内容	死の起源とあの世「黄泉国訪問」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	「火の神」誕生の経緯をノートにまとめる				
	第7回	内容	最高神天照大御神の誕生「禊と三貴子」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	三貴神誕生の経緯をノートにまとめる				
	第8回	内容	アマテラスとスサノヲ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	「ウケヒ」から誕生した神をノートにまとめる				
	第9回	内容	アマテラスの岩屋戸籠り	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	神々が果たした役割をノートにまとめる				
	第10回	内容	八俣の大蛇と「八雲たつ出雲」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	スサノヲと出雲の関りをノートにまとめる				
	第11回	内容	オオクニヌシと因幡の白ウサギ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	大国主誕生までの経緯をノートにまとめる				
	第12回	内容	国譲りと出雲大社	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	出雲神話についてノートにまとめる				
	第13回	内容	天孫降臨と美女神コノ花のサクヤビメ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	天孫降臨の前後についてノートにまとめる				
	第14回	内容	海幸彦と山幸彦	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	神話と始祖伝承についてノートにまとめる				
	第15回	内容	授業の終わりにあたって	予習	古事記上巻の展開をノートにまとめる				
				復習	古事記上巻を声に出して読んで理解に努める				
	予習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 1 2 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（7 0 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【 主体性 】（3 0 ）							
教科書	資料を配布								
参考文献	必要に応じて指示する								
補足事項									

科 目 名	近代文学を読む		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	こしみず ゆうこ 小清水 裕子	
ナンバリングコード	CUL3223		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	日本の明治期以降の文学である近代文学の作品を読解し、作品や作者について理解を深める。様々なジャンルの近代文学に親しみ、作品を味わう姿勢を養うとともに、近代文学の研究に関する基礎的な事柄について理解することを目的とする。								
到 達 目 標	1．近代文学の作品を読解して考察したことを表現することができる。 2．近代文学の研究についての基礎的な事項を理解している。 3．近代文学の作品を読解したことを通して、近代文学史を理解している。 4．近代文学作品の解釈の多様性について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1.2.3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス、近代文学の研究の基礎	予習	シラバスを読み、内容を理解する				
				復習	取り上げる近代文学の作品について確認する				
	第 2 回	内容	幸田露伴「五重塔」	予習	幸田露伴「五重塔」を読む				
				復習	作品と作者、近代文学の黎明について整理する				
	第 3 回	内容	森鷗外「舞姫」	予習	森鷗外「舞姫」読む				
				復習	作品と作者、鷗外の影響について整理する				
	第 4 回	内容	樋口一葉「たけくらべ」	予習	樋口一葉「たけくらべ」を読む				
				復習	作品と作者、近代女性文学について整理する				
	第 5 回	内容	夏目漱石「夢十夜」	予習	夏目漱石「夢十夜」を読む				
				復習	作品と作者、明治期の高踏派について整理する				
	第 6 回	内容	与謝野晶子「みだれ髪」	予習	与謝野晶子「みだれ髪」を読む				
				復習	作品と作者、女性の近代化について整理する				
	第 7 回	内容	島崎藤村「破戒」	予習	島崎藤村「破戒」を読む				
				復習	作品と作者、自然主義文学について整理する				
	第 8 回	内容	志賀直哉「城崎にて」	予習	志賀直哉「城崎にて」を読む				
				復習	作品と作者、白樺派について整理する				
	第 9 回	内容	芥川龍之介「蜘蛛の糸」	予習	芥川龍之介「蜘蛛の糸」を読む				
				復習	作新と作者、近代児童文学の始まりを整理する				
	第 10 回	内容	中島敦「山月記」	予習	中島敦「山月記」を読む				
				復習	作品と作者、中国古典との関わりを整理する				
	第 11 回	内容	高村光太郎「智恵子抄」	予習	高村光太郎「智恵子抄」を読む				
				復習	作品と作者、韻文作品について整理する				
	第 12 回	内容	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	予習	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」を読む				
				復習	作品と作者、理想郷の志向について整理する				
	第 13 回	内容	川端康成「古都」	予習	川端康成「古都」を読む				
				復習	作品と作者、ノーベル賞受賞の意義を整理する				
	第 14 回	内容	三島由紀夫「金閣寺」	予習	三島由紀夫「金閣寺」を読む				
				復習	作品と作者、その美意識について整理する				
	第 15 回	内容	近代文学のまとめ	予習	ノートやレポートを自己点検し、復習する				
				復習	作者や作品および作品のジャンルや近代文学史の基礎事項を整理する				
	予習に要する学習時間：概ね 8 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 1 0 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	毎時間作成したレポート及び、発表をフィードバックし、レポートのコメントに従って、各自補完し再提出を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ 5 0 ％）、作品・発表（ 2 0 ％）、実技（ ）％、授業態度【主に振り返りシートなどプリント提出】（ 3 0 ％）							
教科書									
参考文献	適宜、提示します。								

補足事項	授業時には個人の端末（スマートフォン、タブレット、PC）を用いて、参考となる web を閲覧します。
------	--

科 目 名	現代文学を読む		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	さとう じゅつと 佐藤 述 人
ナンバリングコード	CUL3223		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	日本の現代小説作品を実際に読んでそれらについての読解を深めます。また該当作品を取り上げて合評形式での読書会を行ない、それを通して自分の読みを語る技術も養います。さらに、いま小説を読むにあたって有効と思われる現代の思想や哲学やサブカルチャーの知識も身に付け、より豊かに（かつ楽しく）小説を精読できるようになることを目指します。							
到 達 目 標	1． 精読した小説について自らの読みを言葉にして書く／語ることができる 2． 小説の読解や批評のために有効な現代文学の潮流について理解している 3． 作品を批評を通して自らの思考を深める技術を習得している							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,2 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス、宇佐見りん「かか」の紹介	予習	シラバスを確認する			
				復習	「かか」の精読			
	第 2 回	内容	宇佐見りん「かか」についての合評および講義	予習	合評での発言をまとめておく			
				復習	合評を踏まえて「かか」の再読			
	第 3 回	内容	現代の思想について	予習	気になった書籍を読んでおく			
				復習	授業内で取り扱った書籍を読んでみる			
	第 4 回	内容	宇佐見りん「推し、燃ゆ」の紹介	予習	芥川賞受賞時の宇佐見りんについて調べておく			
				復習	「推し、燃ゆ」の精読			
	第 5 回	内容	宇佐見りん「推し、燃ゆ」についての合評および講義	予習	合評での発言をまとめておく			
				復習	合評を踏まえて「推し、燃ゆ」の再読			
	第 6 回	内容	現代の哲学について	予習	案内した事柄について調べておく			
				復習	授業内で取り扱った書籍を読んでみる			
	第 7 回	内容	宇佐見りん「くるまの娘」の紹介	予習	「かか」「推し、燃ゆ」の再読			
				復習	「くるまの娘」の精読			
	第 8 回	内容	宇佐見りん「くるまの娘」についての合評および講義	予習	合評での発言をまとめておく			
				復習	合評を踏まえて「くるまの娘」の再読			
	第 9 回	内容	山野辺太郎の小説について	予習	山野辺太郎「孤島の飛来人」の精読			
				復習	授業内で取り扱った書籍を読んでみる			
	第 10 回	内容	文芸誌の最前線作品 1	予習	配布した作品を読んでおく			
				復習	配布した作品の再読			
	第 11 回	内容	文芸誌の最前線作品 2	予習	配布した作品を読んでおく			
				復習	配布した作品の再読			
	第 12 回	内容	現代の批評について	予習	案内した事柄について調べておく			
				復習	授業内で取り扱った書籍を読んでみる			
	第 13 回	内容	テレビゲーム/携帯ゲーム作品について	予習	案内した事柄について調べておく			
				復習	授業内で取り扱った書籍を読んでみる			
	第 14 回	内容	現代ジェンダー論（紹介）	予習	案内した事柄について調べておく			
				復習	配布した論文の精読			
	第 15 回	内容	現代ジェンダー論（討議）	予習	討議での発言をまとめておく			
				復習	討議を踏まえて配布した論文の再読			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内でコメントする。必要な場合は個別の質問にも答える。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％、授業態度【積極参加】（10％）							
教科書	授業内で配布あるいは指示する。							
参考文献	授業内で適宜指示する。							
補足事項	講義内容は受講者数や合評の進行度合により変更する場合がある。							

科 目 名	生涯学習概論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナンバリングコード	LIS3221		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	図書館、博物館、文書館等の MLA 機関は、生涯学習を支援する社会教育機関である。本授業は、学習の支援者としての司書の役割を理解し、生涯学習の歴史、意義、理念、技法について講義を行う。また、講義の内容を踏まえて、生涯学習を支援する公的機関へ訪問し、実際の生涯学習支援について実地で学ぶ。								
到 達 目 標	1. 生涯学習の意義、理念を理解している 2. 各発達段階における生涯学習の形式、内容を理解し、学習計画を立てることができる 3. 生涯学習において図書館、博物館、文書館が担う役割を理解し、説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	授業の内容と進め方について理解する				
	第2回	内容	生涯学習の定義と意義	予習	生涯学習と成人教育の違いを調べる				
				復習	生涯学習の意義を理解する				
	第3回	内容	生涯学習の理念と歴史	予習	リカレント教育について調べる				
				復習	生涯学習の理念の展開を理解する				
	第4回	内容	生涯教育に関連する法律	予習	生涯学習振興法を予読する				
				復習	社会教育と生涯学習の関連を理解する				
	第5回	内容	生涯の発達段階ごとの学習内容	予習	成人期における生涯学習の内容を調べる				
				復習	発達段階ごとの生涯学習の違いを理解する				
	第6回	内容	生涯学習を支援する機関、人々、生涯学習計画	予習	公民館の役割を調べる				
				復習	司書による生涯学習支援の意義をまとめる				
	第7回	内容	生涯学習における教育プログラム	予習	生涯教育と生涯学習の違いを調べる				
				復習	社会教育活動について理解する				
	第8回	内容	生涯学習の評価と成果の活用	予習	生涯学習における成果発表の機会を調べる				
				復習	生涯学習の評価法について理解する				
	第9回	内容	生涯学習と情報	予習	オンラインで行う生涯学習の事例を調べる				
				復習	情報リテラシの重要性を理解する				
	第10回	内容	生涯学習支援機関における支援①（グループワーク・実地学習）	予習	訪問先の支援事業について調べる				
				復習	実地学習の内容をまとめる				
	第11回	内容	生涯学習プログラムの作成①（グループワーク）	予習	自身の生涯学習の記録をまとめておく				
				復習	役割ごとの提出物作成を進める				
	第12回	内容	生涯学習プログラムの作成②（グループワーク）	予習	役割ごとの提出物作成を進める				
				復習	提出物を完成させる				
	第13回	内容	グループワークの成果発表（発表）	予習	発表の練習をしておく				
				復習	発表後のフィードバックをまとめる				
	第14回	内容	生涯学習支援機関の見学（実地学習）	予習	訪問先の支援事業について調べる				
				復習	実地学習の内容をまとめる				
	第15回	内容	これからの生涯学習支援の展望	予習	生涯学習についてのニュースを読む				
				復習	自身の生涯学習について計画を立ててみる				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	グループワークの成果について相互評価の結果を返却します。また、レポートについて、希望者にはコメントを返却します。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【グループワークの貢献】（40%）							
教科書	指定しません。授業資料を配布します。								
参考文献	『司書・学芸員をめざす人への生涯学習概論』（大堀哲・編、樹村房） 『講座・図書館情報学 1 生涯学習概論—知識基盤社会で学ぶ・学びを支える』（渡邊洋子、ミネルヴァ書房）								
補足事項	グループワークを行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUjQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing								

科 目 名	図書館概論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3211		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	司書資格取得の必修科目かつ入門科目として、図書館の基礎知識を学びます。まず、図書館に関する科目で共通する基礎知識・基礎概念を学びます。その後、図書館の館種別に、歴史、法制度、社会での役割、サービスの内容と意義、図書館職員の資格と業務内容、他機関との連携、課題と今後の展望について幅広く解説します。授業では講義および講義内容をより深く理解するためのグループディスカッションを行います。							
到 達 目 標	1. 図書館の歴史と現状、法制度について理解している 2. 公共図書館を中心とする図書館サービスの内容とその意義について説明できる 3. 社会における図書館の位置づけと他機関連携について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、3、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、図書館の種類と定義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく			
				復習	本授業の内容と進め方を理解する			
	第 2 回	内容	図書館の構成要素と機能	予習	図書館の構成要素について調べる			
				復習	図書館の館種別機能を理解する			
	第 3 回	内容	図書館サービスの社会的意義	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを目を通す			
				復習	公共図書館の社会的意義を理解する			
	第 4 回	内容	図書館の歴史	予習	アレクサンドリア図書館について調べる			
				復習	日本の公共図書館の歴史について理解する			
	第 5 回	内容	図書館法および関連法規	予習	図書館法を予読する			
				復習	図書館法の内容を理解する			
	第 6 回	内容	知的自由と図書館	予習	図書館の自由に関する宣言を予読する			
				復習	図書館の知的自由とは何かを理解する			
	第 7 回	内容	前半のまとめ・グループワーク	予習	図書館の知的自由に関する事例を調べる			
				復習	図書館の知的自由についてレポートを書く			
	第 8 回	内容	国立図書館の制度と機能	予習	納本図書館について調べる			
				復習	授業で扱った図書館のウェブサイトを目を通す			
	第 9 回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	公立図書館と公共図書館の違いについて調べる			
				復習	公共図書館の機能について理解する			
	第 10 回	内容	学校図書館の制度と機能	予習	学校図書館のサービス対象を調べる			
				復習	出身校の図書館ウェブサイトを目を通す			
	第 11 回	内容	大学図書館の制度と機能・専門図書館の制度と機能	予習	附属図書館のウェブサイトを確認し機能を知る			
				復習	専門図書館のサービス内容を確認する			
	第 12 回	内容	図書館職員の種類・資格・業務内容	予習	司書資格に必要な要件について調べる			
				復習	司書の資格、業務について理解する			
	第 13 回	内容	図書館と他機関との連携	予習	MLA 連携とは何か調べる			
				復習	埼玉県内の図書館における連携・協力を理解する			
	第 14 回	内容	近年の公共図書館をめぐる議論と展望	予習	図書館に関するニュースを読む			
				復習	現代図書館界の課題と展望を理解する			
	第 15 回	内容	後半のまとめ・グループワーク	予習	授業内で紹介したニュースを目を通す			
				復習	図書館の課題についてレポートを作成する			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	グループワーク中に口頭でコメントします。希望者にはレポートにコメントを返却します							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（30%）							
教科書	『図書館情報学基礎資料 第5版』（今 まどり、小山 憲司・編著、樹村房） 加えて、授業資料を配布します							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ1 図書館概論 改訂版』（高山正也、岸田和明・編著、樹村房） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1 図書館概論 五訂版』（塩見昇・編著、日本図書館協会）							
補足事項	グループワークを行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ループリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQfJcQQ-6off6w/view?usp=sharing							

科 目 名	図書館サービス概論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナンバリングコード	LIS3212		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	主に公共図書館における図書館サービスについて、概念と基礎知識を学びます。まず、図書館サービスの定義、種類、意義について学び、個々のサービスごとにより詳細な内容と意義について講義を行います。その後、図書館サービスの中でも議論のある分野について、グループワークを通して理解を深めます。グループワーク後には小レポートを課します。								
到 達 目 標	1. 図書館サービスの内容と意義について説明できる 2. 図書館サービスを実践する上での基礎知識を獲得している 3. 近年の図書館サービスの現況と課題について説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 2、5 ）文化表現学科（ 2、3、4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション・図書館サービスとは何か	予習	シラバスをよく読んでおく				
				復習	本授業の内容と進め方を理解する				
	第 2 回	内容	図書館の機能とサービス	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを開覧する				
				復習	図書館サービスの内容について理解する				
	第 3 回	内容	図書館サービスの歴史	予習	中小レポート（授業内で紹介）を予読する				
				復習	図書館サービスの変遷について理解する				
	第 4 回	内容	図書館サービスを支える理念	予習	図書館員の倫理要綱を予読する				
				復習	図書館サービスに関するガイドラインを読む				
	第 5 回	内容	資料提供サービス	予習	公共図書館の貸出サービスについて調べる				
				復習	資料提供サービスの仕組みを理解する				
	第 6 回	内容	情報提供サービス	予習	レファレンスサービスについて調べる				
				復習	情報提供サービスの種類について理解する				
	第 7 回	内容	課題解決型サービス・多文化サービス	予習	課題解決型サービスとは何か調べる				
				復習	図書館の課題解決型サービスについてまとめる				
	第 8 回	内容	地域に合わせた図書館サービス（グループワーク）	予習	コミュニティサービスとは何か調べる				
				復習	地域に合ったサービスについてレポートを書く				
	第 9 回	内容	障害者サービス、アウトリーチとエクステンション	予習	デイジー資料とは何か調べる				
				復習	公共図書館におけるアウトリーチ事例を調べる				
	第 10 回	内容	高齢者サービス、児童サービス	予習	回想法について調べる				
				復習	年代に合わせたサービスについて理解する				
	第 11 回	内容	図書館サービスと著作権	予習	著作権法を予読する				
				復習	図書館における著作権ガイドラインを読む				
	第 12 回	内容	利用者に合わせた図書館サービス（グループワーク）	予習	図書館の利用者接遇について調べる				
				復習	図書館での利用者接遇についてレポートを書く				
	第 13 回	内容	図書館サービスの連携と協力、利用者への対応と広報	予習	ウェブサイトでの図書館広報について調べる				
				復習	図書館サービス連携の事例を読む				
	第 14 回	内容	図書館サービスと危機管理	予習	図書館における被災のニュースを調べる				
				復習	図書館の資料修復方法を調べて読む				
	第 15 回	内容	図書館サービスの課題と展望	予習	図書館サービスに関するニュースを読む・見る				
				復習	図書館サービスの展望について理解する				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	グループワーク中に口頭でコメントします。希望者にはレポートに対してコメントを返却します							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（30%）							
教科書	指定しません。授業資料を配布します。								
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ4 図書館サービス概論』（宮部頼子・編、樹村房） 『事例で学ぶ図書館1 事例で学ぶ図書館サービス概論』（吉井 潤・著、青弓社）								
補足事項	グループワークを行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing								

科 目 名	児童サービス論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3222			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	乳児からヤングアダルトまでを対象とした、子ども向け資料の管理と提供、子どもの読書を推進する取り組み、他機関との連携等について、基本知識と技術の習得を目指します。また、いくつかの単元についてはグループワークを行い、多様な視点を獲得することを目指します。児童サービスの内、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリング、ビブリオバトルについては演習形式で理解を深めます。								
到 達 目 標	1．図書館における児童サービスの意義と取り組みについて理解している 2．児童向け資料の基礎知識を理解し、収集と提供について説明できる 3．子どもの読書を推進する取り組みを理解し、実践できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1、2、3、5 ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション			予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
			児童にとっての読書の意味			復習	本授業の内容を理解する		
	第2回	内容	児童サービスの意義と歴史、児童サービスの管理と運営			予習	児童サービスの意義とは何か調べる		
						復習	児童サービスの意義と歴史について理解する		
	第3回	内容	児童向け資料の種類と提供			予習	年齢別の子ども向け資料の種類を調べる		
						復習	子どもへの資料提供方法を理解する		
	第4回	内容	乳幼児サービス、YA サービス			予習	ブックスタートについて調べる		
						復習	年齢ごとのサービスの違いについて理解する		
	第5回	内容	学校図書館へのサービス、特別なニーズをもつ子どもへのサービス			予習	ディスレクシアについて調べる		
						復習	学校図書館と公共図書館の連携について調べる		
	第6回	内容	読み聞かせの意義と準備			予習	読み聞かせの意義について調べる		
						復習	読み聞かせの準備について理解する		
	第7回	内容	読み聞かせ演習（発表）			予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく		
						復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第8回	内容	読み聞かせ演習（発表）②			予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく		
						復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第9回	内容	読み聞かせ演習（発表）③			予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく		
						復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第10回	内容	ブックトークの意義と準備			予習	ブックトークの意義について調べる		
						復習	ブックトークのシナリオを作成する		
	第11回	内容	ブックトーク演習（発表）			予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく		
						復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第12回	内容	ブックトーク演習（発表）②			予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく		
						復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第13回	内容	ストーリーテリングの意義と準備、ビブリオバトルの意義と準備			予習	ストーリーテリングの意義について調べる		
						復習	ストーリーテリングの準備について理解する		
	第14回	内容	ストーリーテリング演習、ビブリオバトル演習（発表）			予習	ストーリーテリングの作品を選定し、練習する		
						復習	自己評価をレポートにまとめる		
	第15回	内容	児童サービスの課題と展望（グループワーク・討議）			予習	児童サービスの課題について調べる		
						復習	児童サービスの展望について理解する		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	課題及び発表に対してコメントを返却します								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（40%）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（20%）								
教科書	指定しません。授業資料を配布します								
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ6 児童サービス論』（植松貞夫・鈴木佳苗・編、樹村房） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6 児童サービス論 新訂版』（堀川照代、日本図書館協会）								
補足事項	演習を行わない回は、授業内で小テストを行います（評価は「レポート・課題」に含めます）。小テストの内容を復習してください。 評価基準（ルーブリック）： https://drive.google.com/file/d/1U22jQmm1kZDkkNB_MUpQFJcQQ-6off6w/view?usp=sharing								

科 目 名	マンガ・イラスト表現		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	うえの けんたろう 上野 顕太郎	
ナンバリングコード	MAC3211		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	マンガ技法の基礎的な部分を中心とした講義と制作になるが、イラスト表現と通底する部分が多いので、学ぶ点が多いと思う。 マンガでもイラストでも「描く喜び」という、原初の感情を忘れないで欲しい。 基本的な授業の内容は、講義と説明の後、課題制作という流れになる。								
到 達 目 標	1. キャラクターを創作できる。 2. マンガの文法を理解している。 3. 「絵」を使い、第3者に伝えるという事を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	【課題】自己紹介マンガ。	予習	自分の分身となるキャラクターを創る。				
				復習	キャラと世界観の関係を考える。				
	第2回	内容	【演習】キャラクターを創る。	予習	描きたい世界観に合うキャラクターを考える。				
				復習	今後は、様々なキャラクターに応用する。				
	第3回	内容	【演習】キャラクターを様々な角度から描く。	予習	鏡や資料写真を使い検討する。				
				復習	身に付くまで日々練習する。				
	第4回	内容	【演習】マンガ表現の「動き」	予習	マンガ表現の動きとは何かを考える。				
				復習	動かない物も動かせる事を確認する。				
	第5回	内容	【演習】集中線、カケアミ。	予習	ペンで描く事に慣れておく。				
				復習	基本をアレンジしてみよう。				
	第6回	内容	【演習】音を描く（ロゴや効果音の表現）	予習	文字のデザインを意識する。				
				復習	文字を立体的に捉える。				
	第7回	内容	【演習】パースを理解する1。	予習	パースの概要について調べておく。				
				復習	身近な物にパースを当てはめてみる。				
	第8回	内容	【演習】パースを理解する2。	予習	パースを使った人物の配置を考える。				
				復習	今後は実作業の中で習得してゆく事。				
	第9回	内容	【演習】キャラクターを動かす。	予習	自分のキャラクターを創る。				
				復習	キャラクターの動きを考える。				
	第10回	内容	【演習】キャラクターとコマ割り。（レイアウト）	予習	コマ割りを意識してマンガを読む。				
				復習	コマの中にキャラクターを配置する。				
	第11回	内容	【演習】キャラクターに芝居を付ける。フキダシの配置。	予習	フキダシの位置を意識してマンガを読む。				
				復習	フキダシも絵の一部だという事を理解する。				
	第12回	内容	【演習】マンガや映画のポスターに学ぶ構図。	予習	好きな扉絵やポスターを見る。				
				復習	自分なりのレイアウトを考える。				
	第13回	内容	【課題】セリフ固定マンガ。	予習	セリフからマンガの案を練る。				
				復習	自分でも挑戦してみる。				
	第14回	内容	【課題】ポーズ固定マンガ。	予習	ポーズからマンガの案を練る。				
				復習	自分でも挑戦してみる。				
	第15回	内容	【講義】マンガ表現。	予習	マンガ表現とは何かを考える。				
				復習	自分の表現スタイルを探す。				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業の最後に講評を行い質の向上を目指すと共に、他の学生の作品に触れる事で、表現の幅を広げます。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（0%）、レポート・課題（48%）、作品・発表（0%）、実技（47%）、授業態度【集中力、居眠り】（5%）							
教科書	なし								
参考文献	なし								
補足事項	講義の記録のための筆記用具。制作のための画材（鉛筆、消しゴム、ペン、インク、定規等）を持参する事。（用紙は学校が用意する）								

科 目 名	アニメーション表現		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	うえの けんたろう 上野 顕太郎
ナバ`リング`コート`	MAC3212		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	コマ撮りを使い、様々なアニメーション技法を学びます。 個人製作では独自の表現を、グループ制作ではコミュニケーションを図り作品を作りあげます。							
到 達 目 標	1. 止まっている絵や物体を動かすという感覚を身につけている。 2. コマ撮りの様々な技法を学び、自分の作品制作に生かす事が出来ている。 3. グループ制作を通じ、他者との関わり合いができている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	小物を動かす。(動かし方と撮影)	予習	机の上で動かせる大きさの小物を用意する。			
				復習	授業の再確認。			
	第 2 回	内容	箱を動かす。(ペーパーアニメ)	予習	筆記用具と定規を用意する。			
				復習	立体的に捉えられているか、確認する。			
	第 3 回	内容	文字を動かす。(ペーパーアニメ)	予習	平面と立体で文字を捉える。			
				復習	色んな素材を動かしてみよう。			
	第 4 回	内容	切り紙アニメ、1 (2～5 分の作品を製作)	予習	場面や物語を考えておく。			
				復習	必要な素材を考える。			
	第 5 回	内容	切り紙アニメ、2	予習	素材を揃え、撮影する。			
				復習	次に完成させるように整える。			
	第 6 回	内容	切り紙アニメ、3 (完成作品を鑑賞)	予習	時間内に完成するように整える。			
				復習	切り紙ならではの動きを考える。			
	第 7 回	内容	【グループ】人間アニメ、1 (基本的な動きの練習)	予習	改めて、日常の動作を意識する。			
				復習	どんな場面を創るか話し合う。			
	第 8 回	内容	【グループ】人間アニメ、2 (場面を創る)	予習	コマ撮りならではの動きを考える。			
				復習	応用の為の案を話し合う。			
	第 9 回	内容	【グループ】人間アニメ、応用	予習	応用の為の素材を用意する。			
				復習	人間もコマ撮りの素材となる事を理解する。			
	第 10 回	内容	【グループ】CM 制作、1	予習	CM を意識してテレビを観る。			
				復習	何をどう伝えるかを決定する。			
	第 11 回	内容	【グループ】CM 制作、2 (完成作品を鑑賞)	予習	必要な素材を用意して撮影に臨む。			
				復習	短い時間内に情報を伝える事を意識する。			
	第 12 回	内容	【グループ】変身、1 (人間アニメ応用)	予習	「変身」とは何かを考える。			
				復習	制作内容を話し合う。			
	第 13 回	内容	【グループ】変身、2	予習	各自作業内容を分担する。			
				復習	相互に協力し、制作を進める。			
	第 14 回	内容	【グループ】変身、3	予習	時間内に制作が終わるように調整する。			
				復習	発表会に間に合うように完成させる。			
	第 15 回	内容	発表会 (上映及び、制作過程の話、工夫等)	予習	発表の流れや役割分担を決める。			
				復習	反省点や改善点を検討する。			
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	発表会で他の学生作品に触れる事で可能性を広げ、制作作品に対する修正点やアドバイスにより質の向上を目指します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験 (0%)、レポート・課題 (25%) 個人製作 (35%)、グループ制作 (35%)、授業態度【 集中力、居眠り 】(5%)							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	撮影用に i P a d やスマートフォン、それらの機器を固定する器具が必要。 無料アプリ「KOMA KOMA」「ストップモーションスタジオ」等 b をダウンロードして、内容を把握しておく事。 作品を製作する際に案を練るための筆記用具が必要。							

科 目 名	マンガ創作		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	うえの けんたろう 上野 顕太郎
ナンバリングコード	MAC3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	マンガの演出、技法を中心に学ぶので、デッサン等、絵の表現については、各自の研鑽事項となります。 絵が得意では無い者にとっても意義のある授業になります。 最終的には短編マンガを製作します。							
到 達 目 標	1． マンガ表現への理解を深めている。 2． 講義内容を咀嚼し、自分の表現に生かす事が出来る。 3． 2～4 ページのオリジナルマンガを完成させている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	【課題】自己紹介マンガ	予習	自分を紹介するポイントを考えておく。			
				復習	魅せる自己紹介が出来たか。			
	第 2 回	内容	【講義】マンガの文法、演出。	予習	マンガの文法とは何か、考えておく。			
				復習	講義の内容を理解する事。			
	第 3 回	内容	【演習】アナログ作業の手順。	予習	アナログ作業のための用具を用意する。			
				復習	使い方に慣れる。			
	第 4 回	内容	【課題】読みやすいマンガ（マンガの文法）。	予習	どういうマンガが読みやすいか考える。			
				復習	読みやすくする工夫を考える。			
	第 5 回	内容	【課題】会話シーンの工夫。	予習	マンガの会話シーンを意識する。			
				復習	マンガ家がどんな工夫をしているか調べる。			
	第 6 回	内容	【演習】感情を表現する。	予習	マンガにおける感情表現について調べる。			
				復習	色んな感情を考える。			
	第 7 回	内容	【課題】サイレントで描く。	予習	マンガ作品の、セリフの無いシーンを探す。			
				復習	絵のみで伝える			
	第 8 回	内容	【課題】異なる視点で描く。	予習	様々な角度から見る事を意識する。			
				復習	場面に適した構図を考える。			
	第 9 回	内容	【課題】三枚の絵（発想力を身に付ける）	予習	絵の中にある情報を読み取る。			
				復習	自分でお題を作ってみる。			
	第 10 回	内容	【課題】三題漸（物語作りの訓練）。	予習	三題漸について調べておく。			
				復習	自分でお題を選んで作ってみる。			
	第 11 回	内容	【制作】物語の組み立て方（プロット）。	予習	短いストーリーを考える。			
				復習	プロットを創る。			
	第 12 回	内容	【制作】ネーム、下描き。	予習	2～4 ページのネームを用意する。			
				復習	下絵を進める。			
	第 13 回	内容	【制作】下描き、作画。	予習	下絵を進める。			
				復習	ペン入れを進める。			
	第 14 回	内容	【制作】作画、仕上げ。	予習	ペン入れを進める。			
				復習	焦らず丁寧に仕上げを行う。			
第 15 回	内容	講評会。	予習	講評会に間に合うように作品を仕上げる。				
			復習	自由に作品を描いてみよう。				
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題について講評やアドバイスにより、制作の向上を目指します。レポート提出により、内容の理解が出来ているか確認します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（0%）、レポート・課題（35%）、作品・発表（35%）、実技（25%）、授業態度【 集中力、居眠り 】（5%）							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	講義を記録するためと、作画のための筆記用具（ペン、インク等）を持参して下さい。（アナログ作業です、用紙は学校が用意します。）							

科 目 名	ノンフィクション入門		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	ひ だ あつこ 樋 田 敦子
ナンバリングコード	MAC3222		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	ノンフィクション作品とは、フィクションではない作品のことで、小説などのフィクションとは違います。 目の前にあるリアルな素材をどのように料理し優れた一品できるのか。卒業生たちは、身近にある問題を題材にして、個人で、グループで作品を仕上げました。取材、執筆を通して、自らの思考力、判断力、表現力を向上させることを目指します。							
到 達 目 標	1. 作品を読み、そこに書かれているテーマを読み取り、読解力を深めている。 2. 執筆で文章表現力を高め、取材でコミュニケーション能力を高めている。 3. 1人、あるいはグループで作品を仕上げることで、やり抜く力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス、ノンフィクションとは何か	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業内容をもう一度理解する			
	第2回	内容	ノンフィクション作品を読んでみる、感想を発表	予習	自分の好きな作品を選ぶ			
				復習	テーマへの考察			
	第3回	内容	作品のテーマを考える	予習	新聞や雑誌を読んで、今起こっていることを理解			
				復習	テーマを固める			
	第4回	内容	取材、執筆とは何か	予習	作品がどのようにつくられているかを考える			
				復習	授業を振り返る			
	第5回	内容	企画編集会議、何を取り上げるか	予習	取り上げたいテーマを考えてくる			
				復習	テーマを深掘りする			
	第6回	内容	取材、執筆の計画を立てる	予習	これまでの授業を改めてみておく			
				復習	計画を立てて、次回までに完成させる			
	第7回	内容	取材ノートの完成	予習	これまでの授業を振り返る			
				復習	取材ノートを完成させる			
	第8回	内容	リサーチ、取材の準備	予習	取材をどうするかを考察する			
				復習	リサーチ、リサーチ			
	第9回	内容	取材①、準備	予習	取材をどうするか			
				復習	取材のまとめ			
	第10回	内容	取材②、準備	予習	取材をどうするか			
				復習	取材のまとめ			
	第11回	内容	取材③、準備	予習	取材をどうするか			
				復習	取材のまとめ			
	第12回	内容	文字起こし、執筆	予習	文字起こしをする			
				復習	文字起こしの継続			
	第13回	内容	追加取材、見直し、執筆へ	予習	取材内容を振り返る			
				復習	内容の再考察			
	第14回	内容	執筆	予習	執筆			
				復習	執筆			
	第15回	内容	作品発表会	予習	最終的な確認			
				復習	授業全体を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題が完成するまで、粘り強く指導する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ ）％、作品・発表（80％）、実技（ ）％、授業態度【 積極的参加、出席】（20％）							
教科書	適宜プリント配布。前述にクラスルームでレジュメを送るのでプリントアウトして持参する。							
参考文献	『調べる技術書く技術』（野村進著）							
補足事項	取材などで、外部の人と接するために、正しい敬語や適切なマナーを身につけておくように。ICTを駆使していく。							

科 目 名	小説創作		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	さとう じゅっと 佐藤 述 人
ナンバリングコード	MAC3223		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	どんなに長い小説も、ほとんどの場合ひとつひとつの文章によって成り立っています。ゆえに、自分が書きたい小説を形にするためには、自分が書きたい文章をより正確に作れるようになること、まずはそれを目指す修練が有効です。そこでこの授業では、テーマに沿った短い作品を実際に書き、その細部を重点的に仕上げることを繰り返し、自らの表現したいものを言葉によって形作れるようになるための技術を磨きます。							
到 達 目 標	1．自らの表現したいことを文章として構成できる 2．文章を書くことを通して対象を捉える技術を身につけている 3．他者の文章への批評を通して自らの表現を獲得できる技術を習得している							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,2 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス、文章指導（テーマ「雨」）	予習	シラバスを確認する			
				復習	自作「雨」の振り返り			
	第 2 回	内容	作品講評および合評（テーマ「雨」）	予習	配布した作品の精読			
				復習	自作「雨」についての講評の振り返り			
	第 3 回	内容	文章指導（テーマ「髪」）	予習	与えられたテーマでの創作			
				復習	自作「髪」の振り返り			
	第 4 回	内容	作品講評および合評（テーマ「髪」）	予習	配布した作品の精読			
				復習	自作「髪」についての講評の振り返り			
	第 5 回	内容	文章指導（テーマ「愛」）	予習	与えられたテーマでの創作			
				復習	自作「愛」の振り返り			
	第 6 回	内容	作品講評および合評（テーマ「愛」）	予習	配布した作品の精読			
				復習	自作「愛」についての講評の振り返り			
	第 7 回	内容	文章指導（テーマ「嘘」）	予習	与えられたテーマでの創作			
				復習	自作「嘘」の振り返り			
	第 8 回	内容	作品講評および合評（テーマ「嘘」）	予習	配布した作品の精読			
				復習	自作「嘘」についての講評の振り返り			
	第 9 回	内容	文章指導（テーマ「時間」）	予習	与えられたテーマでの創作			
				復習	自作「時間」の振り返り			
	第 10 回	内容	作品講評および合評（テーマ「時間」）	予習	配布した作品の精読			
				復習	自作「時間」についての講評の振り返り			
	第 11 回	内容	現代の思想・批評について 1	予習	予告した事柄について調べておく			
				復習	配布した論文の精読			
	第 12 回	内容	現代の思想・批評について 2	予習	予告した事柄について調べておく			
				復習	配布した論文の精読			
	第 13 回	内容	現代の思想・批評について 3	予習	予告した事柄について調べておく			
				復習	配布した論文の精読			
	第 14 回	内容	文章指導（テーマ「罪」）	予習	与えられたテーマでの創作			
				復習	自作「罪」の振り返り			
	第 15 回	内容	作品講評および合評（テーマ「罪」）	予習	配布した作品の精読			
				復習	自作「罪」についての講評の振り返り			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内でコメントする。必要な場合は個別の質問にも答える。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％、授業態度【積極参加】（10％）							
教科書	授業内で配布あるいは指示する。							
参考文献	授業内で適宜指示する。							
補足事項	講義内容および各回のテーマは受講者数や講評の進行度合により変更する場合がある。							

科 目 名	コミュニケーションと心理		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	PSY3211		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本講義では、心理学の理論や技法を用いて、個々の人間関係や社会の現場(職場)で生きる実践的なコミュニケーション能力の基礎の育成を図ることを目的とする。傾聴やアサーション等の知見を学び、ワークを通して受講生の心の安定と成長等にもアプローチしたいと考えている。								
到 達 目 標	1. 人の話をしっかりと傾聴できる。 2. コミュニケーションに必要な心理学の基礎を理解している。 3. 将来の社会人に必要なコミュニケーション能力の土台を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1, 2, 4）								
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。				
				復習	授業の概要を理解する。				
	第2回	内容	コミュニケーション能力	予習	コミュニケーションについて調べる。				
				復習	コミュニケーション能力について理解し整理する。				
	第3回	内容	さまざまな心の関係	予習	心の関係について自分なりに考える。				
				復習	心の関係について理解し整理する。				
	第4回	内容	心理的ストレスの低減方法	予習	ストレス低減について考えておく。				
				復習	ストレスの低減方法について理解し整理する。				
	第5回	内容	グループワーク①(聴き方)	予習	積極的にワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	ワーク学んだことを整理する。				
	第6回	内容	グループワーク②(聴き方)	予習	反省点を踏まえて積極的にワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	ワーク学んだことを整理する。				
	第7回	内容	傾聴の意義と効用	予習	傾聴についてしらべる。				
				復習	学んだことについて理解し整理する。				
	第8回	内容	非言語コミュニケーション	予習	非言語について調べる。				
				復習	学んだことについて理解し整理する。				
	第9回	内容	応答技法	予習	応答技法について調べる。				
				復習	学んだことについて理解し整理する。				
	第10回	内容	受容と共感	予習	受容と共感の意味を調べる。				
				復習	学んだことについて理解し整理する。				
	第11回	内容	事例(ケース)研究①	予習	事例の展開について予測する。				
				復習	学んだことを整理する。				
	第12回	内容	事例(ケース)研究②	予習	事例の展開について予測する。				
				復習	学んだことを整理する。				
	第13回	内容	グループワーク③(非言語コミュニケーション)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	ワーク学んだことを整理する。				
	第14回	内容	グループワーク④(非言語コミュニケーション)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	ワーク学んだことを整理する。				
	第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。				
				復習	学んだことを今後に活かせるように心がける。				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	受講学生に対して、ワーク参加状況、発表・発言内容、試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（40%）、レポート・課題（60%）							
教科書	特に指定しない。								
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。								
注意事項	講義とグループワークを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。								

科 目 名	臨床心理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	PSY3231		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	臨床心理学は応用心理学の一つである。臨床心理学は心の悩みを解決し、人間を幸せにする学問ともいわれている。 現代社会にはさまざまな心の問題が存在する。私たちが、人の心を理解しようとしたり、心の問題に向き合おうとすると、臨床心理学はそれらの試みをサポートしてくれる。 本講義では、臨床心理学の基礎的知識の習得と現場で生きる臨床心理学の実践的能力の育成を図る。さらに、受講生自身の心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。							
到 達 目 標	1. 臨床心理学の代表的な理論の基礎的知識を習得している。 2. 学んだ知識を活用して、心の問題について、自分なりに考えられる力を身につけている。 3. 自己と他者のメンタルヘルスに寄与できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	1. イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。			
				復習	授業内容と評価方法について理解する。			
	第 2 回	内容	2. 臨床心理学とは何か	予習	臨床心理学について調べる。			
				復習	臨床心理学について理解し整理する。			
	第 3 回	内容	3. 臨床心理学の心の捉え方と心理療法 精神分析① [心の構造等]	予習	精神分析学について調べる。			
				復習	精神分析学の心的構造について理解する。			
	第 4 回	内容	精神分析② [防衛機制]	予習	防衛機制について調べる。			
				復習	防衛機制について理解し整理する。			
	第 5 回	内容	精神分析③ [精神分析的心理療法]	予習	精神分析的心理療法について調べる。			
				復習	精神分析的心理療法について理解し整理する。			
	第 6 回	内容	行動主義① [学習理論等]	予習	行動主義の学習理論について調べる。			
				復習	学習理論について理解し整理する。			
	第 7 回	内容	行動主義② [行動療法]	予習	行動療法について調べる。			
				復習	行動療法について理解し整理する。			
	第 8 回	内容	人間性心理学① [自己実現等]	予習	人間性心理学について調べる。			
				復習	自己実現について理解し整理する。			
	第 9 回	内容	人間性心理学② [ロジャース他]	予習	ロジャーズの理論を調べる。			
				復習	ロジャーズについて理解し整理する。			
	第 10 回	内容	人間性心理学③ [来談者中心療法]	予習	来談者中心療法を調べる。			
				復習	来談者中心療法について理解し整理する。			
	第 11 回	内容	4. 心理アセスメント、心の問題の理解と対応	予習	心理アセスメント等を調べる。			
				復習	心理アセスメント等について理解し整理する。			
	第 12 回	内容	5. 心と脳	予習	心と脳について理解し整理する。			
				復習	心と脳について理解し整理する。			
	第 13 回	内容	6. 発達障害、心の病気	予習	発達障害について調べる。			
				復習	発達障害と心の病について理解し整理する。			
	第 14 回	内容	7. 自分自身のメンタルヘルスを考える 臨床心理学の理論の活用	予習	メンタルヘルスについて調べる。			
				復習	自己の心の健康について理解し整理する。			
	第 15 回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	本講義全体の学びと疑問点を整理する。			
				復習	学んだ知見の活用について考察をする。			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（40%）、レポート・課題（60%）、							
教科書	特に指定しない							
参考文献	他の参考図書等については、講義の中で必要に応じて適宜紹介する							
補足事項	講義を中心におこなう。実際の事例(ケース)などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。 受講者には自ら学び考える意欲をもって講義に参加する態度が求められる。							

科 目 名	カウンセリング入門			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	PSY3232			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	将来、社会生活において、他者から多岐にわたる内容の相談をされ、それらに対してできる限りの確に応答しなければならない機会が想定される。本講義では、カウンセリング、相談の基礎的知識の習得と現場で生きる相談の実践的能力の基本の育成を図る。さらに、相談を受ける私たちの心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。								
到 達 目 標	1. カウンセリングの意義、方法等に関する基本知識と方法を習得している。 2. カウンセリングの基本を理解し、それを社会生活の相談場面での実践に活かすことができる。 3. 人の心の問題を理解することを試み、他者の心に寄り添う相談実践をおこなうことができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2,4）								
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。				
				復習	授業の概要を理解する。				
	第2回	内容	カウンセリングとは何か	予習	カウンセリングについて調べる。				
				復習	カウンセリングについて理解し整理する。				
	第3回	内容	心と心の関係	予習	心と心の関係について調べる。				
				復習	心と心の関係について理解し整理する。				
	第4回	内容	ワーク①(カウンセリングの態度と方法)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。				
	第5回	内容	「傾聴」等の理解と活用	予習	傾聴について調べる。				
				復習	傾聴について理解し整理する。				
	第6回	内容	事例研究①(逸脱行動：相談者への理解)	予習	事例の展開について予測する。				
				復習	学んだことを整理し理解する。				
	第7回	内容	カウンセリングの理論	予習	カウンセリングの理論について調べる。				
				復習	学んだカウンセリングの理論について理解し整理する。				
	第8回	内容	カウンセリングの方法①(面接の構造)	予習	カウンセリングの方法について調べる。				
				復習	面接の構造について理解し整理する。				
	第9回	内容	カウンセリングの方法②(アセスメント)	予習	アセスメントについて調べる。				
				復習	アセスメントについて理解し整理する。				
	第10回	内容	カウンセリングの方法③(対応方法)	予習	カウンセリングにおける対応方法について調べる。				
				復習	対応方法について理解し整理する。				
	第11回	内容	事例研究②(心の発達：他者との連携)	予習	事例の展開について予測する。				
				復習	学んだことを整理し理解する。				
	第12回	内容	応答技法	予習	カウンセリングにおける応答技法について調べる。				
				復習	応答技法について理解し整理する。				
	第13回	内容	ワーク②	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。				
	第14回	内容	相談を受ける人の心の健康	予習	相談を受ける人の心の健康について調べる。				
				復習	学んだ人の心の健康について理解し整理する。				
	第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。				
				復習	学んだことを今後にかせるように心がける。				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	受講学生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（40%）、レポート・課題（60%）								
教科書	特に指定しない								
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。								
注意事項	講義とグループワークを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。								

科 目 名	アサーション		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いうあきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	PSY3221		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	アサーションとは「自分も他者も大切にする自己表現」である。私たちの社会生活において、他者との関係の質を高め、他者とのより豊かなコミュニケーションを育む大切な考え方であり心の態度である。本講義ではアサーションについての基礎的知識の習得と実際の活用練習をおこない、個々のより良いコミュニケーション能力の育成をはかりたい。							
到 達 目 標	1. アサーションの意義、方法等に関する基本知識を習得している。 2. アサーションの基本を理解し、それを自己の社会生活に活かすことができる。 3. 他者との心の通ったコミュニケーションをより積極的をおこなうことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（2, 4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。			
				復習	授業の概要を理解する。			
	第 2 回	内容	アサーションとは何か	予習	アサーションについて調べる。			
				復習	アサーションについて理解し整理する。			
	第 3 回	内容	心と心の関係	予習	心と心の関係の有様について調べる。			
				復習	心と心の関係について理解し整理する。			
	第 4 回	内容	アサーションワーク①(コミュニケーションを楽しむ)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第 5 回	内容	アサーションの考え方	予習	アサーションの考え方について調べる。			
				復習	アサーションの考え方について理解し整理する。			
	第 6 回	内容	アサーションワーク②(アサーティブな自己表現)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第 7 回	内容	自己表現の種類	予習	自己表現の種類について調べる。			
				復習	自己表現の種類について理解し整理する。			
	第 8 回	内容	アサーションワーク③(考え方)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第 9 回	内容	アサーティブな考え方と身につくこと	予習	アサーティブな考え方について調べる。			
				復習	アサーティブな考え方と身につくことについて理解し整理する。			
	第 10 回	内容	アサーションワーク④(伝え方)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第 11 回	内容	心に届くコミュニケーション	予習	心に届くコミュニケーションについて調べる。			
				復習	心に届くコミュニケーションについて理解し整理する。			
	第 12 回	内容	心のピラミッド	予習	心のピラミッドについて調べる。			
				復習	心のピラミッドについて理解し整理する。			
	第 13 回	内容	アサーションワーク⑤(心のエネルギーと心の元気)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第 14 回	内容	自己の心の窓を考える	予習	心の窓について調べる。			
				復習	自己の心の窓について理解し整理する。			
	第 15 回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。			
				復習	学んだことを今後に活かせるように心がける。			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	受講学生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（40%）、レポート・課題（60%）							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。							
注意事項	グループワークを軸におこなう。受講生に楽しくわかりやすい内容を心がけたい。ワーク等では受講生同士、受講生と教員と双方向でのやり取りを活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し(無理をしない範囲で)発言する態度が求められる。							

科 目 名	認知心理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	か が や たかふみ 加賀谷 崇文	
ナンバリングコード	PSY3233		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	認知心理学における基本的な知識を学ぶとともに、心理学の実験を用いた研究法を実践する。また、日常生活の中での我々の認知を考え、生活に根差した理解をしていくこととする。								
到 達 目 標	1. 認知心理学の基本的知識が身についている。 2. 心理学の実験を行うことができる。 3. 得られた知識を、日常生活の中で意識することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	認知心理学とは	予習	これまで学んだ心理学の内容を整理しておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 2 回	内容	認知心理学の歴史	予習	心理学の歴史を整理しておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 3 回	内容	知覚と心理学	予習	知覚とは何か調べておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 4 回	内容	高次の知覚と注意	予習	注意とは何か調べておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 5 回	内容	表象と心理学	予習	表象とは何か調べておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 6 回	内容	記憶と心理学	予習	記憶とは何か調べておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 7 回	内容	言語と心理学	予習	言語とは何か調べておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 8 回	内容	問題解決と心理学	予習	問題解決とは何か調べておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 9 回	内容	思考と心理学	予習	思考とは何か調べておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 10 回	内容	心理学と実験	予習	実験とは何か調べておく				
				復習	授業内容の復習				
	第 11 回	内容	実験 1 実験内容を考える	予習	やりたい実験内容を考えておく				
				復習	実験に必要なことを準備しておく				
	第 12 回	内容	実験 2 実験の実施	予習	実験準備				
				復習	足りない実験を行う				
	第 13 回	内容	実験 3 データの分析	予習	データの入力				
				復習	データを分析する				
	第 14 回	内容	実験 4 実験結果をまとめる	予習	実験結果を考察する				
				復習	発表資料の作成				
	第 15 回	内容	実験 5 発表	予習	発表準備				
				復習	全体の復習				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内で指導を行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（４５％）、作品・発表（４５％）、実技（ ）％、授業態度【主体性】（10％）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）								
補足事項	「実験」はアクティブラーニング、グループワークを中心とする。								

【文化表現学科】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク：新カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/pdf/bunka_resume/bh_syllabus_2025.pdf

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	情報と社会	2	講義	樋田敦子	3
2	コミュニケーション論	2	講義	樋田敦子	6
3	観光学総論	2	講義	神崎公一	40
4	観光地理学	2	講義	神崎公一	41
5	イベント・プランニング	2	講義	神崎公一	59
6	医療事務総論	1	講義	高橋五郎	78
7	医療管理学概論	2	講義	高橋五郎	79
8	医療秘書実務	2	講義	高橋五郎	80
計		15			

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。